

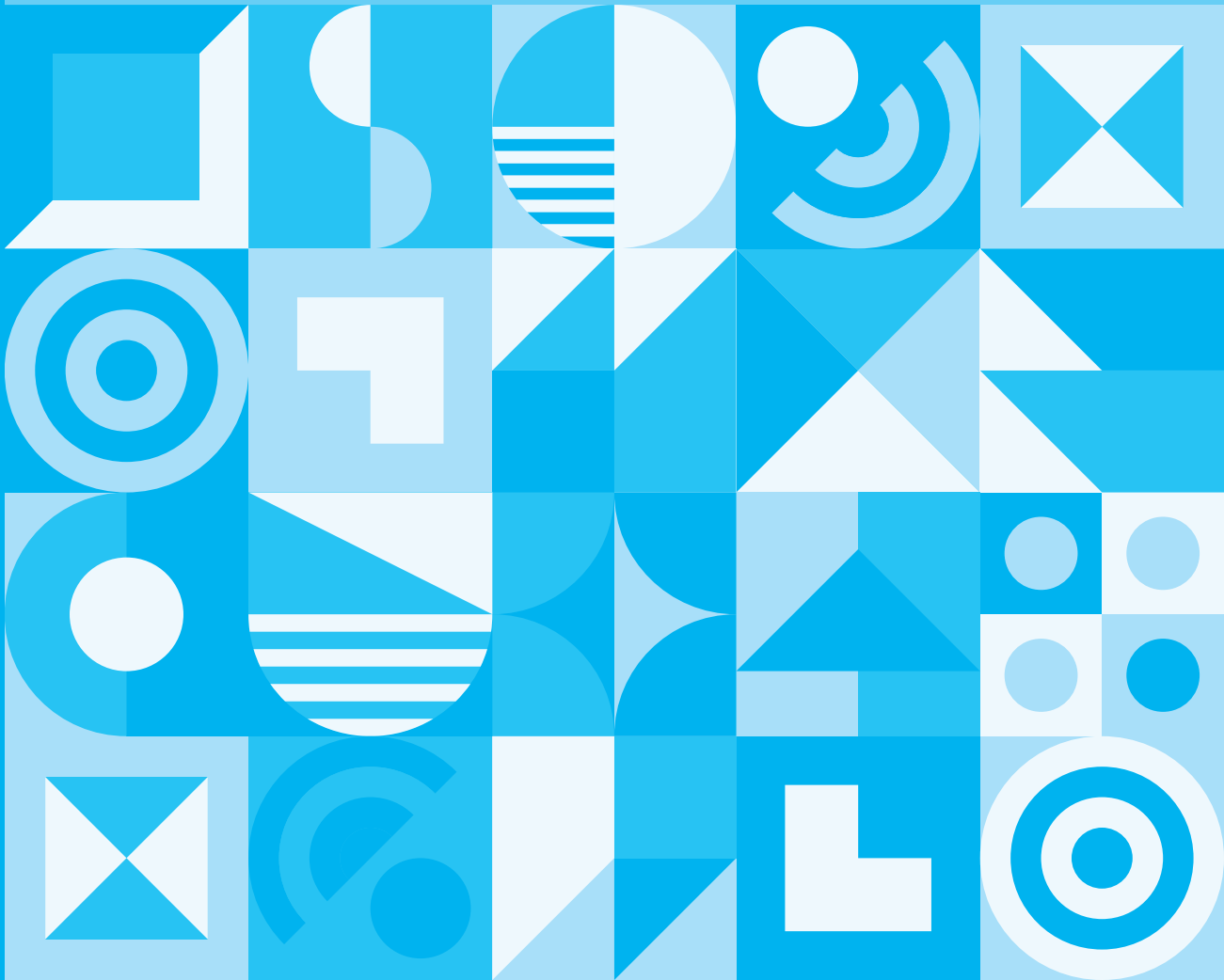
シラバス ▶

# Syllabus

こども学科

2024

足利短期大学





ASHIKAGA  
AJC JUNIOR  
COLLEGE

# 目次

## contents

沿革と設立の趣旨及び使命	1	保育原理	36
学事日程・行事表	5	こども家庭福祉	37
教務年間予定表	7	社会福祉	38
足利短期大学学友会行事日程	8	社会的養護 I	39
<b>こども学科</b>		こどもの理解と援助	40
学科課程表（令和6年度入学生）	11	こどもの保健	41
こども学科カリキュラムマップ	13	乳児保育 I	42
<b>仏 教 学</b>	14	こどもと音楽（ピアノ I）	43
<b>法 学</b> （日本国憲法）	15	こどもと音楽（う た）	45
<b>心 理 学</b>	16	国語表現法	46
<b>情報処理 I</b>	17	保育教材研究 I（表現シアター）	47
<b>英 語 I</b>	18	保育教材研究 II（あそび歌）	48
<b>英 語 II</b>	19	レクリエーション実技	49
<b>保育と健康</b>	20	保育実習研究 I	51
<b>保育と人間関係</b>	21	保育実習 I	53
<b>保育と環境</b>	22	基 礎 演 習	54
<b>保育と言葉</b>	23	<b>こども学科</b>	
<b>保育と表現</b>	24	学科課程表（令和5年度入学生）	55
<b>保育内容の指導法（健康）</b>	25	こども学科カリキュラムマップ	57
<b>保育内容の指導法（造形表現）</b>	26	<b>文 学</b>	58
<b>保育内容の指導法（身体表現）</b>	27	<b>美 術</b>	59
<b>教育原理・教育制度論</b>	28	<b>情報処理 II</b>	60
<b>心身の発達と学習過程</b>	29	<b>体 育 理 論</b>	61
<b>教育課程・保育の計画と評価</b>	30	<b>体 育 実 技</b>	63
<b>教育の方法と技術 I</b>	31	<b>保育内容総論</b>	65
<b>教育の方法と技術 III</b>	32	<b>保育内容の指導法（人間関係）</b>	66
<b>教育実習研究</b>	33	<b>保育内容の指導法（環境）</b>	67
<b>教 育 実 習</b>	35	<b>保育内容の指導法（言葉）</b>	68

# 目次

## contents

保育者論	69	総合表現Ⅰ（高橋由起）	100
特別支援教育Ⅰ（障がい児保育含む）	70	総合表現Ⅱ（茂木克浩）	101
特別支援教育Ⅱ（障がい児保育含む）	71	総合表現Ⅱ（佐々木由美子）	102
教育方法論Ⅰ（多文化保育）	72	総合表現Ⅱ（西 敏郎）	103
教育方法論Ⅱ（コンピューターテラシー）	73	総合表現Ⅱ（林 恵）	104
教育方法論Ⅲ（生涯学習論）	74	総合表現Ⅱ（小野覚久）	105
教育の方法と技術Ⅱ	75	総合表現Ⅱ（中野真樹）	106
幼児理解と教育相談	76	総合表現Ⅱ（池田法子）	107
保育・教職実践演習（幼稚園）	77	総合表現Ⅱ（高橋由起）	108
教育実習研究	79	レクリエーション理論	109
教育実習	81	保育実習研究Ⅱ	110
こども家庭支援論	82	保育実習Ⅱ	111
仏教保育論	83	保育実習研究Ⅲ	112
こども家庭支援の心理学	84	保育実習Ⅲ	113
こどもの食と栄養	85		
乳児保育Ⅱ	87	<b>本城キャンパスマップ</b>	
こどもの健康と安全	88	1号館	116
社会的養護Ⅱ	89	2号館	117
子育て支援	90	3号館	118
こどもと音楽（ピアノⅡ）	91	本城本館	119
保育教材研究Ⅲ（防災と危機管理）	92	学生会館	120
総合表現Ⅰ（茂木克浩）	93		
総合表現Ⅰ（佐々木由美子）	94		
総合表現Ⅰ（西 敏郎）	95		
総合表現Ⅰ（林 恵）	96		
総合表現Ⅰ（小野覚久）	97		
総合表現Ⅰ（中野真樹）	98		
総合表現Ⅰ（池田法子）	99		

## 沿革と設立の趣旨及び使命

足利短期大学の設置者、学校法人足利大学の母体である「足利仏教和合会」は、明治18（1885）年2月、旧足利市内の各宗17ヶ寺により、寺院を会主、檀信徒を会員として発足した。明治23（1890）年「足利各宗和合会」となり、明治32（1899）年に現在の会名「足利仏教和合会」となった。大正7（1918）年1月に正式に会則を制定し、大正14（1925）年、聖徳太子1300年忌を記念して、聖徳太子の『十七条憲法』第一条『以和為貴』を建学の精神とする「足利実践女学校」を創設した。

「足利実践女学校」は戦後、学校法人「月見ヶ丘学園」への改組にともない「月見ヶ丘高等学校」と校名を変更、昭和40（1965）年に「月見ヶ丘幼稚園」を開園、昭和42（1967）年「足利工業大学」を開学、昭和43（1968）年「足利工業大学附属高等学校」を併設し、法人名を「学校法人足利工業大学」に改めた。

「足利短期大学」は、昭和54（1979）年4月、地域社会からの切なる要望に応じ、幼児教育科単科の短期大学として開学された。それにともない「月見ヶ丘高等学校」は「足利短期大学附属高等学校」と校名を変更、また「月見ヶ丘幼稚園」は「足利短期大学附属幼稚園」と園名を変更し今日に至っている。

看護科は、平成8（1996）年4月、本学に隣接する足利赤十字病院を隣地実習施設として増設された。

専攻科福祉専攻は、高齢化社会のニーズに応えるべく平成12（2000）年4月、保育士の資格を有する者のみが入学でき、1年で介護福祉の国家資格を取得できる学科として誕生した。だが、事情により平成21年度をもって廃科となった。

平成22（2010）年4月、幼児教育科が「こども学科」に、看護科が「看護学科」に名称変更された。

平成26（2014）年4月、足利工業大学に看護学部が新設され、看護学科は新入生の募集を停止し平成30（2018）年3月、廃科となった。

平成30年4月、「足利工業大学」が「足利大学」へ名称変更。

平成31年4月、法人名を「学校法人足利大学」と改称。

令和2年4月、こども学科入学定員を75名に変更。

令和5年4月、こども学科入学定員を50名に変更。

## 建学の精神・教育理念

足利短期大学は、聖徳太子の十七条憲法第一条「以和為貴」を建学の精神とする。また、教育理念は、大乘仏教の教えを根本とし、その実践として「和顔愛語」を掲げる。

## 教育目的・教育目標

### こども学科

#### 教育目的

こども学科では豊かな感性と教養を身につけるとともに、保育に関する専門的知識と技術を習得し、活用・応用できる力を持った人材の育成を目的とする。

#### 教育目標

1. 興味・意欲を喚起する授業と多様な体験の機会を提供し、「感動する心」「創造する心」「実践する力」を育成する
2. 幅広い専門的知識・技術を有し、社会的役割を遂行できる保育者を養成する
3. 幼稚園教諭免許と保育士資格を取得できるよう指導・教育する

## ディプロマポリシー

こども学科は、建学の精神「以和為貴」に基づき、「高い知識と技術を持った心ある保育者」の養成に向けて、所定の学位プログラムに従って、62単位の取得を含む卒業要件を満たすことが、卒業認定・学位授与の条件となります。幼稚園教諭2種免許状は、教育職員免許法および同法施行規則に定める単位を修得することで、授与されます。また、保育士資格は、児童福祉法に定める単位を修得することで、授与されます。こども学科では、幅広い専門的知識と技術を有し、社会的役割を遂行できる保育者の養成を目的としています。

この目的の達成度を確認するために、以下の項目に沿った評価を行い、短期大学士（保育学）の学位を授与するものとします。

1. 保育に関する専門的知識と技術を習得し、実践の場で活用・応用できます。
2. 保育職の社会的役割を認識し、保育に専心しようとする職業観を身につけます。
3. 専門を超えて学び、広い視野でものごとを捉えることができます。
4. 多様な人々と交流することに努め、協働的関係を築くことができます。
5. 豊かな感性と教養を身につけ、自ら問題解決にあたることができます。

## 学修成果

社会人・職業人として求められる汎用的学修成果

1. 幅広い情報を収集し、探求心を持って学び続けることができる
2. 年齢、性別、国籍、障害の有無を越えて、多様な人々と進んで交流する姿勢をもつ
3. 様々なコミュニケーションを獲得し、それを駆使して協働的関係を築くことができる
4. 感性豊かにものごとを捉え、ことばをはじめ多様な方法によって表現することができる
5. 多面的に物事を捉え、臨機応変に対応し、問題解決をはかることができる

現場に即応できる保育者に求められる専門的学修成果

1. 保育に関する専門的知識を習得し、具体的に説明することができる
2. 身につけた知識や技術を実践の場で活用・応用することができる
3. 保育職の社会的役割と使命について自覚している
4. 主体性をもって保育に取り組むことができる
5. 「こどもから学ぶ」という視点をもって、保育を実践することができる
6. 自らの保育実践を振り返り、評価し改善することができる

## カリキュラムポリシー

こども学科における人材養成の方針は、建学の精神である「以和為貴」を基盤に置き、豊かな感性と教養を身につけた、心ある保育者の養成を旨としています。保育者には、保育に関する専門的知識と技術のみならず、幅広い関連する知識とそれを実践の場で活用・応用することが求められます。その結果、自ずと我が国における保育の質の向上に貢献することができるわけです。

こども学科では、専門的な知識・技術をもって社会に貢献できる保育者養成のためのカリキュラムを編成しています。社会人としての教養を涵養するための一般教育科目と、仏教的精神について学ぶ科目を配置し、豊かな感性と教養を持つ、コミュニケーション能力の優れた保育者を養成します。また、表現力や協働性を確かなものにするための演習科目と実習カリキュラムを段階的に組み立て、実践の場で応用できる力を養います。

学修成果の評価にあたっては、すべての科目について設定された達成目標の到達度によって評価します。基礎的・理論的な知識を修得する科目については定期試験によって、知識を統合する科目や演習科目・実習科目については、実技や課題に対する具体的成果物によって、それぞれの科目の達成度を評価します。



## アドミッションポリシー

こども学科では、建学の精神「以和為貴」に則り、豊かな感性と教養を身につけ、心ある保育者として専門的な知識・技術を持って社会に貢献しようという意欲のある人の入学を求めます。

このような入学者をあらゆる地域から多様な方法によって適正に選抜します。それぞれの選抜方法に応じて、以下の項目を評価します。

- 1) 高等学校までの学習を通じ、本学の教育の基礎となる知識・技能、学習に必要な思考力・判断力・表現力および学習のための主体性・協働性を身につけている。
- 2) こども学科の教育理念を理解し、保育者になるという明確な意思と目標を持っている。
- 3) 本学の建学の精神と教育理念を深く理解し、生命と人権を尊重するとともに他者への思いやりを持ち人間関係を深めようと努力できる。

## アセスメント・ポリシー

足利短期大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル（短期大学全体）、教育課程レベル（学科）、科目レベル（各授業科目）の3段階で学修成果を評価する方法を定めています。評価結果は、現状を把握し、教育改善を進めることを目的としています。

	入学時	在学时	卒業時
機関レベル	各種入学試験 調査書等の記載内容 志願理由書等 面接内容等	修得単位数 学修行動調査	学位授与数 進路状況 就職率 専門就職率 進学 卒業年次生アンケート 就職先アンケート
教育課程レベル	各種入学試験 調査書等の記載内容	修得単位数 GPA 学修行動調査 資格取得状況 休学率 退学率	学位授与数 単位取得率 資格・免許取得率 卒業年次生アンケート
科目レベル	各種入学試験 調査書等の記載内容	成績評価 学外実習評価 授業評価アンケート	

# 令和6年度（2024）こども学科 学事日程・行事表

令和6年（2024）		4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	月	2年前期授業開始	木	土	月	△	日
2	火	入学式	木	日	火	△ 2年前期授業終了	月 追再試験発表
3	水	1年前期授業開始	金	月	水	土	火
4	木		土	火	木	日	水
5	金		日	水	金	△	木
6	土		△ 通常授業日 振替休日	木	△ 2年金曜振替授業日	△	金
7	日		火	金	日	△	土
8	月		水	土	月	△	日
9	火		木	日	火	△	月
10	水		金	月	水	土	火
11	木		△ 2年火曜振替授業日	火	木	日	水
12	金		日	水	金	月	木
13	△	AM健康診断（全学生）	月	木	土	火	金
14	日		火	金	日	水	土
15	月	履修訂正科目確認日	水	土	△ 通常授業日 海の日	木	日
16	火		木	日	火	金	月 敬老の日
17	水		金	月	水	土	火
18	木		土	火	木	日	水
19	金		日	水	金	月	木
20	土		月	木	土	火	金
21	日		火	金	日	水	土
22	月		水	土	月	木	日 秋分の日
23	火		木	日	火	金	月 振替休日
24	水		金	月	水	土	火
25	木		土	火	木	日	水
26	金		日	水	金	月	木
27	土		月	木	土	火	金
28	日		火	金	日	水	土
29	△	通常授業日 昭和の日	木	土	△	木	日
30	火		水	日	△	金	月 後期授業開始 成績発表
31			金		△	土	
備考		25日AM健康診断（教職員）	2年進路面談期間 卒業生進路先訪問 29日 健康診断総合指導（教職員）		定期試験前ガイダンス（1年）	夏季休業1年（7/27～9/1） 夏季休業2年（8/10～9/1）	教務面談 教育実習体験学習（1年） 保育実習体験学習（1年） 施設実習体験学習（1年）

スクールバス運行日(曜日に印の付いた日)・・・○印:通常運行(以下の通り) / △印:臨時運行(事前掲示によりお知らせ)

《行き》JR 足利駅(北口) → 本城本館前(本城キャンパス行) = 1便 8:05 発 2便 8:30 発

東武足利市駅(南口) → 本城本館前(本城キャンパス行) = 1便 8:05 発 2便 8:30 発

《帰り》本城本館前 → JR 足利駅 → 東武足利市駅 = 1便 16:25 発 2便 17:10 発 3便 18:15 発

				令和7年(2025)								
10月		11月		12月		1月		2月		3月		
1	○	△		日		水	元旦	土		土	1	
2	○	土		月		木		日		日	2	
3	○	日	文化の日	火		金		月		月	3	
4	△	△	通常授業日 振替休日	水	成道会	土		火		火	4	
5	土	火		木		日		水		水	5	
6	日	水		金		月	授業再開	木	2年追再試験発表	木	6	
7	月	木	後期履修訂正科目確認日	土	補講日	火		金		金	7	
8	火	金		日		水		土		土	8	
9	水	土		月		木		日		日	9	
10	木	日		火		金		月		月	10	
11	金	月		水		土		火	建国記念の日	火	11	
12	土	火	学園祭準備	木		日		水		水	12	
13	日	水	学園祭当日	金		月	成人の日	木		木	13	
14	月	木	学園祭当日 スポーツの日	土		火		金		金	14	
15	火	金	学園祭片付	日		水		土		土	15	
16	水	土		月		木	涅槃会	日		日	16	
17	木	日		火		金		月		月	17	
18	金	月		水		土		火		火	18	
19	土	火	補講日	木		日		水	1年追再試験発表	水	19	
20	日	水		金		月	2年後期授業終了	木		木	20	
21	月	木		土		火		金		金	21	
22	火	金		日		水		土		土	22	
23	水	土	勤労感謝の日	月		木		日	天皇誕生日	日	23	
24	木	日		火		金		月	振替休日	月	24	
25	金	月		水		土	△ 成果発表会	火		△ 1年成績発表 在学生ガイダンス (AM)	25	
26	△	火	火曜振替授業日	木		日		水		水	26	
27	日	水		金		月	1年後期授業終了	木	卒業判定会議	木	27	
28	月	木		土	冬季休業	火		金	2年成績発表 卒業生発表	金	28	
29	火	金		日		水				土	29	
30	水	△	月曜振替授業日	月		木				日	30	
31	木			火		金				月	31	
			避難訓練								教務面談	備考

## 教務年間予定表（令和6年度）

	前 期	こども学科1年	こども学科2年
ガイダンス及び履修登録について	新年度ガイダンス	3/28・29	3/27
	履修登録期間	4/3～5	←
	履修確認訂正期間	4/10・11	←
	履修確認日(訂正科目のみ)	4/15	←
定期試験準備について	定期試験時間割発表 無資格者発表	7/15	7/29
	定期試験期間	7/22～26	8/5～9
成績提出と追再試験について	追試験願(締切)	7/31	8/21
	追・再試者発表、日程掲示	9/2	←
	追・再試験期間	9/9～11	←
	成績発表	9/30	←

	後 期	こども学科1年	こども学科2年
履修登録について	後期履修追加訂正期間	9/30～10/4	←
	履修確認日(訂正科目のみ)	10/7	←
定期試験準備について	定期試験時間割発表 無資格者発表	1/21	1/14
	定期試験期間	1/28～2/1	1/21～27
成績提出と追再試験について	追試験願(締切)	2/5	1/30
	追・再試者発表、日程掲示	2/19	2/6
	追・再試験期間	2/25～27	2/10～13
	成績発表	3/25	2/28

## 令和6年度 足利短期大学学友会行事日程

月 日	行 事 内 容
4月下旬	新入生歓迎会
5月中旬予定	学 生 大 会
10月12日(土)	大学祭準備日
10月13日(日)~ 10月14日(月)	大学祭本祭
10月15日(火)	大学祭片付け
1月下旬予定	学 生 大 会
1月中旬	

上記が令和6年度の行事予定です。  
学生の皆さんは積極的に参加して下さい。



# こども学科 授業計画

令和 6 年度入学生 P11～P 54

令和 5 年度入学生 P55～P113

# 修学(学科課程表) こども学科(令和6年度(2024)入学生)

○：必修科目

\*：本学指定科目（必修ではないが受講が義務付けられた科目）

#：保育士通知科目に対応した科目

こども学科一般教育科目 卒業（必修科目6単位を含め8単位以上）  
幼稚園教諭二種免許状（必修科目10単位以上）  
保育士資格（必修科目6単位を含め8単位以上）

区分	授業科目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数			卒業	幼児二種	保育士	開講時期				担当教員	備考
				開設単位	必修	選択				1年前期	1年後期	2年前期	2年後期		
一般教育科目	仏教	YHIA1	講義	2	2		○	○	○	■				武井(峻)	
	文	IA2	講義	2	2							■		中野	
	美	IA3	講義	2	2							■		茂木	
	法学(日本国憲法)	YIB1	講義	2	2			○			■			武井(英)	
	心理	IB2	講義	2	2				■					五十嵐	
	情報処理 I	YIC1	演習	1	1		○		■					禾澤	
	情報処理 II	YIC2	演習	1	1		○				■			禾澤	
	英語 I	YHID1	演習	1	1		○	○	○	■				Soper	
	英語 II	YHID2	演習	1	1		○	○	○		■			Soper	
	体育理論	YHIE1	講義	1	1		○	○	○					小野	
体育実技	YHIE2	実技	1	1		○	○	○			■	■	小野		
小計				16	6	10	8	10	8						

こども学科専門科目 卒業（必修科目20単位を含め54単位以上）  
幼稚園教諭二種免許状（必修科目39単位を含め54単位以上）  
保育士資格（必修科目56単位以上（#印の必修科目保育内容の指導法（健康）1単位、保育内容の指導法（人間関係）1単位、こどもと音楽(ピアノI)2単位を含む）  
#印の選択科目から保育実習研究Ⅱ1単位・保育実習Ⅱ2単位、又は保育実習研究Ⅲ1単位・保育実習Ⅲ2単位のいずれか3単位を含め5単位以上選択必修 合計61単位以上）  
レクリエーション・インストラクター  
（★印の必修科目4単位及びレクリエーション事業への参加（2回以上））  
（☆印の選択科目1科目以上）

区分	授業科目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数			卒業	幼児二種	保育士	開講時期				担当教員	備考
				開設単位	必修	選択				1年前期	1年後期	2年前期	2年後期		
専門科目	保育内容総論	YHIA1	演習	1	1		○	○	○				■	佐々木	
	保育と健康	YHIA2	演習	1	1		○	○	○	■				小野	
	保育と人間関係	YHIA3	演習	1	1		○	○	○	■				西	
	保育と環境	YHIA4	演習	1	1		○	○	○	■				佐々木	
	保育と言葉	YHIA5	演習	1	1		○	○	○		■			中野	
	保育と表現	YHIA6	演習	1	1		○	○	○		■			茂木・高橋	
	保育内容の指導法(健康)	YHIA7#	演習	1	1		○	○	○#		■			小野	
	保育内容の指導法(人間関係)	YHIA8#	演習	1	1		○	○	○#				■	西	
	保育内容の指導法(環境)	YHIA9	演習	1	1		○	○	○			■		佐々木	
	保育内容の指導法(言葉)	YHIA10	演習	1	1		○	○	○			■		中野	
	保育内容の指導法(造形表現)	YHIA11	演習	1	1		○	○	○	■				茂木	
	保育内容の指導法(身体表現)	YHIA12	演習	1	1		○	○	○	■				小野	
教育の基礎的理解に関する科目	保育者論	YHIB1	講義	2	2		○	○					■	佐々木	
	教育原理・教育制度論	YHIB2	講義	2	2		○	○	○	■				西	
	心身の発達と学習過程	YHIB3	講義	2	2		○	○			■			五十嵐	
	特別支援教育Ⅰ(障がい児保育含む)	YHIB4	演習	1	1		○	○				■		池田	
	特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む)	YHIB5	演習	1	1		○	○					■	林	
	教育課程・保育の計画と評価	YHIB6	講義	2	2		○	○			■			林	



# 修学(学科課程表) こども学科(令和6年度(2024)入学生)

区 分	授 業 科 目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数			卒業	幼 免 種 類	保 育 士	開講時期				担当教員	備 考	
				開設 単位	必修	選択				1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期			
専 門 科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論Ⅰ	YHHC5a#	演習	1	1		○	#			■		佐々木・林	多文化保育	
		教育方法論Ⅱ	YHHC5b#	演習	1	1		○	#			■		采澤	コピー制作	
		教育方法論Ⅲ	YHHC5c#	演習	1	1		○	#			■		池田	生涯学習論	
		教育の方法と技術Ⅰ	YHHC1#	演習	1	1		○	#		■			高橋	音楽	
		教育の方法と技術Ⅱ	YHHC2#	演習	1	1		○	#			■		茂木	造形	
		教育の方法と技術Ⅲ	YHHC3#	演習	1	1		○	#		■			小野	運動★	
	教育実践に関する科目	幼児理解と教育相談	YHHC4#	講義	2	2		○	#				■	林		
		保育・教職実践演習(幼稚園)	YHHD1	演習	2	2		○	○	○			■	茂木・佐々木・西・林・小野・中野・池田・高橋		
		教育実習研究	YIID2	実習	1	1		○			■	■	■	茂木・高橋		
	保育の本質・目的に関する科目	教育実習	YIID3	実習	4	4		○			■	■	■	茂木・高橋	1年次1週間 2年次3週間☆	
		保育原理	YHHE1	講義	2	2		○	○	○	■			林		
		こども家庭福祉	YHHE2	講義	2	2		○	○	○		■		池田		
		社会福祉	HHE3	講義	2	2				○	■			西		
		こども家庭支援論	HHE4	講義	2	2				○			■	近末		
		社会的養護Ⅰ	HHE5	講義	2	2				○		■		池田		
	保育の対象の理解に関する科目	仏教保育論	HHE6#	講義	2	2				*#			■	藤生・関・内藤		
		福祉と人権	HHE7#	講義	2	2				#					開講せず	
		こども家庭支援の心理学	HIIF1	講義	2	2				○			■	高橋		
		こどもの理解と援助	HIIF2	演習	1	1				○		■		茂木		
		こどもの保健	HIIF3	講義	2	2				○	■			小野		
		こどもの食と栄養	HIIF4	演習	2	2				○			■	■	川田	
	保育の内容・方法に関する科目	乳児保育Ⅰ	HIIG1	講義	2	2				○		■		中野		
		乳児保育Ⅱ	HIIG2	演習	1	1				○			■	中野		
		こどもの健康と安全	HIIG3	演習	1	1				○			■	小野		
		社会的養護Ⅱ	HIIG4	演習	1	1				○			■	池田		
		子育て支援	HIIG5	演習	1	1				○				■	西	
		こどもと音楽(ピアノⅠ)	HIIG6#	演習	2	2		*	*	○	■	■			高橋・浅野・須藤・須永・田部井	
		こどもと音楽(ピアノⅡ)	HIIG7#	演習	1	1		*	*	*#			■		高橋・浅野・須藤・須永・田部井	
		こどもと音楽(うた)	HIIG8#	演習	1	1		*	*	*#	■				千葉	
		国語表現法	HIIG9#	演習	1	1		*	*	*#	■				中野	
		保育教材研究Ⅰ	HIIG10#	演習	1	1				*#	■				柿沼	表現779-
		保育教材研究Ⅱ	HIIG11#	演習	1	1				#		■			柿沼	あそび歌
		保育教材研究Ⅲ	HIIG12#	演習	1	1				#			■		小野	防災と危機管理
		総合表現Ⅰ	HIIG13#	演習	1	1		*		#			■		茂木・佐々木・西・林・小野・中野・池田・高橋	
		総合表現Ⅱ	HIIG14#	演習	1	1		*		#			■		茂木・佐々木・西・林・小野・中野・池田・高橋	
	保 育 実 習	レクリエーション理論	HIIG15#	講義	2	2				#			■		采澤	★
レクリエーション実技		HIIG16#	演習	1	1				#		■			采澤	★	
手話コミュニケーション		HIIG17#	演習	1	1				#						開講せず	
保育実習研究Ⅰ		HIIH1	演習	2	2				○	■	■			西・林・池田・中野		
保育実習Ⅰ		HIIH2	実習	4	4				○		■			西・林・池田・中野	保育所11日間 施設11日間☆	
保育実習研究Ⅱ		HIIH3a1#	演習	1	1				○			■		西・林	11日間	
保育実習Ⅱ		HIIH3a2#	実習	2	2				○			■		西・林	11日間	
そ の 他	保育実習研究Ⅲ	HIIH3b1#	演習	1	1				○			■		池田・中野		
	保育実習Ⅲ	HIIH3b2#	実習	2	2				○			■		池田・中野	11日間	
	基礎演習	III1	演習	1	1		*			■	■			中野・佐々木・西・林・小野・池田・高橋・茂木		
小 計				87	20	69	54	54	60							
合 計				103	26	79	62	62	68							

# こども学科カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、科目ごとに、それを履修することにより何が出来るようになるか、ディプロマポリシー（DP）のどの項目を達成することになるかを表したものです。

## 到達指標（DP）

- ① 保育に関する専門的知識と技術を習得し、実践の場で活用・応用できる力を身に付ける
- ② 保育職の社会的役割について認識し、保育に専心しようとする職業観をもつ
- ③ 専門を越えて学び、広い視野でものごとを捉えることができる
- ④ 多様な人々と交流することに努め、協働的関係を築くことができる
- ⑤ 豊かな感性と教養を身につけ、自ら問題解決にあたることができる

### 1年

期	科目名	①	②	③	④	⑤
一般 教育 科目	仏教学					○
	心理学					○
	情報処理 I					○
	英語 I					○
	法学（日本国憲法）					○
後期	英語 II					○
	保育と健康	○	◎			
前期	保育と人間関係	○	◎			
	保育と環境	○	◎			
	保育内容の指導法（造形表現）	◎	○			
	保育内容の指導法（身体表現）	◎	○			
	教育原理・教育制度論	○	◎			
	教育実習研究	◎	○			
	教育原理	○	◎			
	社会福祉		◎		○	
	こどもの保健	◎	○			
	こどもと音楽（うた）	◎				○
	国語表現法					○
	保育教材研究 I（表現/アタ）	◎				○
	保育実習研究 I	◎	○			
	基礎演習			○		◎
後期	保育と言葉	◎	○			
	保育と表現	◎	○			
	保育内容の指導法（健康）	○	◎			
	心身の発達と学習過程	○	◎			
	教育課程・保育の計画と評価	◎	○			
	教育の方法と技術 I（音楽）	◎				○
	教育の方法と技術 III（運動）	◎				○
	教育実習研究	◎	○			
	教育実習	○	○	○	○	○
	こども家庭福祉		◎		○	
	社会的養護 I		◎		○	
	こどもの理解と援助	○	◎			
	乳児保育 I	◎	○			
	保育教材研究 II（あそび歌）	◎				○
	レクリエーション実技				○	
	保育実習研究 I	◎	○			
	保育実習 I	○	○	○	○	○
通年	こどもと音楽（ピアノ I）	◎				○

### 2年

期	科目名	①	②	③	④	⑤
一般 教育 科目	情報処理 II					○
	体育実技					○
	文学					○
	美術					○
後期	体育理論					○
	保育内容の指導法（環境）	○	◎			
前期	保育内容の指導法（言葉）	○	◎			
	特別支援教育 I（障がい児保育含む）	◎	○			
	教育方法論 I（多文化保育）			○	◎	○
	教育方法論 III（生涯学習論）			○	◎	○
	教育実習研究	◎	○			
	教育実習	○	○	○	○	○
	こども家庭支援論		◎		○	
	仏教保育論			○		◎
	乳児保育 II	◎	○			
	こどもの健康と安全	◎	○			
	社会的養護 II		◎		○	
	こどもと音楽（ピアノ II）	◎				○
	保育教材研究 III（防災と危機管理）			○	◎	○
	総合表現 I	◎				○
	保育実習研究 II	◎	○			
	保育実習 II	○	○	○	○	○
	保育実習研究 III	◎	○			
	保育実習 III	○	○	○	○	○
	後期	保育内容総論	◎	○		
保育内容の指導法（人間関係）		◎	○			
保育者論		○	◎			
特別支援教育 II（障がい児保育含む）		◎	○			
教育方法論 II（コンピュータリテラシー）						○
教育の方法と技術 II（造形）		◎				○
幼児理解と教育相談		○	◎			
保育・教職実践演習（幼稚園）		○	○	○	○	○
福祉と人権						○
こども家庭支援の心理学			◎		○	
子育て支援			◎		○	
総合表現 II		◎				○
レクリエーション理論					○	
手話コミュニケーション	○			◎		
通年	こどもの食と栄養	◎	○			

◎：DP達成と特に密接な関連がある  
 ○：DP達成と密接な関連がある  
 空欄：DP達成と関連がある

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		仏教 ( Y H I A 1 )		講義	武井 峻 應
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし	
2単位	○	○	○	参考書 『仏教百話』増谷文雄	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	教 材 適宜配布
50%	10%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、本学が建学の精神としてかかげている仏教についての基礎知識を学び、保育者として、ひとりの人間として、仏教の智慧を日常生活に活かすことができるようになることを目的とする。授業は講義を中心とするが、自らの頭で考え、意見を交換する時間を設ける。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパーや花まつりのレポート、課題に関しては、授業の中でフィードバックし共有する。定期試験は返却する。但し、魂まつり、成道会、涅槃会のレポートに関しては返却のみとする。

#### 【授業の到達目標】

基本的な仏教用語を理解し、説明できる。仏教行事について理解し、説明できる。仏教の智慧と日常生活を関連付けることができる。

#### 【実務経験】

僧侶としての経験を活かし、仏教の知識を実践的に捉えて講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 建学の精神と仏教行事、宗教とは	予習) 自分の宗教観についてまとめる		2時間
		復習) 仏教行事についてまとめる		2時間
2	釈尊の生涯① 釈尊の誕生・四門出遊・出家・修行	予習) 釈尊誕生時の様子について調べる		2時間
		復習) 釈尊の誕生についてまとめる		2時間
3	釈尊の生涯② 成道・梵天勧請・初転法輪・般涅槃	予習) 良心について考えてくる		2時間
		復習) 成道から涅槃についてまとめる		2時間
4	仏教の智慧① 縁起・中道・四諦八正道	予習) 縁起のいいもの悪いものを調べてくる		2時間
		復習) 仏教の縁起についてまとめる		2時間
5	仏教の智慧② 三毒・戒律・布施	予習) 自分の煩惱についてまとめる		2時間
		復習) 三毒・戒律・布施についてまとめる		2時間
6	坐禅の実践	予習) 坐禅について調べる		2時間
		復習) 坐禅の作法についてまとめ実践する		2時間
7	仏教の智慧③ 諸行無常・諸法無我・涅槃寂静	予習) 無常について調べてくる		2時間
		復習) 身の回りの諸行無常について考える		2時間
8	仏教の智慧④ 慈悲 利行は一法なり、自利利他の教えを考える	予習) 思いやりについて考えまとめる		2時間
		復習) 慈悲の考えをまとめ実践してみる		2時間
9	仏教の智慧⑤ 唯識 ～仏教の深層心理～ 花まつりレポート講評・返却	予習) 〔落語〕 菟菟問答を視聴し考察		2時間
		復習) 菟菟問答を視聴し意識について考える		2時間
10	仏教説話を読む ① ～ 偏見のからくり 罪を償うとは ～	予習) 偏見についてまとめる		2時間
		復習) 講義内容を考察する		2時間
11	仏教説話を読む ② ～ 汚れた布を染めなば・本物の賢者とは ～	予習) 言い訳について考えまとめる		2時間
		復習) 観察法をまとめ実践する		2時間
12	禅とはなにか 禅の基礎知識、禅問答	予習) 禅について調べる		2時間
		復習) 禅問答についてより深く考えまとめる		2時間
13	般若心経を読む 「色即是空」の真実	予習) 「空」について調べる		2時間
		復習) 般若心経についてまとめる		2時間
14	仏教行事① 「降誕会」・「魂まつり」 魂まつりレポートについては後期返却	予習) 行事について調べる		2時間
		復習) 仏教行事についてまとめる		2時間
15	仏教行事② 「成道会」・「涅槃会」 レポートについては後期返却	予習) 行事について調べる		2時間
		復習) 仏教行事についてまとめる		2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

仏教においては、教える側の先生も学生とともに歩む存在です。つまり、みなさん自身が先生として教える側に回ることもあるということ。限られた人生をよりよいものにするために、共に勉強していきましょう。

【オフィスアワー】 授業後の休み時間内です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	法学（日本国憲法） 〈 Y I B 1 〉			講義	武井英輔
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 特に指定しない 参考書 特に指定しない 教材 授業で使用するパワーポイント
2単位	—	○	—		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
80%	—	—	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

本講義は通常の法学部で設置されている法学科目のうち、身近な法律問題を中心にオムニバスのように解説する。法学は難解な学問であるというイメージがもたれやすいが、本講義では民法等の身近な法律問題をみながら、日本の法制度の基本的な理解を身につけることを目標としたい。

#### 【フィードバックの方法】

第1回目の授業内で説明する。

#### 【授業の到達目標】

ブラック校則、SNS上の誹謗中傷等々、これらは全て憲法にかかわる問題である。憲法は決して「雲の上」の存在ではなく、私たちの生活のなかに「生きている」ものです。受講者が憲法問題を身近な問題としてとらえ、主体的にこの問題に取り組めるようになることがこの授業の目標である。

#### 【実務経験】

弁護士業務で培った知識・経験に基づき、各法律問題に関して解説を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	イントロダクション（法とはなにか）	予習) 日本にどんな法律があるのかを調べる	復習) 法学の勉強の仕方等	1時間 2時間
2	憲法とは何か	予習) 憲法の目的を調べる	復習) 憲法と法律の違い等	1時間 2時間
3	法の下での平等	予習) 平等とはなにかを調べる	復習) 平等かどうかを判断する基準等	1時間 2時間
4	新しい人権	予習) 新しい人権とはなにかを調べる	復習) 新しい人権として保障される基準等	1時間 2時間
5	信教の自由	予習) 信教の自由とは何かを調べる	復習) 信教の自由全般	1時間 2時間
6	表現の自由(1)	予習) 表現の自由とは何かを調べる	復習) 表現活動とは何か等	1時間 2時間
7	表現の自由(2)	予習) 低価値表現について調べる	復習) 低価値表現がなぜ保障の程度が落ちるのか等	1時間 2時間
8	表現の自由(3)	予習) 表現の自由と名誉権が衝突する場合はどのような場合かを調べる	復習) 表現の自由と名誉権及びプライバシー権の完成性について等	1時間 2時間
9	学問の自由・教育を受ける権利	予習) 学問の自由・教育を受ける権利とは何かを調べる	復習) 学問の自由・教育を受ける権利は誰を中心とした権利なのか等	1時間 2時間
10	職業選択の自由・財産権	予習) 職業選択の自由・財産権とはなにかを調べる	復習) 職業選択の自由が制限される理由等	1時間 2時間
11	参政権・生存権	予習) 参政権・生存権とはなにかを調べる	復習) 生存権の性質等	1時間 2時間
12	三権分立	予習) 三権分立とは何かを調べる	復習) 三権分立の構造等	1時間 2時間
13	国会・内閣	予習) 国会・内閣の役割を調べる	復習) 国会・内閣の役割等	1時間 2時間
14	裁判所	予習) 裁判所の役割を調べる	復習) 裁判所の役割等	1時間 2時間
15	まとめ	予習) これまでの授業内容を復習	復習) 試験に向けての準備を行う	1時間 2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

憲法は大事なルールの一つです。

憲法とは何のためにあるのか、誰のためにあるのか等を理解しましょう。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	心理学 ( I B 2 )			講義	五十嵐 元子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書	
2単位	—	—	—	はじめて学ぶ心理学—心の形成・心の理解 井梅由美子・渡辺千歳編著 大学図書出版 2015年	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	参考書 授業中に指示
—	30%	60%	—	10%	教材 適宜配布
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授業概要

## 【授業の内容・方法】

心理学とは目に見えない心の仕組みを理解しようとする学問です。この授業では心理学という学問の基礎体系を学び、人の行動や感情の捉え方、人の認識のあり方、それらがどのように研究されているのかを知ることを目的としています。さらに身近な心理学のトピックを取りあげ、人の心や行動への理解を深めます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回の小テスト・課題（レポート）を提出してください。

## 【フィードバックの方法】

小テストは回答後あるいは授業中にフィードバックを、課題（レポート）はコメントを返します。

## 【授業の到達目標】

- ・感覚・知覚、学習・記憶、思考・言語、動機づけなどについて理解し、説明できる。
- ・発達や人格、社会行動（対人関係）、心理アセスメントと心理療法について理解し、説明できるようになる。
- ・身近なトピック及び現代社会における課題を心理学と結び付けて理解し、説明できるようになる。

## 【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	オリエンテーション 心とは何か？心理学という学問について	予習) 心とは何か？を考えまとめる	2時間
		復習) 改めて心とは何か？をまとめる	2時間
2	欲求と動機づけ ～人の欲求とやる気の関係を知る	予習) 学びたい気持ちになるときを考える	2時間
		復習) 欲求と動機づけ理論をまとめる	2時間
3	感覚と知覚 (1) 基礎編 ～感覚と知覚を考える	予習) 錯視（だまし絵）を調べる	2時間
		復習) 感覚と知覚のメカニズムをまとめる	2時間
4	感覚と知覚 (2) 応用編 ～発達障がいにおける感覚と知覚を知る	予習) 感覚過敏について調べる	2時間
		復習) 発達障がいの困難をまとめる	2時間
5	学習のメカニズムを知る	予習) 誉める・叱るとは何かを考える	2時間
		復習) 条件づけについてまとめる	2時間
6	記憶のメカニズムを知る	予習) 記憶という言葉のイメージを考える	2時間
		復習) 記憶のメカニズムをまとめる	2時間
7	言語と思考とは何か？その発達を知る	予習) 言語の獲得について考える	2時間
		復習) 乳幼児期の言語発達をまとめる	2時間
8	感情の発達を知る	予習) 感情とは何かを考える	2時間
		復習) 感情の発達をまとめる	2時間
9	パーソナリティの理論と検査法を学ぶ	予習) 血液型と性格は関係するかを考える	2時間
		復習) パーソナリティ理論をまとめる	2時間
10	知能とは何かを知る	予習) 知能が高いと勉強もできるのかを考える	2時間
		復習) 知能とは何かをまとめる	2時間
11	心理アセスメントを学ぶ	予習) 心理テストからイメージするもの考える	2時間
		復習) 心理アセスメントについてまとめる	2時間
12	心理療法を学ぶ	予習) カウンセリングのイメージをまとめる	2時間
		復習) 心理アセスメントと心理療法をまとめる	2時間
13	社会的行動（対人関係の認知）を考える	予習) ドキドキすることは恋愛か？を考える	2時間
		復習) 対人関係の認知過程をまとめる	2時間
14	ストレスと心の病を学ぶ	予習) ストレスとは何かを考える	2時間
		復習) ストレスと心の病の関係をまとめる	2時間
15	家族関係を捉える 全体のまとめ	予習) あなたにとって家族とは？を考える	2時間
		復習) 課題レポートの準備	2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

心理学を学ぶと自分や他者を見る目が少しだけ変わるかもしれません。日常よくある人と関連した現象と一緒に楽しく読み解きましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	情報処理 I ( Y I C 1 )			演習	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 保育者のためのパソコン講座 ((株) 萌 文書林 2000 円 + 税) 教材 適宜配布
1単位	—	○	—		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	
—	60%	30%	10%	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

情報化社会で必要とされるネットワークや情報倫理の知識を養い、情報検索やソフトウェア操作の技術を身につけることで、情報処理の役割や可能性を理解し、大学生活や社会生活のさまざまな場面でコンピュータを活用できるようになることを目的とする。

授業形態は演習を中心とするが、発表の場としてプレゼンテーションを取り入れる。

#### 【フィードバックの方法】

毎時間初めに、前回の復習を兼ねた技術確認テストと解説を行う形でフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・インターネットを活用した情報収集力を身につけ、幅広い視野で物事を捉えることができるようになる。
- ・ビジネス文書や文書デザインの作成ができるようになる。
- ・プレゼンテーションについて理解し、プレゼンテーションができるようになる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション (Society 5.0とは、現在利活用しているビッグデータ、IoT、AI、ロボットについて考える、AI最新技術の活用例) Windowsとmanabaの基本操作	予習) 高校までに学んできたPC技術の復習 復習) Windowsとmanabaの動作確認		0.5時間 1時間
2	Googleアプリ - 電子メール、カレンダー、ドライブ、ドキュメント、スプレッドシート 他 -	予習) 電子メール利用の注意事項をまとめる 復習) 電子メールの送受信		0.5時間 1時間
3	情報検索 - 必要な情報の検索方法 - (データ・AI活用における負の事例紹介、データを起点としたもの見方、人間の知的活動を起点としたもの見方、AI活用領域の広がり)	予習) 実習園の情報収集 復習) 収集した情報の確認		0.5時間 1時間
4	情報モラルについて考える (データ倫理、情報セキュリティ、パスワード、暗号化 他)	予習) 著作権や肖像権についてまとめる 復習) コピペについてまとめる		0.5時間 1時間
5	Word基本操作 (1) - タッチタイピングと日本語入力 -	予習) タイピング練習 復習) 日本語入力練習		0.5時間 1時間
6	Word基本操作 (2) - タッチタイピングとビジネス文書作成 -	予習) ビジネス文書について調べる 復習) タイピングと文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
7	Word基本操作 (3) - 文章の体裁を整える -	予習) タイピングと文書体裁の整え方を練習 復習) タイピングと文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
8	Word基本操作 (4) - デザインタブを知る -	予習) タイピングと文書体裁の整え方を練習 復習) タイピングと文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
9	Word基本操作 (5) - 表作成 -	予習) タイピングと文書体裁の整え方を練習 復習) 文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
10	Word基本操作 (6) - 図形描画 -	予習) 文書体裁の整え方を練習 復習) 文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
11	プレゼンテーションについて	予習) プレゼンテーションとは何かを調べる 復習) PowerPoint操作の確認		0.5時間 1時間
12	PowerPoint基本操作 (1) - 画面構成、スライド作成 -	予習) PowerPoint操作の確認 復習) PowerPoint操作の確認		0.5時間 1時間
13	PowerPoint基本操作 (2) - アニメーション -	予習) スライドの見え方について考える 復習) アニメーションの確認		0.5時間 1時間
14	プレゼンテーション作成	予習) プレゼンテーション内容を考える 復習) プレゼンテーション内容をまとめる		0.5時間 1時間
15	プレゼンテーション発表 まとめと振り返り	予習) 発表の練習 復習) 学んだ技術の振り返り		0.5時間 1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

各高校で学んだ情報技術の内容が異なるため、皆さんの情報技術を確認しながら進めていきます。毎時間初めに復習を兼ねた確認テストを行いますので遅刻をしないよう注意しましょう。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	英語 I ( Y H I D 1 )			演習	TIMOTHY R.SOPER
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
教科書なし 参考書 英和辞典 教材 オリジナル					
評価方法・基準					
平常試験	定期試験	レポート課題	実技	授業態度	
—	60%	—	20%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

英語の国際語としての役割を反映させ、コミュニケーションの手段として、英語を使う能力と自信を向上させる。様々なグループに分かれたり、ペアを組んで、学生自身が自発的に参加できるようにし、文化的な視野、グローバルな概念について、ディスカッション等を行う。

#### 【フィードバックの方法】

課題に対するフィードバックを授業内で行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・基本的な英語を理解することができる。
- ・平易な英語で、自分の考えを表現できる。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	Introductory Lesson: Course introduction and guidance.	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
2	Finding Out About Each-Other (1) : Talking about ourselves. Teacher's introduction.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
3	Finding Out About Each-Other (2) : Talking about ourselves. Student's introduction.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
4	Can You Speak English - : Asking and answering questions about our abilities.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
5	That's personal: Asking for and giving personal information: hometowns, occupations, study, age, marital status.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
6	The Time: Various ways of expressing the time. Asking and answering questions about the time. Listening for time expressions.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
7	Dates: Various ways of expressing the date. Asking and answering questions about the time. Listening for time expressions	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
8	Times And Dates: Reading, writing and problem-solving Activities about times and dates.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
9	Numbers Small And Large: Saying, listening for and writing numbers. Practice with very large numbers.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
10	Where Does It Go (1) : Listening and speaking activities using prepositions of location.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
11	Where Does It Go (2) : Reading and problem-solving activities about prepositions of location.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
12	It's That Way (1) : Asking for and giving simple street directions.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
13	It's That Way (2) : Asking for and giving complex street directions. Listening practice for street directions.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
14	It's That Way (3) : Reading and writing problem solving exercises for street directions.	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間	
15	Course Review: Review of course to date. "The Numbers Game" - activity practicing use of large numbers	予習) 授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間	
		復習) 定期試験の準備	0.5時間	

#### \*担当者からのメッセージ\*

今の世の中、英語が満ちあふれています。もっと気楽に英語を使ってみましょう。間違えることなんか気にしないで！一番大切なことは、人とのコミュニケーションです！

【オフィスアワー】 授業後の休み時間です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	英語Ⅱ ( Y H I D 2 )			演習	TIMOTHY R.SOPER
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
平常試験	定期試験	レポート課題	実技	授業態度	
—	60%	—	20%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

英語の国際語としての役割を反映させ、コミュニケーションの手段として、英語を使う能力と自信を向上させる。様々なグループに分かれたり、ペアを組んで、学生自身が自発的に参加できるようにし、文化的な視野、グローバルな概念について、ディスカッション等を行う。

#### 【フィードバックの方法】

課題に対するフィードバックを授業内で行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・基本的な英語を理解することができる。
- ・平易な英語で、自分の考えを表現できる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	My Summer Vacation (1) : Talking about summer activities. Speaking and writing practice using the simple past tense and gerunds.	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
2	My Summer Vacation (2) : Talking about summer activities. Problem-solving activities using the past tense and gerunds.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
3	All Dressed Up (1) : Describing people's physical appearances and clothing.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
4	All Dressed Up (2) : Speaking, hearing and problem solving activities about people's physical appearances and clothing.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
5	All Dressed Up (3) : Reading, writing and problem solving activities about people's physical appearances and clothing.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
6	Family Portrait (1) : Talking about family members and relations.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
7	Family Portrait (2) : Problem-solving exercises about family members and relations.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
8	Like It Or Not (1) : Talking about likes and dislikes. Expressing degrees of approval and disapproval.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
9	Like It Or Not (2) : Review and Communication activity about expressing degrees of approval and disapproval.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
10	Happy Christmas: Introduction of Western Winter Holiday traditions. Christmas-related activities and songs.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
11	About Tomorrow: Talking about the Future. Asking and answering questions about future plans.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
12	About Yesterday: Talking about the past. Speaking and listening activates using the simple past tense.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
13	It's Delicious: Talking about various kinds of food. Vocabulary, listening and speaking activities about food.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
14	Let's Eat Out: Ordering and taking orders in a restaurant.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	次回授業向けプリントを読み理解する	0.5時間
15	Course Review: Review of course. Communication activity.	予習	授業時に配付したプリントを復習する	0.5時間
		復習	定期試験の準備	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

今の世の中、英語が満ちあふれています。もっと気楽に英語を使ってみましょう。間違えることなんか気にしないで！一番大切なことは、人とのコミュニケーションです！

【オフィスアワー】 授業後の休み時間です。



開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		保育と健康 ( Y H II A 2 )		演習	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 新保育ライブラリ保育内容「健康」 北大路書房	
1単位	○	○	○	参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月 文部科学省)・保育所保育指針解説(平 成30年3月厚生労働省)・幼保連携型 認定こども園教育・保育要領解説(平 成30年3月内閣府)	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	30%	30%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教材 適宜配布					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

講義を中心として、必要に応じて視覚教材や演習を取り入れるとともに、グループワークで議論や意見の共有を行う。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、事例検討、課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・幼児教育の基礎となる幼児の健康な心身の発達を促すために必要な知識と、幼児が自ら健康で安全な生活を作り出す生活習慣や態度を習得することの意義や重要性について理解する。
- ・幼児の体格や運動能力発達の現状と問題点を踏まえ、楽しい運動遊びを促すことや安全教育と安全管理の方法について理解し、実践できる技能を身につける。

## 【実務経験】

幼児担当の指導主事として、幼児への直接指導の経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる内容の講義と演習を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 授業内容・方法等について	予習) シラバスについて授業内容と到達目標の把握		1時間
		復習) 領域「健康」について整理する		2時間
2	領域「健康」のねらいと内容について 子どもの健康について・健康の意味・定義について	予習) 健康領域のねらいについて調べる		1時間
		復習) 健康領域のねらいについてまとめる		2時間
3	発達理解 (1) 子どもの理解を深める発達観について学ぶ	予習) 健康の意味・定義について整理する		1時間
		復習) 子どもの発達観についてまとめる		2時間
4	発達理解 (2) 身体と生理機能の発達について学ぶ	予習) 子どもの発達観について整理する		1.5時間
		復習) 身体と生理機能の発達についてまとめる		1.5時間
5	発達理解 (3) 運動機能の発達について学ぶ	予習) 運動機能の発達について調べる		1.5時間
		復習) 運動機能の発達についてまとめる		1.5時間
6	発達理解 (4) 心、人間関係、社会性の発達と健康について学ぶ	予習) 心、人間関係、社会性の発達について調べる		1.5時間
		復習) 心、人間関係、社会性の発達についてまとめる		1.5時間
7	発達理解 (5) 生活習慣と身体活動について学ぶ	予習) 生活習慣と身体活動について調べる		1.5時間
		復習) 生活習慣と身体活動についてまとめる		1.5時間
8	遊びの発達と健康について学ぶ 園庭の遊びについて学ぶ 前半確認テスト	予習) 遊びの発達について調べる		1.5時間
		復習) 遊びの発達についてまとめる		1.5時間
9	体格・運動機能の測定方法と分析方法について学ぶ	予習) 体格・運動機能の測定方法を調べる		2時間
		復習) 測定方法と分析方法についてまとめる		1時間
10	生活スタイル・生活習慣の形成について学ぶ 安全管理と安全教育について学ぶ	予習) 子どもの生活習慣と安全について調べる		2時間
		復習) 生活習慣の形成と安全教育についてまとめる		1時間
11	発達理解を通じた教材研究と指導案の作成について学ぶ	予習) 指導案の作成方法について調べる		2時間
		復習) 発達理解を通じた教材研究を行う		1時間
12	模擬保育の実施とフィードバック 保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		1時間
13	模擬保育の実施とフィードバック 保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		1時間
14	模擬保育の実施とフィードバック 保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		1時間
15	まとめと振り返り	予習) 領域「健康」の保育内容についてまとめる		1時間
		復習) 自己の学修の振り返りと総括を行う		2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

健康の領域について学びます。しっかり基礎を学び、自分の知識と技能の基礎を築いてください。受け身ではなく能動的に学んでください。実際に幼児の指導を行ってきた経験をもとに、先生方や保育士さん方の実践例を含めて授業を行っていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		保育と人間関係 ( Y H II A 3 )		演習	西 敏 郎
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	60%	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 『基礎からまなべる保育内容(人間関係)』 田中卓也 他 あいり出版 1800円+税 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成30年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成30年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成30年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配付					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、乳幼児期の人間関係を育むための保育実践について検討、理解する。問題解決型学習を軸として保育現場の事例を手掛かりに、子どもの人間関係の発達について様々な観点から考察する。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

#### 【授業の到達目標】

- ・乳幼児期の人との関わりの発達特性と、領域「人間関係」について理解を深めることができる。
- ・子どもを取り巻く現代社会の人間関係に関心を持ち、その課題について考えることができる。
- ・人と関わる力を育むための保育内容および配慮について考えることができる。

### 授 業 計 画

### 準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )

### 準 備 学 習 時 間

1	授業の概要(到達目標・留意事項 本講座の全体的な流れ)の説明	予習) シラバスの授業内容・到達目標を把握 復習) 今後の授業内容についてまとめる	0.5時間 0.5時間
2	人間関係の基礎知識①	予習) 事前配付された資料を読んでくる 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
3	人間関係の基礎知識②	予習) 事前配付された資料を読んでくる 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
4	幼児をとりまく人間関係	予習) 教科書「第1章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
5	人と関わる力	予習) 教科書「第2章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
6	人間関係で育つ協同性	予習) 教科書「第3章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
7	言葉を通じて深まるに人間関係①	予習) 教科書「第4章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
8	人間関係を通して育む「道徳性・規範意識の芽生え」① 道徳の芽生えとは	予習) 教科書「第5章」(p33-36)を読み考察 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
9	人間関係を通して育む「道徳性・規範意識の芽生え」② 規範意識の芽生えとは	予習) 教科書「第5章」(p37-41)を読み考察 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
10	幼小連携と人間関係	予習) 教科書「第6章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
11	保育者同士の人間関係	予習) 教科書「第7章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
12	家庭と園をつなげる保育者の役割	予習) 教科書「第8章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
13	「気になる子ども」とのかかわり	予習) 教科書「第9章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
14	指導計画と指導案の書き方	予習) 教科書「第10章」を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
15	全体のまとめ レポート作成	予習) これまでの内容をまとめる。 復習) レポートを作成する。	1時間 2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

人の思考や行動は他者(人間関係)によって構築されていきます。それが幼児期ならばなおさらです。人間関係がもつ影響力をしっかりと学んでください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育と環境 ( Y H I I A 4 )			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	考察発表	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

この授業では、環境を通した保育を前提に、保育者の役割についての理解を深め、幼児の発達にとっての環境の意義について学ぶ。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れる。また、グループワークで議論や意見の共有を行う。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパーについては個別に manaba で、また授業の中でもフィードバックする。定期試験は返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・子どもにとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、環境を通した実践的な支援を行うことができる。
- ・子どもを取り巻く環境や、子どもと環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

## 【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通した保育について考える。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	授業概要 環境を通した保育とは	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
2	自然体験について知る	予習)	自然体験の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
3	いろいろな子どもの遊び場・遊具	予習)	遊び場・遊具の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
4	子どもの成長と保育環境とは ①3歳未満児	予習)	指針解説P145-155を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
5	子どもの成長と保育環境とは ②3歳児	予習)	指針解説P228-247を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
6	子どもの成長と保育環境とは ③4歳児	予習)	要領解説P193-212を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
7	子どもの成長と保育環境とは ④5歳児	予習)	要領解説P2-21を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
8	いろいろなものを栽培・収穫体験	予習)	栽培・収穫体験の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
9	いろいろな生き物を飼育	予習)	生き物飼育の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
10	いろいろな日本の年中行事	予習)	年中行事の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
11	保育環境の中にある数量・図形	予習)	数量・図形の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
12	保育環境の中にある標識・文字	予習)	標識・文字の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
13	園外保育をはじめとする地域社会と関わり	予習)	園外保育の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
14	幼小接続をはじめとする地域社会との関わり	予習)	保育資源・文化施設の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
15	連絡帳の役割 まとめと振り返り	予習)	連絡帳の役割について考える	0.5時間
		復習)	定期試験準備	1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。  
【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	保育と言葉 ( Y H II A 5 )			演習	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	演習発表	課題	実技	授業態度	
40%	30%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 『保育者のための言語表現の技術 子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践 第2版』(萌文書林・2019・2000円+税) 参考書 『幼稚園教育要領』(文部科学省・2018) 『保育所保育指針』(厚生労働省・2018) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(文部科学省、厚生労働省・2018) 教材 適宜資料を配布する					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では人間にとっての言語の役割を理解し、それをふまえたうえで子どもの言語獲得・言語発達について学ぶ。さらに子どもが言葉を使って生活をし、社会に参加していく中での保育者の役割についても考察していく。授業は講義を中心とし、専門領域の知識を深めるための視聴覚教材の視聴やグループワークを取り入れる。言葉遊びや児童文化財を用いての演習発表を行う。

#### 【フィードバックの方法】

授業内で課題や演習発表へのフィードバックをする。また、定期試験を実施し、採点の後返却をする。

#### 【授業の到達目標】

- ・生活や社会における人間にとっての言葉の意義や機能について知り、乳幼児期の言葉の発達過程や、その際の保育者の役割について理解し、説明できる。
- ・幼児が言葉に対する感覚を豊かにし、その楽しさに気づけるような言葉遊びなどを学び、幼児の発達に応じた実践について説明し、行うことができる。
- ・言葉を育てる児童文化財の意義を理解し、基礎的な知識を身に着ける。また、幼児の発達における児童文化財の役割を説明できる。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 人間の生活や社会にとっての言葉とは何か	予習) 言葉の役割について考える 復習) 言葉の要素についてまとめる		0.5時間 0.5時間
2	子どもの言葉の獲得と発達 (1) 心身の発達との関連	予習) 子どもの言葉の獲得・発達を考える 復習) 自分の言語発達についてまとめる		0.5時間 0.5時間
3	子どもの言葉の獲得と発達 (2) 言葉のルールを獲得する	予習) 学校国文法の復習をする 復習) 子どもの言葉遣いについてまとめる		0.5時間 0.5時間
4	子どもの言葉の獲得と発達 (3) 子どもの言葉の広がり	予習) 日本語の品詞分類について復習をする 復習) 保育者の言葉遣いについてまとめる		0.5時間 0.5時間
5	伝え合いと表現する力を養う実践とは?	予習) コミュニケーションについて調べる 復習) 保育者のコミュニケーションをまとめる		0.5時間 0.5時間
6	文字とメディアのコミュニケーション	予習) 文字の役割と機能について考える 復習) 保育関連のメディアをまとめる		0.5時間 0.5時間
7	子どもと言葉の多様性 (1) 発達の多様性	予習) 様々な言葉の配慮について調べる 復習) アクセシビリティについてまとめる		0.5時間 0.5時間
8	子どもと言葉の多様性 (2) 言語環境・社会の多様性	予習) 多言語表示の例を探してくる 復習) やさしい日本語についてまとめる		0.5時間 0.5時間
9	子どもの言葉を豊かにする言葉遊び、伝統遊びについて	予習) 伝統遊び・わらべ歌を調べる 復習) 保育の中での言葉遊びの実践を考える		0.5時間 0.5時間
10	子どもの言葉を豊かにする言葉遊び、伝承遊びの実践 (演習発表)	予習) 言葉遊びの演習発表の準備をする 復習) 演習発表をふりかえりまとめる		0.5時間 0.5時間
11	子どもの言葉をはぐくむ児童文化財について	予習) 児童文化財の種類を調べる 復習) 児童文化財の活用方法を考える		0.5時間 0.5時間
12	言葉を育てる児童文化財の教材研究	予習) 児童文化財の教材研究について調べる 復習) 演習発表の計画を立てる		0.5時間 0.5時間
13	児童文化財を用いた実践とその計画 (演習発表)	予習) 児童文化財を用いた演習発表の準備をする 復習) 演習発表をふりかえりまとめる		0.5時間 0.5時間
14	言葉をはぐくむための保育者の実践とは	予習) 子どもの言語発達についてまとめる 復習) 言語発達における保育者の役割をまとめる		0.5時間 0.5時間
15	まとめと振り返り	予習) これまでの授業の内容を復習する 復習) これまでの授業の内容をまとめる		0.5時間 0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

子どもが社会の中で成長していくときの、言葉とコミュニケーションの意義や役割について学びます。子どもの姿をよく観察して、様々なことを発見してください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	保育と表現 ( Y H II A 6 )			演習	茂木克浩・高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 「コンパス 保育内容 表現」島田由紀子・駒久美子編著,建帛社,2019年 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)、「表現者を育てるための保育内容」音楽表現』石井玲子編著 教育情報出版 教材 ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します) 適宜授業内で連絡します	
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	提出物	実技	
—	10%	30%	15%	45%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

本授業では、幼児教育における領域「表現」に関する知識と、幼児の多様な表現を支えるための技能や表現力を実践的に学ぶ。音楽・造形・身体といった様々な表現方法を統合した活動を取り入れることで、魅力的な表現あそびを計画できるようにする。実際に活動を考え体験し合い、学生間で意見交換することを通して、表すことと受け止めることの両方を体験的に学べるようにする。ポートフォリオに毎時間の学びを記録することで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。

## 【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内で講評、解説を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・幼児の遊びや生活と表現との関連について説明できる。
- ・幼児が表現活動を展開していく過程や、それを発展させ支える方法について理解している。
- ・幼児の多様な表現の魅力を見つけ、受け止めることができる。

## 【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、豊かな表現活動を支えていく上で留意するポイントを具体的に示していく。(茂木)  
海外での幼稚園教諭としての経験、また演奏活動を行っている演奏家としての両方を活かし、実践的な表現あそびについて提言していく。(高橋)

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
1	表現との出会い	茂木 高橋	予習) 教科書p.1-10を事前に読み不明点を調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
2	幼児教育における表現の歴史と領域「表現」	茂木	予習) 幼児教育における表現の歴史について調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
3	子どもの表現を支える保育者の役割	高橋	予習) 教科書p.11-16を事前に読み不明点を調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
4	幼児期と児童期の表現とつながり レポート課題について	茂木	予習) 教科書p.17-26を事前に読み不明点を調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
5	うごきと表現	高橋	予習) 教科書p.27-33を読みp33の演習課題について考えてくる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
6	創造力と表現	高橋	予習) リトミックについて調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
7	自然環境と表現	茂木	予習) 自然をもちいた表現活動について調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
8	身近な素材と表現	茂木	予習) 教科書p.57-66を事前に読み不明点を調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
9	情報機器と表現	茂木	予習) 教科書p.67-74を事前に読み不明点を調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
10	ミニオペレッタをつくる① オペレッタについて	高橋	予習) オペレッタについて調べる	0.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
11	ミニオペレッタをつくる② 役割分担	茂木 高橋	予習) 楽譜や台本を読みオペレッタの内容を理解する	1.0時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
12	ミニオペレッタをつくる③ 小道具づくり	茂木 高橋	予習) 小道具の作り方を調べ必要な素材を準備する	1.0時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
13	ミニオペレッタをつくる④ 歌唱・振り付け	茂木 高橋	予習) 楽譜と台本を読み歌唱、振り付けを覚えておく	1.0時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
14	ミニオペレッタをつくる⑤ リハーサル	茂木 高橋	予習) 歌唱や振り付けの練習、小道具づくりをすすめる	1.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
15	ミニオペレッタをつくる⑥ 発表と講評 子どもの表現と評価	茂木 高橋	予習) 発表準備、教科書p.123-130を読み不明点を調べる	1.5時間
			復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子どもたちが多様な表現活動をのびのびと行えるよう、具体的な支援の方法を学びましょう。学びを自分のものにするためには、各回の学修内容と気づきを自らの言葉で振り返ることが重要です。疑問点については積極的に調べましょう。前向きに授業に取り組んでくれることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	保育内容の指導法（健康） 〈 Y H I I A 7 〉			演習	小野 覚 久
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 健康指導法 わかば社 参考書 「つまずかない転ばない 奇跡のくねくね体操」 荒木秀夫 著、宝島社 教 材 適宜配布
1単位	○	○	○	＃	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	20%	30%	20%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

演習と講義を通して、必要に応じ ICT 機器等を取り入れるとともに、グループワークで議論や意見の共有を行う。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、事例検討、課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・幼児教育の基礎となる幼児の健康な心身の発達を促すために必要な知識と、幼児が自ら健康で安全な生活を作り出す生活習慣や態度を習得することの意義や重要性について理解する。
- ・幼児の体格や運動能力発達の現状と問題点を踏まえ、楽しい運動遊びを促すことや安全教育と安全管理の方法について理解し、身につける。
- ・授業を通して具体的な指導内容を理解し、指導上の留意点について理解を深め、実際に指導案を作成して、模擬授業を実施し、グループ討議をする。

#### 【実務経験】

幼児担当の指導主事として、幼児への直接指導の経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる内容の講義と演習を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション 幼児の健康の定義について 領域「健康」の内容および指導上の留意点	予習) シラバスについて授業内容・到達目標の把握		1時間
		復習) 健康領域の内容についてまとめる		2時間
2	幼児の健康と保育者の役割について 幼児の健康に関わる現在の問題について	予習) 保育者の役割と保育の諸問題について調べる		1.5時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1.5時間
3	指導案の検討と作成（個人） 模擬保育の準備	予習) 指導内容（案）について調べる		1.5時間
		復習) 指導案を完成させる		1.5時間
4	模擬保育（個人）を行う。 グループディスカッションを行う	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
5	模擬保育（個人）を行う。 グループディスカッションを行う	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
6	幼児の運動の発達過程について 幼児の運動の発達について ・ 指導案検討	予習) 幼児の運動の発達について調べる		2時間
		復習) 幼児の運動の発達についてまとめる		1時間
7	幼児の遊びの発達と健康について 幼児の遊びの発達について ・ 指導案検討	予習) 幼児の遊びの発達について調べる		2時間
		復習) 幼児の遊びの発達についてまとめる		1時間
8	幼児の体格の発達過程および幼児の体格と運動能力 の現状と問題について ・ 指導案検討	予習) 幼児の体格と運動能力の現状と問題の把握		2時間
		復習) 指導案の内容を検討する		1時間
9	指導法と教材研究のグループワーク 健康に関する教材と指導法について検討する	予習) 教材研究をする		2時間
		復習) 教材を決定し指導法を検討する		1時間
10	指導案の作成（グループ） グループで健康に関する指導案を作成する	予習) 指導案作成の準備をする		2時間
		復習) 指導案を完成させる		1時間
11	模擬保育（グループ） 保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		1時間
12	模擬保育（グループ） 保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		1時間
13	模擬保育（グループ） 保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		1時間
14	幼児の安全管理と安全教育について（救急法を含む） 安全管理と安全教育について、救急法をもとに学ぶ	予習) 安全管理と安全教育について調べる		2時間
		復習) 安全管理と安全教育についてまとめる		1時間
15	まとめと振り返り	予習) 健康領域の保育についてまとめる		2時間
		復習) 自己の振り返りと総括を行う		1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

人間の生きる力の基礎となる健康や、こどもの発育・発達について考えていきましょう。また、保育者として健康に関する内容について熟知し、保護者への助言ができるような知識と技能を身につけられるよう頑張りましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日 5 コマ目です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育内容の指導法 (造形表現) ( Y H I I A 1 1 )			演習	茂木 克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	実技	提出物	模擬保育	
40%	10%	15%	15%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「保育をひらく造形表現」横 英子 萌文書林 参考書 幼稚園教育要領解説 (平成 30 年 3 月文部科学省)、保育所保育指針解説 (平成 30 年 3 月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 (平成 30 年 3 月内閣府)、「色彩ワークショップ (しる・みる・つかうシリーズ 1)」色彩ワークショップ編集委員会 日本色研事業株式会社 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル (詳細は 1 回目の授業で説明します)					

### 授 業 概 要

**【授業の内容・方法】**

本授業では乳幼児の表現活動、特に造形表現を中心にした保育内容の展開や指導法を実践的に学ぶ。実際に保育現場で用いられることの多い素材や道具に触れることで、その特徴や指導上の留意点を経験的に学べるようにする。指導案の作成や模擬保育を通して、学修した知識を元に保育を計画できる実践的な力の獲得を目指す。適宜、グループワークを取り入れ、多様な表現や視点に気付けるようにする。また素材や道具、環境の設定と関連させながら安全管理についても取り扱っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。

**【フィードバックの方法】**

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。制作活動や模擬保育について、授業内で講評、解説をする。

**【授業の到達目標】**

- ・ 道具、素材、環境、技法等の特徴を理解し、幼児の関心や発達に合わせた保育内容を構想できる。
- ・ 領域「表現」の目標及び内容を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成できる。
- ・ 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点と姿勢を身に付けている。

**【実務経験】**

中学校の美術科教員としての経験を生かし、素材の特徴や道具の使い方、表現のポイント、具体的な活動の立案方法について実践的に学べるようにする。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	領域「表現」と幼児の造形表現活動との関連	予習)	教科書p.9-14,84-86を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習)	自らの造形体験について思い出す	0.5時間
2	描画・造形表現の発達と小学校への接続	予習)	教科書p.63-79を読み不明点を調べる	1時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
3	インクルーシブ保育と多様な表現活動	予習)	教科書p.79-81,118-124を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
4	身体感覚を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習)	教科書p.15-25を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
5	協働で行う表現活動の実践と指導上の留意点	予習)	教科書p.26-30を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
6	色や形を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習)	色彩や形の基本的なことについて調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
7	描画材の特徴を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習)	保育現場で使われている描画材について調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
8	描画技法を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習)	様々な描画技法について調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
9	仕組みを用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習)	仕組みを使った造形活動について調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
10	身近な素材を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習)	身近にある様々な素材について調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
11	模擬保育に向けた計画立案と指導案作成	予習)	教科書p.101-110を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
12	模擬保育に向けた教材研究	予習)	教科書p.112-116を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
13	模擬保育の実践	予習)	模擬保育の準備をする	2.0時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
14	模擬保育の振り返り	予習)	模擬保育について自己評価をする	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
15	子どもの造形表現活動の評価とそれを活かした支援	予習)	評価について調べる	0.5時間
		復習)	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

子どもと一緒に造形表現を楽しむためには、保育者自らが素材や道具にたくさん触れそれらに対する理解を深めることが大切です。またその知識を用いて具体的な活動を計画できることが必要になります。学びを自分のものにするためには、各回の学修内容と気づきを自らの言葉で振り返ることが重要です。疑問点については積極的に調べましょう。前向きに授業に取り組んでくれることを期待します。

**【オフィスアワー】** オフィスアワーは水曜 5 コマです。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育内容の指導法（身体表現） 〈 Y H I I A 1 2 〉			演習	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	30%	30%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
<b>教科書</b> 「保育と幼児期の運動遊び」岩崎洋子 編著、萌文書林 <b>参考書</b> 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）・保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月内閣府） <b>教材</b> 適宜配布					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

実技と講義を通して、必要に応じ ICT 機器等を取り入れるとともに、グループワークで議論や意見の共有を行う。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、事例検討、課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・幼児が自発的に遊びを展開し、遊びの楽しさを味わい、意欲を高めていくために必要な安全を考慮した指導法や環境構成の基本を理解する。
- ・運動の簡単な原理やさまざまな遊びに関する知識や技能を習得し、季節に合わせた遊びなどを実践し理解する。グループワークで議論や意見の共有を行い、実践力を身につける。

#### 【実務経験】

幼児担当の指導主事として、幼児への直接指導の経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる内容の講義と演習を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション 「表現」領域のねらい及び内容、身体表現の特性について	予習) シラバスについて授業内容・到達目標の把握		1時間
		復習) 表現領域の内容についてまとめる		2時間
2	表現遊びの指導のための基礎理論 幼児期の表現の発達と動きの表出について	予習) 表現遊びの指導について調べる		1時間
		復習) 表現遊びの指導の基礎理論についてまとめる		2時間
3	表現遊びの指導のための基礎理論 五感を磨く表現と動きの模倣について	予習) 表現遊びの指導について調べる		1.5時間
		復習) 表現遊びの指導の基礎理論についてまとめる		1.5時間
4	幼児の身体活動と小学校体育との関連性について 隣接領域について学ぶ	予習) 小学校体育について調べる		1.5時間
		復習) 小学校体育との関連性についてまとめる		1.5時間
5	身体や動きの表現を引き出す教材について グループワークとディスカッションの発表	予習) 身体や動きの表現を引き出す教材について調べる		1時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
6	身近な生活の中にある表現の題材について グループワークとディスカッションの発表	予習) 身近な生活の中にある表現の題材について調べる		1時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
7	保育現場での実践的な身体表現について 確認テスト グループワークとディスカッションの発表	予習) 実践的な身体表現について調べる		1時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
8	確認テストの振り返り コーディネーション運動の応用について	予習) 前半の学修内容についてまとめる		1時間
		復習) 確認テストの振り返り		2時間
9	昔遊び・自然の中での遊びについて グループワークと発表	予習) 昔遊び・自然の中での遊びについて調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
10	集団での遊び・ダンス・身体の触れ合い遊びについて グループワークと発表	予習) 集団での遊び・ダンス・身体の触れ合い遊びについて調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
11	グループ活動 表現の内容を検討し、練習する グループディスカッション	予習) グループで内容を検討する		1.5時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1.5時間
12	グループ活動 発表に向けての練習し、修正等をする グループディスカッション	予習) グループで内容を検討する		1.5時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1.5時間
13	グループ活動 発表に向けて練習し、構成全体を検討する グループディスカッション	予習) グループで発表内容を検討する		1時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
14	グループ活動の成果・課題発表を行う	予習) 発表に向けて準備をする		1時間
		復習) 発表のまとめを行う		2時間
15	まとめと振り返り	予習) 発表の振り返りを行う		2時間
		復習) 自己の学修の振り返りと総括を行う		1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

遊びと表現を幼児の目線と保育者の目線で捉え、たくさん遊びと表現の方法を見つけ出し、自分の引き出しに詰め込んでください。受け身ではなく能動的に学んでください。実際に幼児の運動指導を行ってきた経験をもとに、先生方や保育士さん方の実践例を含めて授業を行っていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。



開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
1年前期		教育原理・教育制度論 (YHIB2)			講義	西 敏 郎
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成30年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成30年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成30年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配布	
2単位	○	○	○			
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度		
50%	10%	20%	—	20%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

## 授 業 概 要

**【授業の内容・方法】**

アクティブラーニング型の授業を取り入れながら、幼児教育の基本的知識の習得を目的とし全体的な教育・保育の歴史と教育制度について理解を深める。さらに「良い教育とは・・・」「良い学校とは・・・」「良い教育者とは・・・」について深く考察し、独自の意見を持てるようにする。また現代の教育と保育の現状と課題についても考察する。

**【フィードバックの方法】**

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

**【授業の到達目標】**

- ・教育の基本的理念、教育の意義や目的について理解し、説明できる。
- ・教育の歴史等や制度の変遷を理解し、連続的観点をもって教育を捉えることができる。

**【実務経験】**

教員の実務経験を活かし、教員や学校の使命と学校教育制度について総合的にとらえて講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	授業の概要(到達目標・留意事項 本講座の全体的な流れ)の説明	予習) シラバスの授業内容・到達目標を把握 復習) 今後の授業内容についてまとめる	2時間 2時間	
2	教育とは何か	予習) 自分なりに教育者の役割をまとめる 復習) 教育の定義を確立させる	2時間 2時間	
3	教育思想と教育制度の成り立ち～世界① 古代～中世	予習) 中世までの世界史について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
4	教育思想と教育制度の成り立ち～世界② 近代～現代	予習) 近現代の世界史について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
5	教育思想と教育制度の成り立ち～日本① 古代～近世	予習) 近世までの日本史について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
6	教育思想と教育制度の成り立ち～日本② 近世～近代	予習) 近代までの日本史について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
7	教育思想と教育制度の成り立ち～日本③ 近代～現代	予習) 近現代の日本史について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
8	文部科学省の歴史と役割	予習) 文部科学省について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
9	教師の役割	予習) 教師の役割について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
10	幼児教育の役割	予習) 幼児教育の役割について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
11	世界の学校教育の課題	予習) 世界の学校教育を調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
12	現代日本の学校教育の課題	予習) 日本の学校教育について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
13	現代日本の教育と課題① 教育の国際化	予習) 日本の教育問題について調べる 復習) 世界の教育の問題をまとめる	2時間 2時間	
14	現代日本の教育と課題② 多様な背景を持つ子どもへの教育	予習) 日本の教育問題について調べる 復習) 授業の内容をまとめる	2時間 2時間	
15	全体のまとめ	予習) 独自の教育観・教育哲学を打ち立てる 復習) 定期試験の準備	1時間 3時間	

**\*担当者からのメッセージ\***

「良い教育とは何か?」「良い学校とは何か?」「良い教育者とは何か?」を常に考えながら受講してください。  
【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	心身の発達と学習過程 (YHIB3)			講義	五十嵐 元子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	30%	60%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 心理科学研究会『新・育ちあう乳幼児心理学 - 保育実践とともに未来へ -』有斐閣コンパクト 2019年					
参考書 授業中に指示					
教材 適宜配布					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を身につけます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回の小テスト・課題（レポート）を提出してください。

#### 【フィードバックの方法】

小テストは回答後あるいは授業中にフィードバックを、課題（レポート）はコメントを返します。

#### 【授業の到達目標】

- ・ 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について説明できる。
- ・ 子どもの発達に関わる心理学の基礎と養護・教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を解説できる。
- ・ 乳幼児の学びの過程や特性の基礎的な知識を習得し、保育者や仲間との相互的関わりや体験、環境の意義を解説できる。

#### 【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	ガイダンス（授業の概要と流れ） 保育と心理学について考える	予習	子どもを育てるイメージを図にする	1時間
		復習	心理学と子ども観の関係をまとめる	3時間
2	発達の定義・発達の原理・発達段階と発達課題・子どもの発達と環境について学ぶ	予習	発達とは何か？を考える	2時間
		復習	発達と環境の関連性をまとめる	2時間
3	発達における遺伝と環境・発達初期の経験の重要性・ヴィゴツキーの発達理論を学ぶ	予習	発達の遺伝と環境を調べる	2時間
		復習	初期経験の重要性は本当か？を考える	2時間
4	胎児期・新生児期の発達と発達課題を知る	予習	胎児期に記憶はあるのか？を考える	2時間
		復習	新生児期の発達をまとめる	2時間
5	乳幼児期の発達と発達課題を知る	予習	乳幼児期に大切にしたいことを考える	2時間
		復習	乳幼児期の発達をまとめる	2時間
6	児童期の発達と発達課題を知る	予習	学校で学んだことは何かをまとめる	2時間
		復習	児童期の発達をまとめる	2時間
7	青年期・成人期・老年期の発達と発達課題を知る	予習	青年期以降、人間は発達するのか？を考える	2時間
		復習	青年期・成人期・老年期の発達をまとめる	2時間
8	身体的機能・運動機能の発達について学ぶ	予習	代表的な運動遊びを考える	2時間
		復習	運動機能の発達にとって大切なことを考える	2時間
9	認知の発達と幼児・児童の学習過程を学ぶ	予習	子どもの頃に不思議だと思ったことを考える	2時間
		復習	認知と学習過程の関係をまとめる	2時間
10	愛着の形成と発達・自我・自己の発達を学ぶ	予習	3歳児神話を調べる	2時間
		復習	愛着・自我・自己の発達をまとめる	2時間
11	ことばの発達を学ぶ	予習	言語発達の過程を調べる	2時間
		復習	乳幼児期のことばの発達をまとめる	2時間
12	社会性の発達を学ぶ	予習	周りの目を気にするのは何歳から？を考える	2時間
		復習	劇づくりは社会性の発達を促すか？を考える	2時間
13	遊びの発達と保育の中に見る遊びを考える	予習	泥団子の作り方を調べる	2時間
		復習	子どもにとって遊びとは何か？を考える	2時間
14	基本的生活習慣の獲得と保育実践・身体機能と運動機能の獲得と保育実践を考える	予習	あなたの家の食事のマナーを考える	2時間
		復習	基本的生活習慣とは何か？を考える	2時間
15	認知の発達と保育実践・社会性の発達と保育実践を考える 授業のまとめ	予習	鬼ごっこの種類を調べる	2時間
		復習	課題レポートの準備	2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

子どもの発達を知ると遊びの実践が楽しくなる！をモットーに学習を進めていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	教育課程・保育の計画と評価 ( Y H II B 6 )			講義	林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	○	○		
教科書 「保育指導案大百科事典」一藝社 参考書 0 - 5 歳児指導計画の書き方がよくわかる本(保カリ BOOKS) 教 材 適宜配布する。					
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	—	60%	20%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、保育所や幼稚園等における保育の計画の在り方と作成の方法及び評価の意義について理解するとともに、カリキュラム・マネジメントの意義について学ぶ。指導計画案を作成し、教員による添削指導を経て修正を加えた指導計画案に基づき模擬保育を行い、評価・改善につなげていく。

#### 【フィードバックの方法】

提出された課題については添削を行い、模擬保育では授業内で講評をする。

#### 【授業の到達目標】

- ・ 全体的な計画と教育課程、指導計画の意義と目的を理解し、基礎的な知識を身につけられる。
- ・ 発達の特徴や特徴の理解を基に子どもの姿をとらえ、実際に指導計画の作成を通して作成の方法やポイントについて理解する。
- ・ 保育記録、評価・反省と計画の関係を理解し、計画の改善の意義と方法について理解する。

#### 【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	授業概要 (授業内容・到達目標・指導方法・留意事項) 保育の基本	予習) シラバスで授業内容・到達目標を把握 復習) 保育の基本についてまとめる	2時間 2時間	
2	保育における計画と評価の意義 教育課程・全体的な計画と指導計画	予習) 保育の計画と評価の意義を考察する 復習) 教育課程・全体的な計画の理解	2時間 2時間	
3	指導計画作成の基本及び方法 (1) 指導計画の構成	予習) 指導計画の構成を確認する 復習) 見本の指導計画を完成する	2時間 2時間	
4	指導計画作成の基本及び方法 (2) 子どもの姿のとらえ方	予習) 子どもの姿のとらえ方を確認する 復習) 子どもの姿を記す	2時間 2時間	
5	指導計画作成の基本及び方法 (3) ねらいと内容の設定方法	予習) ねらいと内容の設定方法を確認する 復習) ねらいと内容を記す	2時間 2時間	
6	指導計画作成の基本及び方法 (4) 環境構成の考え方	予習) 環境構成の考え方を確認する 復習) 環境構成を記す	2時間 2時間	
7	指導計画作成の基本及び方法 (5) 予想される子どもの姿と保育者の援助・配慮の想定	予習) 子どもの姿と保育者の援助配慮を確認 復習) 子どもの姿と保育者の援助配慮を記す	2時間 2時間	
8	幼児の特徴と指導計画 指導計画案作成 幼児 (1) 素案作り	予習) 幼児の特徴を確認する 復習) 指導計画の素案を完成する	2時間 2時間	
9	指導計画案作成 (幼児) (2) 指導計画案作成	予習) 指導計画案の構想をする 復習) 指導計画案を完成する	2時間 2時間	
10	乳児及び1・2歳児の特徴と指導計画 指導計画案作成 (乳児) (1) 素案作り	予習) 乳児、1・2歳児の特徴を確認する 復習) 指導計画の素案を完成する	2時間 2時間	
11	指導計画案作成 (乳児) (2) 指導計画案作成	予習) 指導計画案について素案を完成する 復習) 指導計画案の構想をする	2時間 2時間	
12	保育の実践【模擬保育】(1)	予習) 模擬保育の準備をする 復習) 模擬保育の評価をする	2時間 2時間	
13	保育の実践【模擬保育】(2)	予習) 模擬保育の準備をする 復習) 模擬保育の評価をする	2時間 2時間	
14	保育の評価と改善	予習) 保育の評価と改善について確認する 復習) 模擬保育の評価から改善を図る	2時間 2時間	
15	全体のまとめ	予習) 授業での学びを振り返る 復習) 平常試験の内容を今後につなげる	2時間 2時間	

#### \*担当者からのメッセージ\*

評価に関して授業態度には模擬保育発表内容を含みます。課題はその内容が基準に達しない場合、基準に達するまで再提出となる。未提出の場合は評価を行わない。提出物は期限を守ること。

【オフィスアワー】水曜日 5コマ目

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年後期		教育の方法と技術Ⅰ (YHIC1#)		演習	高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	○	#		
評価方法・基準					
平常試験	定期試験	レポート課題	—	授業態度	
60%	—	20%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

教科書  
表現者を育てるための保育内容  
「音楽表現」—音遊びから音楽表現へ—/  
石井玲子編著

参考書  
・音が出るおもちゃ&楽器あそび / 吉田未希子著  
・1～5歳のかんたんリトミック / 神原雅之著  
・リズム&ゲームにどっぷり!リトミック77選 / 神原雅之著

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、子どもが生活の中で楽しみ、親しむことの出来る手あそび・リトミックを学び、実践法を研究する。また身近な素材で簡単に製作することの出来る手づくり楽器を考案し、それをを用いた表現方法を考え、実際の現場で活かすことが出来るようにする。

#### 【フィードバックの方法】

グループ実践発表と個人実践発表の両方を行い、現場におけるよりよい実践法の考案へ向けてフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・授業での実践を通して、保育現場での音楽あそびの活用・応用が出来るようになる。
- ・表現者として自分自身も楽しみながら、喜びを持って実践が出来るようになる。

### 授業計画

### 準備学習(予習・復習)

### 準備学習時間

1	授業概要 子どもと楽しむ音楽遊びの理論と実践の基礎を理解する。	予習) 教科書の第1章を読む 復習) 保育現場における「表現」の意義についてまとめる	0.5時間 0.5時間
2	手あそび歌のグループ実践①:グループで話し合い子どもの能力を引き出す教育方法の在り方について考える。	予習) 手あそび歌とは何か、その意義について調べる。 復習) 手あそび歌を暗譜し、表現を伴い出来るように練習する。	0.5時間 0.5時間
3	手あそび歌のグループ実践②:表現を伴った手あそび歌の実践法を発表する。	予習) 手あそび歌の表現方法を考え、発表練習を進める。 復習) 他のグループの手あそび歌の表現方法についてまとめる。	0.5時間 0.5時間
4	手あそび歌のグループ実践③:発表の続きを実施する。手あそび歌の個人実践に向けて①:活動のねらいについて具体的に考え部分指導案を作成する。(3歳児・4歳児・5歳児より選択)	予習) 各年齢に合わせた手あそび歌を吟味し、選曲する。 復習) 各年齢対象の部分指導案を完成させる。	0.5時間 0.5時間
5	手あそび歌の個人実践②:部分指導案を元にグループで模擬保育を行い、保育の基礎的技術を身につける 3歳児対象	予習) 3歳児の発達について調べ、選曲した手あそび歌を練習する。 復習) 3歳児対象の実践における言葉かけや表現についてまとめる。	0.5時間 0.5時間
6	手あそび歌の個人実践③:部分指導案を元に模擬保育を行い、保育の基礎的技術を身につける 4歳児対象	予習) 4歳児の発達について調べ、選曲した手あそび歌を練習する。 復習) 4歳児対象の実践における言葉かけや表現についてまとめる。	0.5時間 0.5時間
7	手あそび歌の個人実践④:部分指導案を元に模擬保育を行い、保育の基礎的技術を身につける 5歳児対象①>:拍子感・フレーズ感を体感する。	予習) 5歳児の発達について調べ、選曲した手あそび歌を練習する。 復習) 5歳児対象の実践における言葉かけや表現についてまとめる。	0.5時間 0.5時間
8	手あそび歌のまとめ リトミックについて意義や効果を理解する。	予習) 教科書の第5章を読む 復習) リトミックの効果や意義についてまとめる	0.5時間 0.5時間
9	楽器の仕組みや構造について調べ、手づくり楽器制作に向けた計画を立て、グループ制作に入る。リトミック実践②>:言葉の節を体感し、表現する。	予習) 現存する楽器の種類、区分けについて調べる。 復習) 手作り楽器の素材を集め、完成図を作る。	0.5時間 0.5時間
10	保育を構成する要件や楽器の性質を理解し、グループで手づくり楽器を制作し、発表のリハーサルを行う。	予習) 子どもの安全性を考慮し、手作り楽器の材料を集める。 復習) グループ発表における指導案の工夫点をまとめる。	0.5時間 0.5時間
11	手づくり楽器によるグループ実践①:課題曲に沿った内容の模擬保育を行い、保育の基礎的技術を学ぶ。身につける。	予習) グループ発表の準備を行う。 復習) 発表の改善点や、他グループの良い点などをまとめ表現方法について深める。	0.5時間 0.5時間
12	手づくり楽器によるグループ実践②:他グループの発表から良かった点・アドバイスの2つの観点を持ちながら、模擬保育に参加する。	予習) 責任実習を想定し、対象年齢に応じた手作り楽器の制作計画を立てる。 復習) 個人実践をする際の指導案の工夫点をまとめる。	0.5時間 0.5時間
13	手づくり楽器個人実践1:責任実習を想定した模擬保育を行い、保育の基礎的技術を身につける。	予習) 考案した手作り楽器を使い、個人実践の流れを練習する。 復習) 自身の実践の改善点をまとめる。	0.5時間 0.5時間
14	手作り楽器個人実践2:楽器を用いた活動における留意点・工夫点に気づき、学ぶ。リトミックの実践③>手作り楽器を用いたリトミックの体験をする。	予習) 教科書 p 61-64の実践例を読み、現場で出来る工夫点を考える。 復習) 授業で実践したリトミック教材の実際の流れを練習する。	0.5時間 0.5時間
15	保育で歌われる歌、ハンドベルの実践を通して音楽表現を多角的に体験し、理解を深める。	予習) ドイツ語音名を覚えてくる。 復習) 保育現場における音楽表現のポイント、実践の工夫点についてまとめる。	0.5時間 0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

身近な廃材で出来る手づくり楽器を考案し、奏法による音の違いを研究してみましょう。手あそび歌や、リトミックの実践は基礎から応用まで、目の前の子どもの状態に応じて工夫をしていく方法を教員の実務経験を活かし、教授します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	教育の方法と技術Ⅲ (YHIC3#)			演習	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 「保育と幼児期の運動遊び」 岩崎洋子 編著、萌文書林 参考書 「つまづかない転ばない奇跡のくねくね 体操」 教材 適宜配布
1単位	—	○	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	30%	30%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

幼児保育がどのようなものであるかを知った上で、幼児理解に基づいた運動遊びの方法を理論と実践から学ぶ。実践を通して、運動遊びの基礎的技術やその指導法、運営の仕方などを学ぶことを目的とし、幼児教育の実践の場で役立てられる能力を養う。授業は、個人やグループで主体的かつ対話的に進める。指導案を作成し模擬授業を行い、情報機器などを適宜活用することで、子どもの理解につなげる。授業は演習を中心とする。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポートは返却する。

## 【授業の到達目標】

・授業で学んだ内容（各種運動、体操、レクリエーション）をしっかりと身につけ、実践できる。

## 【実務経験】

幼児担当の指導主事として、幼児への直接指導の経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる運動遊びの実技と講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	授業概要 子どもの運動遊びについて理論と実践の基礎を理解する	予習) 運動遊びについて調べる		1時間
		復習) 運動遊びの必要性と理論についてまとめる		2時間
2	運動遊びの理解：子どもの能力を育てる教育方法のあり方について（熱力学を含む）理解する	予習) 運動遊びの意味について調べる		1時間
		復習) 運動遊びの意味と指導方法についてまとめる		2時間
3	レクリエーション、Co-ordination Training 運動遊びを体験し、学修する	予習) いろいろな運動遊びの種類を調べる		1.5時間
		復習) いろいろな運動遊びの方法についてまとめる		1.5時間
4	運動遊びのねらいについて 運動遊びを具体的に考え、指導案を作成する	予習) 指導案の形式や書き方を調べる		1時間
		復習) 指導案の基本的な書き方についてまとめる		2時間
5	保育の基礎的技術を身につける 模擬保育の体験 保育カンファレンス	予習) 子どもの発育と発達についてまとめる		1.5時間
		復習) カンファレンスのまとめを行う		1.5時間
6	事例研究 具体的な事例から、育みたい子どもの能力について、 評価の基礎的な考え方を理解する グループディスカッション	予習) 運動機能や体力の評価法を調べる		1.5時間
		復習) 評価の考え方についてまとめる		1.5時間
7	情報機器の活用 情報機器を活用し、運動遊びのねらいを考慮した 保育教材を作成し指導法を理解する グループディスカッション	予習) 情報機器の活用法について調べる		1.5時間
		復習) 機器を活用した教材についてまとめる		1.5時間
8	指導案作成① 保育を構成する要件を理解し、運動 遊びを作る：グループディスカッション	予習) 指導案の書き方を確認する		1.5時間
		復習) グループで検討し指導案を作成する		1.5時間
9	指導案作成② 保育を構成する要件を理解し、運動 遊びを完成させる：グループディスカッション	予習) 指導内容の案を考える		1時間
		復習) グループで指導案を完成させる		2時間
10	模擬保育① 作った運動遊びを用いて、保育の基礎 技術を身につける：保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		1時間
		復習) カンファレンスのまとめを行う		2時間
11	模擬保育② 作った運動遊びを用いて、保育の基礎 技術を身につける：保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) カンファレンスのまとめを行う		1時間
12	模擬保育③ 作った運動遊びを用いて、保育の基礎 技術を身につける：保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		1時間
		復習) カンファレンスのまとめを行う		2時間
13	模擬保育④ 作った運動遊びを用いて、保育の基礎 技術を身につける：保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		2時間
		復習) カンファレンスのまとめを行う		1時間
14	模擬保育⑤ 作った運動遊びを用いて模擬保育を行い、 保育の基礎技術を身につける：保育カンファレンス	予習) 模擬保育の準備をする		1時間
		復習) カンファレンスのまとめを行う		2時間
15	学修のまとめ 模擬保育の振り返り	予習) 指導案の改善点等についてまとめる		1時間
		復習) まとめと最終レポートの準備		2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

園における運動遊びについて、多くの種類を学ぶことや遊びを創造することを目的としますが、まずは、自分で運動を楽しみましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日5コマ目です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年通年 2年前期	教育実習研究 ( Y I I D 2 )			実習	茂木克浩・高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	○	—		
評価方法・基準					教科書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省) 参考書 必要に応じて紹介する 教材 適宜資料を配布する 教育実習用のファイル(第1回の授業で説明する)
定期試験	レポート	課題	実技・発表	授業態度	
—	—	50%	20%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

教育実習を行うために必要な基本的知識・技術の習得を目的とした事前指導を実施する。その中で、保育の記録や指導計画の立案、評価、改善する力を身につける。各実習終了後の事後指導では総合的な自己評価を行い、保育者としての実践力習得を目指す。2年間を通して子どもの実態や教諭の役割について学び、様々な方法で主体的に学ぶ力を養う。

#### 【フィードバックの方法】

各授業で取り組んだ課題については授業の中で講評を行う。  
授業内で作成した指導案は添削し個々にフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・これまで学んだ知識・技術を多角的に捉え、実践することができる。
- ・保育の記録のポイントを理解し、的確に記入することができる。
- ・日案を作成することができる。
- ・実践を振り返り、それに基づいて改善し行動することができる。

#### 【実務経験】

学校教育現場で実習生を受け入れ指導してきた経験から、受け入れる側からみた実習生に期待されるものを伝えていく。(茂木)  
教育実習研究の実務経験は、小中学校における教職の経験より、実習における活きた学びの重要性を伝えていく(高橋)

授業計画		担当者	準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	教育実習の概要・意義・実習の意味について 教育実習園の選び方	茂木 高橋	予習) 幼稚園と保育所、こども園の違いを調べる。 復習) 授業内容をまとめる。		0.5時間 0.5時間
2	実習までの流れと必要な手続きについて 幼稚園選びの実際 実習先選び個別指導	茂木 高橋	予習) 実習希望園について調べる。 復習) 実習希望園を決定し必要な手続きを行う。		0.5時間 0.5時間
3	実習依頼訪問の方法と留意点 時期・訪問日の決定・内諾書	茂木 高橋	予習) 実習依頼訪問の目的について調べる。 復習) 実習依頼訪問の準備をする。		0.5時間 0.5時間
4	教育実習の意義と実際① 幼稚園の一日の流れ	茂木	予習) 幼稚園の一日の流れについて調べる。 復習) 授業内容をまとめる。		0.5時間 0.5時間
5	教育実習の意義と実際② 責任実習の実際	高橋	予習) 責任実習の目的や内容について調べる。 復習) 授業内容をまとめる。		0.5時間 0.5時間
6	実習体験学習	茂木 高橋	予習) 実習体験学習先の園について調べる。 復習) 実習体験学習の感想等をまとめる。		0.5時間 1.0時間
7	夏休みの課題発表 手作り名札の発表・園児向け自己紹介 発表に対する講評	茂木 高橋	予習) 発表の準備をする。 復習) 名札と自己紹介の修正を行う。		1.5時間 1.0時間
8	教育実習Ⅰ事前指導① 書類作成 オリエンテーションについて	茂木 高橋	予習) オリエンテーションの目的について調べる。 復習) オリエンテーションの準備をする。		0.5時間 0.5時間
9	教育実習Ⅰ日誌指導① 保育観察の実際と方法 実習日誌の構造を知る	茂木 高橋	予習) 保育観察の目的について調べる。 復習) 授業についてまとめる。		0.5時間 0.5時間
10	教育実習Ⅰ日誌指導② 観察方法と記録の取り方	茂木 高橋	予習) 保育観察の方法について調べる。 復習) 授業内容についてまとめる。		0.5時間 0.5時間
11	教育実習Ⅰ日誌指導③ 実習目標の立て方	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅰの目標を考えてくる。 復習) 教育実習Ⅰの目標を修正する。		0.5時間 0.5時間
12	教育実習Ⅰ事前指導② 実習直前指導 お礼状の書き方	茂木	予習) お礼状の書き方について調べる。 復習) 教育実習Ⅰの準備をする。		0.5時間 0.5時間
13	教育実習Ⅰ事後指導① 自己評価 お礼状の確認	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅰの取り組みを振り返る。 復習) 教育実習Ⅰを振り返り学んだことをまとめる。		0.5時間 1.0時間
14	教育実習Ⅰ事後指導② 実習での学びの共有	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅰでの学びを発表する準備をする。 復習) 他の人の発表から学んだことをまとめる。		1.5時間 0.5時間
15	教育実習Ⅱ事前指導① 書類作成 オリエンテーションについて	茂木 高橋	予習) 改めて教育実習Ⅰの成果と課題を振り返る。 復習) オリエンテーションの準備をする。		0.5時間 0.5時間
16	教育実習Ⅱ指導案指導① 主活動の内容検討	茂木 高橋	予習) 主活動の内容を考える。 復習) 主活動の流れを考える。		1.0時間 1.0時間

授 業 計 画		担 当 者	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
17	教育実習Ⅱ 指導案指導② 主活動指導案作成	茂木 高橋	予習) 主活動の指導案を作成する。	1.5時間
			復習) 主活動の指導案を完成させる。	1.0時間
18	教育実習Ⅱ 指導案指導③ 全日指導案作成	茂木 高橋	予習) 全日の流れを考えてくる。	1.0時間
			復習) 全日指導案を作成する。	1.0時間
19	教育実習Ⅱ 指導案指導④ 指導案の修正	茂木 高橋	予習) 全日指導案を作成する。	1.5時間
			復習) 全日指導案を修正する。	2.0時間
20	教育実習Ⅱ 指導案指導⑤ 指導案仕上げ・教材準備	茂木 高橋	予習) 全日指導案を修正する。	1.5時間
			復習) 主活動等の準備をする。	2.0時間
21	教育実習Ⅱ 事前指導② 実習直前指導 お礼状について	高橋	予習) 教育実習Ⅱの目標を考える。	1.0時間
			復習) 教育実習Ⅱの準備をする。	1.0時間
22	教育実習Ⅱ 事後指導① 自己評価 お礼状の確認	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅱの取り組みを振り返る。	0.5時間
			復習) 教育実習Ⅱを振り返り学んだことをまとめる。	1.0時間
23	教育実習Ⅱ 事後指導② 実習での学びの共有	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅱでの学びを発表する準備をする。	1.0時間
			復習) 他の人の発表から学んだことをまとめる。	0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

教育実習研究では《幼稚園》で行う教育実習のための具体的な手続きから実習内容までを学んでいきます。毎回の授業が大切であり教育実習を行うために必要な内容です。

子どもたちが日々生活している《幼稚園》で学ばせていただく『教育実習』ということのを忘れずに、そのために必要な内容を授業で学び、しっかり身につけましょう。

**【オフィスアワー】** オフィスアワーは水曜5コマです。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期 2年前期	教育実習 ( Y I I D 3 )			実習	茂木克浩・高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省） 教材 必要に応じて適宜資料を配布する	
4単位	—	○	—		
評価方法・基準					
実習園の評価	勤務状況	日誌	事後指導	定期試験	
70%	10%	10%	10%	—	

### 授 業 概 要

#### 教育実習

##### 【内容】

教育実習は、幼稚園教諭2種免許状を取得する上での必須の科目であり、幼稚園で4週間実習することを求められるものである。

- ・幼稚園の機能や生活について体験を通して理解する。
- ・幼稚園教諭となるための自覚を育てる。
- ・短大で学んだ理論や技術を実践・応用し、実践的能力を養う。

##### 【方法】

4週間の実習を、1年次1週間、2年次3週間に分けて行う。  
 教育実習Ⅰ 1年次後期（11月）各自が選定し、承諾を得た幼稚園で行う。  
 教育実習Ⅱ 2年次後期（6月）各自が選定し、承諾を得た幼稚園で行う。  
 教育実習4週間（教育実習Ⅰ・1週間＋教育実習Ⅱ・3週間）

##### 【フィードバックの方法】

実習期間中に指導訪問を実施し、各訪問指導担当からアドバイスをを行う。  
 実習終了後、園からの評価をもとに評価伝達とアドバイスをを行う。

##### 【到達目標】

- ・幼稚園の目的・機能について実地に即して理解することができる。
- ・幼稚園における子育て支援について理解し、必要な能力を身につけることができる。
- ・幼稚園教諭の役割、職務内容を理解し、補助的な役割を担うことができる。
- ・幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。
- ・幼稚園教育要領及び幼児の実態を踏まえた適切な指導案を作成し、実践することができる。
- ・様々な活動の場面で適切に幼児と関わるすることができる。
- ・保育に必要な基礎的技術（話法・保育形態・保育展開・環境構成など）を実地に即して身につけるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。

##### 【提出物】

- ・誓約書、個人票、実習訪問指導シート
- ・実習日誌  
漏れなく記入する。  
実習の目標（実習において学びたいこと、どのような目標をもって実習に臨むのかを確認し、まとめる）をきちんと設定する。  
日々の実習を振り返り、計画・実践・反省・評価を整理し日誌に記録し、原則として毎日実習園に提出する。

##### 【評価方法と割合】

- ・実習園による評価 70%
- ・出勤状況、勤務態度（実習園及び訪問担当教員からの報告） 10%
- ・日誌（提出期限を厳守している、丁寧に記述している、空欄の有無、訂正・修正箇所への対応など） 10%
- ・事後指導への取り組み（学んだことについて具体的かつ考察を踏まえながら記述できている） 10%

最終的な評価配分は、教育実習ⅠとⅡの割合を25%・75%とする。  
 教育実習Ⅰの実習評価が60%を超えない場合は教育実習Ⅱを行うことはできない。

#### \*担当者からのメッセージ\*

教育実習は、専門科目の授業で学んだ知識や技術を「発揮する場」であり、保育理解を深める「学びの場」ですので、受け入れてくださる園、保育者、子どもたちに対する感謝の気持ちを忘れずに、積極的に取り組みましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育原理 ( Y H I I E 1 )			講義	林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 「改訂版 Work で学ぶ保育原理」佐伯一弥 / 金球珠 わかば社	
2単位	○	○	○	参考書 「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 <原本>」チャイルド本社 (同じ内容が記載されていればそれに類するものでも構いません)	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	教材 授業内で配布する。
70%	—	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

保育の意義と目的について、要領・指針等に基づきその理念を知り、その本質を理解する。自分の経験を発表するなど意見交換をしながら学ぶ。日本や世界でどのような保育がおこなわれているかを理解し、歴史や思想、制度、取り巻く環境について学ぶ。現在の子どもを取り巻く環境を理解し、課題についてディスカッションを行い、意見をまとめ発表する。テキストがワークブックとなっているため、テキストに合わせて授業を進め、さらにテーマに合わせた資料の提供や動画の視聴を行い、それらの学びに基づいた意見交換などを実施する。

## 【フィードバックの方法】

小テスト、授業内試験、課題、レポート等について、授業時間または manaba 等を用いて講評・解説を行う。

## 【授業の到達目標】

保育の意義、保育所保育指針等における保育の基本、保育の内容と方法の基本を説明できる。  
保育の思想と歴史の変遷を説明できる。保育の現状と課題について考察し、意見を述べることができる。

## 【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	ガイダンス 保育の方向性と保育実践の基礎となる発達観を学ぶ。	予習) シラバスをよく読んでおく。 復習) テキストを再度読み必要な記入をする。		2時間 2時間
2	保育に関する諸法令などからみる保育の原理を学ぶ。	予習) 保育施設の特徴について調べる。 復習) 法令ごとの関係を整理しておく。		2時間 2時間
3	保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園保育教育要領にみる保育の原理について学ぶ。	予習) 法令についてテキストを再度確認しておく。 復習) テキスト内のワークを再度確認する。		2時間 2時間
4	養護と教育の一体化について学ぶ。	予習) 養護・教育・保育という言葉を調べる。 復習) 教育と養護の必要性をまとめる。		2時間 2時間
5	保育実践の基本構造について学ぶ。	予習) テキストUnit5をよく読んでおく。 復習) 5領域の意義とねらいをまとめる。		2時間 2時間
6	多様な保育内容とその方法を理解する。	予習) 自分が受けた保育を振り返る。 復習) どのような保育を実践したいか考える。		2時間 2時間
7	子育て支援について学ぶ。	予習) テキストUnit7を読んでおく。 復習) 地域の子育て支援の内容をまとめる。		2時間 2時間
8	西洋と日本の保育の創成期について学ぶ。	予習) テキストUnit8を読んでおく。 復習) 学んだ保育の理念や人物などを覚える。		2時間 2時間
9	保育の歴史から思想と意識を学ぶ。	予習) テキストUnit9を読んでおく。 復習) 人物の関連性を整理する。		2時間 2時間
10	日本の保育実践の発展過程について学ぶ。	予習) テキストUnit10を読んでおく。 復習) 幼稚園・保育所の発展過程を整理する。		2時間 2時間
11	倉橋惣三とその周辺の思想について学ぶ。	予習) 倉橋惣三について調べておく。 復習) 96ページの人物相関マップを確認する。		2時間 2時間
12	保育者の在り方を考える。	予習) 必要とされる保育者について考える。 復習) 保育者の在り方に関し考えをまとめる。		2時間 2時間
13	多様性と保育 (テキスト外の資料等から学ぶ)	予習) 多様性とは何かを調べる。 復習) 多様な背景の子どもの保育を考える。		2時間 2時間
14	これからの保育について ICTやグローバルな視点から学ぶ。	予習) 様々な保育方法を調べておく。 復習) 世界の保育の課題についてまとめる。		2時間 2時間
15	まとめとディスカッション	予習) これまでの学習を振り返る。 復習) 本科目のすべての内容をまとめる。		2時間 2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

授業へははじめに積極的に参加し、疑問点はその場で質問をして構いません。チャット等での質問も歓迎します。私語、居眠りなどは厳禁とします。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】水曜日 5コマ目

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	こども家庭福祉 ( Y H I I E 2 )			講義	池田法子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート課題	実技	授業態度	
—	20%	60%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

教科書  
なし  
参考書  
垣内国光・岩田美香・板倉香子・新藤  
こずえ『子ども家庭福祉—子ども・家族・  
社会をどうとらえるか』<第2刷>生  
活書院、2022、2,200円(税別)  
教材  
適宜資料を配布

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この講義では、子どもと家族をとりまく問題と、それに対応する制度や実践について体系的に学ぶ。具体的には、子ども家庭福祉の理念と概念、歴史について学び、法律や福祉援助サービスの現状と課題について解説する。授業は講義を中心に行う。適宜、ペアワーク・グループワークを取り入れる。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、課題、レポート等に関しては、授業時間や manaba を通して解説・講評を行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・現代社会における子どもと家族の問題を、社会的背景と歴史的検討をふまえて理解する。
- ・児童福祉制度とサービスについて、現場における実践もふまえて理解する。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	オリエンテーション 現代社会と子ども	予習) シラバスを読む 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
2	子どもの権利と福祉	予習) 子どもの権利について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
3	子ども家庭福祉の歴史	予習) 子ども家庭福祉の歴史について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
4	子どもを守るしくみ	予習) 子ども家庭福祉の制度について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
5	生命倫理と母子保健	予習) 母子保健について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
6	少子化対策について考える	予習) 少子化対策について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
7	現代における保育と子育て支援	予習) 子育て支援について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
8	学齢期の子どもの教育と福祉	予習) 学齢期の教育と福祉について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
9	障害と子ども・家族	予習) 障害について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
10	子ども虐待	予習) 子ども虐待について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
11	子ども・家族の貧困	予習) 子どもの貧困について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
12	ひとり親家庭の福祉	予習) ひとり親家庭について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
13	非行少年の背景と支援	予習) 非行少年について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
14	女性と福祉	予習) 女性と福祉について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
15	まとめと振り返り 子ども家庭福祉の担い手	予習) これまで学んだ内容を振り返る 復習) レポート課題に取り組む	2時間 3時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

現代社会における子どもと家族をめぐる問題について、一緒に考えていきましょう。関連する他の社会福祉分野にも関心を持ち、理解を深めていってください。

【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		社会福祉 ( H I E 3 )		講義	西 敏 郎
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	○		
教科書 なし 参考書 「社会福祉用語辞典第9版」 ミネルヴァ書房 2013年					
教材 適宜配付					
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	10%	20%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**

社会福祉に関する概念や理念、歴史、法律、制度、サービス等を学ぶ。もともとは人々の相互扶助機能（助け合い機能）の制度化（＝福祉）という側面を踏まえつつ、社会や経済の発展にもなう福祉の存在意義と今日的課題について考える。

**【フィードバックの方法】**

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

**【授業の到達目標】**

- ・社会福祉の制度や実施体系について理解し、説明できる。
- ・社会福祉の意義と歴史の変遷を理解し、説明できる。
- ・社会福祉の今日的課題について理解し、説明できる。

授 業 計 画		準 備 学 習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション 社会福祉を学ぶ目的と意義の確認。	予習) シラバスを読み授業内容を確認する		2時間
		復習) 今後の授業内容についてまとめる		2時間
2	社会福祉の基礎的知識、理論、概念	予習) 社会福祉の持つ意味を考える		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
3	社会福祉の行政と実施機関①（厚生労働省・厚生局 等）	予習) 厚生労働省について調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
4	社会福祉の行政と実施機関②（社会福祉事務所 等）	予習) 社会福祉事務所について調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
5	相談援助の意義と機能	予習) 相談援助について調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
6	社会福祉の歴史①（産業革命前までを中心に）	予習) 産業革命前までの福祉を調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
7	社会福祉の歴史②（産業革命後を中心に）	予習) 産業革命後の福祉を調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
8	地域福祉の今日的課題	予習) 地域福祉について調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
9	障害者福祉の今日的課題	予習) 障害者福祉を調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
10	高齢者福祉の今日的課題	予習) 高齢者福祉について調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
11	福祉先進国から学ぶ福祉のメリット・デメリット （北欧の社会福祉を中心に）	予習) 福祉先進国について調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
12	少子化問題①（少子化発生のメカニズムと問題点）	予習) 少子化の問題点を調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
13	少子化問題②（諸外国の対応）	予習) 諸外国の少子化対策を調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
14	社会福祉の今日的課題①（諸外国を中心に）	予習) 諸外国の現代的福祉問題を調べる		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
15	社会福祉の今日的課題②（日本を中心に）	予習) 日本の現代的福祉問題を調べる		2時間
		復習) 定期試験の準備		2時間

**\*担当者からのメッセージ\***

保育職は福祉職です。そしてもともとは人々の相互扶助機能（助け合い機能）を制度化したものが福祉です。その原点を一度振り返ることで、本当に人間生活に必要なものや、求められているものが見えてくると思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日 5 コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	社会的養護Ⅰ (H I E S)			講義	池田法子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 喜多一憲監修・堀場純矢編集『社会的養護Ⅰ』みらい、2020. 2,100円(税別) 教材 適宜資料を配布
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

社会的養護とは、虐待や家庭の状況等により困難を抱える子どもを社会的に保護・援助する仕組みである。子どもの権利擁護に対する理解を深め、施設養護及び家庭養護に関する制度・実施体系、現状と課題を学ぶ。授業は講義を中心に行い、視聴覚教材やペアワーク・グループワークを取り入れる。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、課題、発表、定期試験等について、授業時間やmanaba等を用いて講評・解説を行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・社会的養護の制度や実施体系、関連する専門職等を理解し、説明できる。
- ・子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を理解し、現状と課題について説明できる。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	イントロダクション 社会的養護の理念と概念	予習) シラバスを読む 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
2	社会的養護の体系と実践	予習) 社会的養護の制度について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
3	乳児院① 概要の理解	予習) 乳児院について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
4	乳児院② 支援の実践	予習) 乳児院の実践について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
5	母子生活支援施設	予習) 母子生活支援施設について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
6	児童養護施設① 概要の理解	予習) 児童養護施設について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
7	児童養護施設② 支援の実践	予習) 児童養護施設の実践について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
8	障害児入所施設① 概要の理解	予習) 障害児入所施設について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
9	障害児入所施設② 支援の実践	予習) 障害児入所施設の実践について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
10	児童発達支援センター	予習) 児童発達支援センターを調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
11	社会福祉施設と人権について考える① 調査	予習) 人権の観点から施設について調べる 復習) 調べた内容をまとめる	2時間 2時間
12	社会福祉施設と人権について考える② まとめ	予習) 施設の意義や役割について考える 復習) 調べた内容をまとめる	2時間 2時間
13	社会福祉施設と人権について考える③ 発表	予習) 発表の準備をする 復習) 発表を振り返る	2時間 2時間
14	家庭養護① 里親	予習) 里親について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	2時間 2時間
15	家庭養護② ファミリーホーム	予習) ファミリーホームについて調べる 復習) 定期試験の準備をする	2時間 2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

社会全体で子どもを守り、育てるしくみについて学びます。実習に向け、社会的養護に対する理解を深めましょう。  
【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	こどもの理解と援助 ( H I F 2 )			演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説」(平成30年3月文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成30年3月厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成30年3月文部科学省、厚生労働省)					
教材 適宜配布します					
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	演習課題	授業態度	
50%	10%	—	30%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

本授業では「保育との関連で子どもの発達の過程や学びの過程について学ぶこと」「子どもの心身の状態や行動等を把握する技術を高め、子ども理解に基づく適切な発達援助を行うこと」を目的として開設される。授業では、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討を含めた演習課題とグループワーク等を行い、保育者としての実践の場で生かせる力の獲得を目指す。

## 【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。事例検討を含めた演習課題についても授業内に解説を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・子どもの心身の発達と保育実践について理解し、説明できる。
- ・子どもの経験や学習の過程を理解し、説明できる。
- ・保育における発達援助のあり方について理解し、説明できる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 子どもの理解における発達の把握	予習)	シラバスを読み授業内容、到達目標を把握する	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
2	保育指針・教育要領からみる子ども理解	予習)	各指針・要領の子ども理解に関わる部分を整理する	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
3	子ども理解に向けた保育者の姿勢	予習)	保育者のあるべき姿勢について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
4	子ども集団と保育環境	予習)	集団力学について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
5	子どもの生活と学び	予習)	子どもの生活の中の学びについて調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
6	子どもの遊びと学び	予習)	遊びと学びの関連について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
7	子ども相互の関わりと関係づくり	予習)	子ども同士の関わり方について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
8	子どもの葛藤とつまずき	予習)	葛藤やつまずきが生じる場面と理由を調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
9	環境の変化や移行	予習)	環境の変化が子どもに与える影響について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
10	発達と学びの連続性と就学支援	予習)	発達の連続性について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
11	子ども理解にむけた観察と記録	予習)	子どもを観察するときの視点について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
12	発達援助における協働	予習)	発達援助のために考えられる協働について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
13	発達の課題に応じた援助やかかわり	予習)	子どもの多様性について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
14	特別な配慮を要する子どもの理解と援助	予習)	考えられる特別な配慮と支援について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間
15	現代社会における子どもの発達と保育の課題	予習)	保育者支援について調べる	0.5時間
		復習)	授業内で扱った学習内容や事例についてまとめる	1.0時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子どもの発達を理解し適切な援助をすることは、保育の現場に出た瞬間から求められる力です。その基礎的となる力を身に付けるためにも「自分ならどう援助するか。なぜそう考えたのか」という当事者意識を常に持って授業に参加することを求めます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	こどもの保健 ( H I F 3 )			講義	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 子どもの保健 中央法規：児童育成協会 監修 参考書
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	教材 適宜配布
30%	20%	30%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

心身の機能が未熟な子どもたちには適切な判断に基づく保健的な対応が求められる。この授業では、乳幼児期の心身の健やかな発育・発達のために必要な保健の基礎知識を習得し、子どもの命を支えるために必要な保育者としての具体的な対応について学ぶ。授業は講義を中心に、適宜、グループワークやディスカッションを行う。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、事例検討、課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
- ・子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。
- ・子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。
- ・子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。

#### 【実務経験】

幼児担当の指導主事として、幼児への直接指導の経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる内容の講義と演習を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション 授業の概要と進め方について	予習) シラバスについて授業内容と到達目標の把握		1時間
		復習) 授業概要について整理する		2時間
2	子どもの心身の健康と保健の意義	予習) 心身の健康について考える		1時間
		復習) 心身の健康についてまとめる		2時間
3	子どもの発育	予習) 母子手帳等を見て自分の発育を調べる		1時間
		復習) 子どもの発育についてまとめる		2時間
4	子どものからだ	予習) 中高校の保健で学んだ「体」を復習する		1.5時間
		復習) 人間のからだについてまとめる		1.5時間
5	子どもの発達（身体・運動機能）	予習) 母子手帳等を見て自分の発育を調べる		1.5時間
		復習) 身体・運動機能についてまとめる		1.5時間
6	子どもの発達（言語・認知能力の発達）	予習) 予習)「三項関係」「ピアジェ」について調べる		1.5時間
		復習) 言語・認知能力の発達についてまとめる		1.5時間
7	発達の障害	予習) 「発達障害」の定義について調べる		1.5時間
		復習) 発達障害の特性と対応についてまとめる		1.5時間
8	子どもの健康状態の理解	予習) 健康観察のポイントについて調べる		1.5時間
		復習) 健康観察のポイントについてまとめる		1.5時間
9	子どもの病気とその対処法（発熱・嘔吐・下痢）	予習) 子どもの発熱・嘔吐・下痢の症状を調べる		2時間
		復習) 発熱・嘔吐・下痢の症状についてまとめる		1時間
10	子どもの病気とその対処法（感染症）	予習) 感染症とその予防方法について調べる		2時間
		復習) 感染症とその予防方法についてまとめる		1時間
11	子どもの病気とその対処法（よくみられる病気）	予習) 麻疹・風疹・ムンプス・水痘について調べる		2時間
		復習) よく見られる病気についてまとめる		1時間
12	子どもの病気と予防接種	予習) 母子手帳等を確認して自分の接種歴を確認する		1時間
		復習) 定期接種ワクチンについてまとめる		2時間
13	保護者との連携 /	予習) 園での保護者との連絡方法について調べる		2時間
		復習) 保護者との連携についてまとめる		1時間
14	地域における保健活動と虐待防止	予習) 虐待の定義について調べる		2時間
		復習) 虐待防止の取り組みについてまとめる		1時間
15	まとめと振り返り	予習) 学習・授業内容についてまとめる		2時間
		復習) 自己の学修の振り返りと総括を行う		1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

保健関係の内容について学びます。しっかり基礎を学び、自分の知識と技能の基礎を築いてください。受け身ではなく能動的に学んでください。実際に幼児の指導を行ってきた経験をもとに、先生方や保育士さん方の実践例を含めて授業を行っていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	乳児保育Ⅰ (H I G 1)			講義	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	課題	発表	実技	授業態度	
30%	40%	—	10%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 『講義で学ぶ乳児保育』(わかば社・2019) 参考書 『幼稚園教育要領解説』(文部科学省・2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省・2018)『幼保連携認定こども園教育・保育要領』(文部科学省, 厚生労働省・2018) 教材 適宜配布する					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

3歳未満児の発育・発達について知り、乳児保育の意義・目的を歴史的経緯を踏まえながら学ぶ。保育を行う際や保育環境における安全等の配慮を、保育所や家庭の保育やその他の児童養護施設等さまざまな場で行われる乳児保育について、事例等をもとに学びつつ、保護者や職員間、地域社会との連携や協働について考察していく。授業は主として講義形式で行い、グループディスカッションやグループワークを通してアクティブラーニングも取り入れる。

## 【フィードバックの方法】

グループワークや課題に関して授業時にフィードバックを行う。定期試験は採点ののち返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・乳児保育の意義・目的と歴史的編成及び役割等について理解する。
- ・保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状ととりまく課題について理解し、説明できる。
- ・3歳児未満児の発育・発達をふまえた保育の内容と運営体制について理解する。
- ・乳児ほいくにおける職員間の連携・協議および保護者や地域社会・関係機関との連携について理解する。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション・乳児保育の役割と機能	予習) これまでの授業をふまえ乳児について理解を深める		2時間
		復習) 乳児保育の役割についてまとめる		2時間
2	乳児保育の意義・目的と歴史的変遷	予習) 保育所保育指針解説第2章を熟読する		3時間
		復習) 乳児保育の歴史と意義・目的をまとめる		1時間
3	3歳未満児の発育・発達	予習) 3歳未満児の発達の特徴をまとめる		2時間
		復習) 3歳未満児へのかかわり方の要点をまとめる		2時間
4	乳児保育のなかの養護と教育	予習) 乳児保育における養護・教育について考えまとめる		1時間
		復習) 乳児保育における養護・教育の意義をまとめる		3時間
5	乳児保育と子育て家庭への支援の現状と課題	予習) 子育て家庭への支援についてまとめる		1時間
		復習) 乳児保育をとりまく現状の課題をまとめる		3時間
6	保育所と乳児保育	予習) 保育所における乳児保育の意義を考える		1時間
		復習) 保育所における乳児保育の概要をまとめる		3時間
7	3歳未満児の生活と環境 (1) 健康と安全	予習) 3歳未満児の生活における不安や危険について考える		2時間
		復習) 3歳未満児の健康と安全についてまとめる		2時間
8	3歳未満児の生活と環境 (2) 食・睡眠・排泄	予習) 3歳未満児の生活についてまとめる		2時間
		復習) 乳児保育における生活上の配慮をまとめる		2時間
9	3歳未満児の生活と環境 (3) 衣服の着脱と移動	予習) 3歳未満児の衣服について考える		2時間
		復習) 3歳未満児の衣服の着脱等の安全についてまとめる		2時間
10	3歳未満児の遊びと環境	予習) 3歳未満児の遊びの内容を考える		1時間
		復習) 3歳未満児の遊びと環境構成をまとめる		3時間
11	3歳未満児への保育の配慮・援助や関わり	予習) 3歳未満児の発育・発達について復習する		2時間
		復習) 3歳未満児の保育についてまとめる		2時間
12	乳児保育の計画	予習) 保育所における乳児保育の流れを予想する		1時間
		復習) 3歳未満児の保育の計画を作成する		3時間
13	乳児保育の記録・評価	予習) 保育記録について調べる		1時間
		復習) 保育記録・評価についてまとめる		3時間
14	乳児保育における連携と協働	予習) 乳児保育における連携と協働の意義を考える		1時間
		復習) 職員・保護者・地域自治体との連携・協働を考える		3時間
15	事例検討・まとめと振り返り	予習) これまでの授業内容を復習する		2時間
		復習) 事例検討で得た知見をまとめる		2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

保育の専門家として、やりがいを持って乳児期の子どもの成長を手助けできるように主体的に学び、乳児保育の重要性をともに考えていきましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。



開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年通年		こどもと音楽 (ピアノ I) ( H I I G 6 # )		演習	高橋由起・浅野香織・須藤ちひろ 須永多恵子・田部井玲奈
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		<b>教科書</b> 【ピアノ曲】 ・バイエル教則本 ・ブルグミュラー 25 の練習曲 ・ソナチネ・ソナタアルバム 他 【童謡集】 ・いろいろな伴奏で弾ける選曲 こどものうた 100 他 【楽典】 ジュニアクラスの楽典 テキストワーク 他 <b>教材</b> キロック『こどものためのアルバム』『ピアノ小品集〜バロック形式を身近に感じるために〜』 名曲アルバム その他
2単位	*	*	○	#	
評価方法・基準					
実技試験前期	実技試験後期	童謡弾き歌い試験	楽譜理解小テスト	授業意欲	
25%	30%	25%	10%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、保育者にとって必要なピアノ演奏のための基礎的技術・楽典の知識を身につけることができる。また保育現場でこどもと歌う「生活の歌」や「童謡」の弾き歌いの基礎技術を習得することができる。

各々のレベルに応じて課された課題曲について個別で実技指導を受ける。試験までにレベル別に定められた規定曲数を合格できるよう計画的に取り組むことが求められる。

学生は約3名の進度別グループに分かれ、45分間はピアノ実技指導を受け、45分間は楽典を学ぶクラス授業に出席し1コマの学習とする。

#### 【フィードバックの方法】

実技と知識がリンクするように双方の授業でフィードバックを行い、深めていく。

#### 【授業の到達目標】

- ・〔前期〕基礎的な練習曲・ピアノ曲を中心に学習し、各進度別に定められた規定曲数をこなす事ができる。
  - ・〔後期〕ピアノ曲と併行して童謡弾き歌いのための基礎技術を習得することができる。
- 通年において、保育現場に必要な楽典の基礎知識を習得し、ピアノ実技に活用して活かすことができる。

授業計画		準備学習 (予習・復習)		準備学習時間
1	授業概要 目的・内容・到達目標・評価方法・個別の練習方法・規定曲数	予習) 課題曲を練習する。		1時間
		復習) 練習計画を作る。課題曲の復習をする。		1時間
2	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (音符と休符の種類と理解)	予習) 課題曲を練習する。音符の種類について調べる。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。音符の不明点を調べる。		1時間
3	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (五線と音部記号の理解)	予習) 課題曲を練習する。五線と音部記号を課題曲で探し印をつけておく。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典の不明点を調べる。		1時間
4	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (拍子の成り立ち・種類の理解)	予習) 課題曲を練習する。童謡で使われる拍子の種類を調べる。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典の不明点を調べる。		1時間
5	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (小節・縦線の理解)	予習) 課題曲を練習する。「小節」について調べる。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典の不明点を調べる。		1時間
6	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (順次進行読譜の実践①)	予習) 課題曲の練習をする。声に出して課題曲右手の音読みをする。(ソルフェージュ)		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。他の曲で音読みの復習をする。		1時間
7	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (跳躍進行読譜の実践②)	予習) 課題曲の練習をする。声に出して課題曲左手の音読みをする。(ソルフェージュ)		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。他の曲で音読みの復習をする。		1時間
8	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (跳躍進行読譜に挑戦)	予習) 課題曲を練習する。童謡1曲を選び右手左手の音読みをする。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。他の曲で音読みの復習をする。		1時間
9	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (音符をリズム通りスムーズに読む①)	予習) 課題曲の練習をする。リズムの種類を調べる。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典の不明点を調べる。		1時間
10	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (音符をリズム通りスムーズに読む②)	予習) 課題曲の練習をする。ピアノ曲の右手をリズム打ち練習する。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典の不明点を調べる。		1時間
11	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (音符をリズム通りスムーズに読む③)	予習) 課題曲の練習をする。ピアノ曲の左手をリズム打ち練習する。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典の不明点を調べる。		1時間
12	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (拍子の理解)	予習) 課題曲を練習する。3種類の拍子の曲を探す。		1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典の不明点を調べる。		1時間
13	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (リズム練習の実践)	予習) 課題曲を練習する。歌いながらリズム打ちの練習をする。		1時間
		復習) 課題曲を復習する。他の曲でリズム練習をする。		1時間
14	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習 (小テスト)	予習) 課題曲を練習する。13回までの講義の復習、試験対策		1時間
		復習) 課題曲を復習する。試験の見直しをする。		1時間
15	ピアノ個別実技指導 楽典の知識を活かし、表現力を伴いながらピアノ曲を演奏する	予習) 試験曲を練習する。		1時間
		復習) 次の課題曲の譜読みをする。		1時間

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
16	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (和音の理解)	予習) 課題曲の練習をする。和音とは何かの概念を調べる。	1時間
		復習) 課題曲の復習をする。和音の復習をする。	1時間
17	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (三和音の実践①)	予習) 課題曲を練習する。三和音を調べる。	1時間
		復習) 課題曲を復習する。楽典の不明点を調べる。	1時間
18	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (三和音の実践②)	予習) 課題曲を練習する。三和音の役割を調べる。	1時間
		復習) 課題曲を復習する。楽典の不明点を調べる。	1時間
19	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ハ長調 I IV V 7 の伴奏づけ①)	予習) 課題曲を練習する。ハ長調を両手で弾けるようにする。	1時間
		復習) 課題曲を復習する。伴奏づけの復習をする。	1時間
20	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ハ長調 I IV V 7 の伴奏づけ②)	予習) 課題曲を練習する。ハ長調の童謡を演奏する。	1時間
		復習) 課題曲を復習する。伴奏づけの復習をする。	1時間
21	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ニ長調 I IV V 7 の伴奏づけ①)	予習) 課題曲を練習する。ニ長調を両手で弾けるようにする。	1時間
		復習) 課題曲を復習する。伴奏づけの復習をする。	1時間
22	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ニ長調 I IV V 7 の伴奏づけ②)	予習) 課題曲を練習する。ニ長調の童謡を演奏する。	1時間
		復習) 課題曲を復習する。伴奏づけの復習をする。	1時間
23	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ト長調 I IV V 7 の伴奏づけ①)	予習) 課題曲を練習する。ト長調を両手で弾けるようにする。	1時間
		復習) 課題曲を復習する。伴奏付けの復習をする。	1時間
24	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ト長調 I IV V 7 の伴奏づけ②)	予習) 課題曲の練習をする。ト長調の童謡を演奏する。	1時間
		復習) 課題曲の復習をする。伴奏付けの復習をする。	1時間
25	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ヘ長調 I IV V 7 の伴奏づけ①)	予習) 課題曲の練習をする。ヘ長調を両手で弾けるようにする。	1時間
		復習) 課題曲の復習をする。伴奏づけの復習をする。	1時間
26	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (ヘ長調 I IV V 7 の伴奏づけ②)	予習) 課題曲の練習をする。ヘ長調を両手で弾けるようにする。	1時間
		復習) 課題曲の復習をする。伴奏づけの復習をする。	1時間
27	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のためのクラス別学習 (童謡 I IV V 7 の伴奏づけ)	予習) 課題曲を練習する。これまでの4つの調性の和音を弾けるようにする。	1時間
		復習) 課題曲の復習をする。課題以外の童謡で左手のメロディーだけをみて左手の伴奏付けを考える。	1時間
28	ピアノ個別実技指導 楽典知識を活かし、ピアノ曲の仕上げをする	予習) 課題曲の練習をする。	1時間
		復習) 課題曲の復習をする。	1時間
29	ピアノ個別実技指導 楽譜理解のための学習小テスト	予習) 課題曲の練習をする。楽典小テストに向けて復習をする。	1時間
		復習) 課題曲の復習をする。楽典小テストで不明な点を調べる。	1時間
30	ピアノ個別実技指導 楽典の総まとめ	予習) 課題曲の練習をする。これまでの楽典の内容を復習する。	1時間
		復習) 2年次の課題曲の練習予定を立て、譜読みを始める。	1時間

**\*担当者からのメッセージ\***

子どもにとって保育者が豊かな表現で奏でてくれる美しいピアノの音は、ずっと記憶に残っていくことでしょう。ピアノ曲・童謡、それぞれの基本的な演奏方法や表現方法を学びながら、毎日の練習の積み重ねを大切にしてください。意欲的な取り組みが上達への近道です。練習中に質問があればいつでも専任教員を頼って下さい。

**【オフィスアワー】** 専任教員のオフィスアワーは水曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		こどもと音楽（うた） （ H I I G 8 # ）		演習	千葉 あかね
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 いろいろな伴奏で弾ける選曲 こどものうた 100（チャイルド本社） 仏教聖歌 参考書 教材 プリント（適宜配布）
1単位	*	*	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	教材 プリント（適宜配布）
70%	—	10%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

基礎的な呼吸法・発声法を習得し、保育者としてののびのびと表情豊かに歌唱する能力を高めていく。  
授業では理論を取り入れた演習で行い、グループワークや全体の実践として進める。  
全体の前で個人での発表・歌唱を行うことで、人前で表現する能力を高める。  
校歌、仏教聖歌については、随時授業に取り入れていく。

#### 【フィードバックの方法】

15回目の授業で全体の前で試験曲を暗譜で独唱し、フィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・声を出すことに慣れ、歌うことの楽しさを知り実践できる。
- ・歌の内容を理解して、暗譜で歌唱できる。
- ・積極的に声を出し、表情豊かに歌唱できる。

#### 【実務経験】

幼児のグルプレッソンの実務経験を活かし、理論と幼児の音楽活動の現場の様子を実践的に捉えて講義・演習を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習（予 習・復 習）		準備学習時間
1	友だちと遊べる歌 コミュニケーションをとりながら歌える歌について	予習) シラバスを読み、授業内容を把握する		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
2	呼吸法と発声法 基礎的な呼吸法・発声法を学ぶ	予習) 声が出る仕組みについて調べる		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
3	楽しく歌おう①動きを取り入れながら楽しく歌う体験をする 歌の内容に合った身体活動について考え、実践する	予習) テキストの目次から手遊びができる歌を探す		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
4	楽しく歌おう②子どもの発達と歌唱 年齢・月齢に合わせた身体活動と発音について	予習) 年齢によって出来る手遊びを考える		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
5	生活の歌①子どもの生活と歌のつながり 子どもの生活に直結した歌について	予習) テキストの目次から朝、昼間、夕方、夜に歌える歌を探す		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
6	生活の歌②季節やな行事に適した歌 選曲のしかたと導入方法について	予習) テキストの目次から幼稚園、保育園での行事で取り扱う歌を探す		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
7	春の歌①情景をイメージしながら歌唱 歌詞の音読と歌唱	予習) テキストの目次から知っている春の歌を歌唱する		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
8	春の歌②リズムと音程の確認 歌詞の音読と歌唱	予習) テキストの目次から春の歌を歌唱する		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
9	夏の歌①リズムと音楽記号の確認 歌詞の音読と歌唱、漢字も交えながら縦書きで歌詞を書く	予習) テキストの目次から知っている夏の歌を歌唱する		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
10	夏の歌②グループごとに暗譜で歌唱 グループごとに全体の前で暗譜で歌唱	予習) 前回の授業で取り扱った歌を暗譜で歌唱する		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
11	秋の歌①日本語の響きの美しさ、ことばの大切さ ことばに適した発音、速度について	予習) テキストの目次から知っている秋の歌を歌唱する		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
12	秋の歌②最適な演奏速度 歌の内容・情景に適した演奏速度について	予習) 速度記号について調べる		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
13	冬の歌①演奏順序の確認 音楽記号を確認し、正しい演奏順序で歌唱する	予習) テキストの目次から知っている冬の歌を歌唱する		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
14	冬の歌②歌唱力を高めレパートリーを広げる 配布プリントの曲の歌唱、歌詞の確認	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く		1時間
		復習) 授業で取り扱った歌の練習		1時間
15	まとめ 試験を想定して全体の前で暗譜で独唱する	予習) 呼吸法・発声法を意識して暗譜で歌唱		1時間
		復習) 試験曲の練習		1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

歌うことは『自分』という世界にたった1つしかない楽器を奏で、表現することです。自信を持って声を出して、歌うことでコミュニケーションをとる楽しさを体験しましょう。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間内です。質問は『manaba』でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	国語表現法 ( H I I G 9 # )			演習	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 『改訂第2版 わかる・話せる・使える 保育のマナーと言葉』(わかば社・2021・ 1000円+税) 参考書 『幼稚園教育要領解説』(文部科学省・ 2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省・ 2018)『幼保連携認定こども園教育・保育 要領』(文部科学省、厚生労働省・2018) 教材 適宜資料を配布する
1単位	*	*	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	レポート	課題	実技	授業態度	
40%	30%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

日本語についての知識を深め、大学生・社会人・保育者に必要な日本語表現の基本を身に付けるために、これまで学んできた日本語についての基本的な知識を振り返り、ビジネスの場や保育に必要な日本語表現について演習を通して実践的に学んでいく。授業方法は講義を中心として演習をグループワークやディスカッションを取り入れつつ展開する。授業時に各種文書・記録や小論文の作成方法を学び、文章表現の基礎力を養う。授業期間中に1回のレポートの提出を課し、最終授業日に添削のうえ返却する。定期試験を実施し、評価して返却する。

## 【フィードバックの方法】

授業期間中に1回のレポートの提出を課し、最終授業日に添削のうえ返却する。定期試験を実施し、評価して返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・日本語についての基礎的知識を持ち、大学生・社会人として必要な文章表現法について理解する。
- ・目的や場面に応じた日本語表現法を知り、対応ができるようになる。
- ・ビジネス・保育の場に必要な各種文書の作成方法を知り、書けるようになる。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	大学生の日本語・保育者の日本語	予習	自らの日本語表現における課題を書き出す	0.5時間
		復習	自らの卒業までの目標を書き出す。	0.5時間
2	日本語の基礎 (1) 日本語のきまり	予習	作文の書き方について整理する	0.5時間
		復習	作文のテーマを考える	0.5時間
3	日本語の基礎 (2) 日本語の文字について	予習	漢字・表記についての疑問点を整理する	0.5時間
		復習	漢字練習をする	0.5時間
4	日本語の基礎 (3) 日本語の敬語・文体	予習	敬語について復習する	0.5時間
		復習	敬語を使用した文章を書く	0.5時間
5	デジタルテキストの作成法と注意点	予習	自分のメールやSNSの文章を見直す	0.5時間
		復習	ビジネスメールの練習をする	0.5時間
6	話を聞いて文章にまとめる	予習	これまでの自分のノートを見直す	0.5時間
		復習	ノートやメモを取る練習をする	0.5時間
7	調べたことを文章にまとめる	予習	指定された論文を読み、形式を知る	0.5時間
		復習	自分のレポート等を見直す	0.5時間
8	自己分析と自己紹介文	予習	自分の長所・短所・特技をまとめる	0.5時間
		復習	自己紹介文を作成する	0.5時間
9	仕事の日本語、保育の日本語	予習	保育に必要な文書をまとめる	0.5時間
		復習	ビジネス文書を書く練習をする	0.5時間
10	観察と記録 (1) エピソードの記録	予習	印象に残ったエピソードを書き出す	0.5時間
		復習	書いた記録を見直し自己添削する	0.5時間
11	観察と記録 (2) 時系列の整理	予習	一日の流れを思い出し整理する	0.5時間
		復習	一日の流れを時系列に記入する	0.5時間
12	観察と記録 (3) 気づきと目標設定	予習	保育の気づきについて調べる	0.5時間
		復習	気づきや反省を踏まえた目標の作成	0.5時間
13	ビジネス文書・挨拶状の書き方	予習	ビジネス文書の種類を調べる	0.5時間
		復習	ビジネス文書の練習をする	0.5時間
14	文章表現法 大学のレポート課題の書き方	予習	レポート課題の下調べをする	0.5時間
		復習	レポート課題の構想をする	0.5時間
15	まとめと振り返り・レポート課題の返却	予習	これまでの授業の内容を復習する	0.5時間
		復習	レポート課題の修正をする	0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

書くことは、自分自身を知ることともつながります。義務感からではなく、書きたい・表現したいという気持ちがある中で生まれてくることを願っています。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育教材研究Ⅰ(表現シアター) (H I I G 1 0 #)			演習	柿 沼 友 岐
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 なし 教 材 適宜配布 △エプロンシアター材料(各自負担)
1単位	—	—	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題作品	実技展開	授業態度	
—	—	20%	40%	40%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、教育・保育の場面で行われているエプロンシアターやパネルシアターを自ら製作し子どもの興味や保育者の配慮等を考える。さらに現場で活用するための知識や技術を身に付ける。

授業形態は、個人による製作と演習形式を中心とする。展開実習については、講評・解説等フィードバックを行う。

#### 【フィードバックの方法】

支援案の添削。発表については助言と学生同士で評価し合い共有する。作品は評価後返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・エプロンシアターとパネルシアターを各1作品ずつ製作する。
- ・エプロンシアターとパネルシアターの知識や演じる技術を身に付け、実践の場で活用・応用できるようになる。

#### 【実務経験】

幼稚園教諭と‘あそびうたとどけ隊’としての実務を生かして、現場で活用するための表現シアター技術を指導する。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	エプロンやパネルをみて様々な種類を確認し、イメージを膨らませる	予習) パネル・エプロン作品の動画を観る	復習) 自分の作りたい作品を決める	0.5時間 1時間
2	パネルシアターの製作1 (Pペーパーに鉛筆で下書き)	予習) 作りたい作品の型紙を準備する	復習) 下書きを全て終わらせる	0.5時間 2時間
3	パネルシアターの製作2 (アクリルガッシュで着色)	予習) 下書きパーツの確認・絵具類の準備	復習) 色塗りを進める	2時間 2時間
4	パネルシアターの製作3 エプロンシアターの選択	予習) 色塗りを進める	復習) 色塗りを進める	2時間 2時間
5	エプロンシアターの製作1 (フェルトに型を写し裁つ)	予習) 作りたい作品を決め、型紙を準備する	復習) フェルトに型を全て写す	1時間 2時間
6	エプロンシアターの製作2 (フェルトを縫う)	予習) 写した型に沿ってフェルトを裁つ	復習) フェルト人形作りを進める	2時間 2時間
7	エプロンシアターの製作3 (人形に綿を詰め仕上げる)	予習) フェルト人形作りを進める	復習) フェルト人形作りを進める	2時間 2時間
8	エプロンシアターの製作4 (エプロンに仕掛けをつける)	予習) エプロンに必要な材料を揃える	復習) エプロンを縫って仕上げる	2時間 2時間
9	パネルシアターの製作4 (油性ペンで縁取り、切って仕上げる)	予習) 色塗りを全て終わらせる	復習) 仕掛けなど全てを終わらせ仕上げる	1時間 1時間
10	演じ方を考える・展開案の作成① (導入→展開→まとめの確認)	予習) 演じるものを決め、台本を準備する	復習) 展開案を完成させる	0.5時間 1時間
11	展開案の作成② (展開案の添削・返却)	予習) 展開案に沿って練習し、時間配分を決める	復習) 修正箇所等を整理し、不足の言葉を追加する	1時間 1時間
12	展開実習1 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
13	展開実習2 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿って練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
14	展開実習3 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿って練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
15	まとめ フィードバック (学習の振り返り・保育者としての技術の確認)	予習) 両方の作品の完成を確認する	復習) 現場での展開ポイントをまとめておく	0.5時間 1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

とても根気のいる製作となりますが、世界でたったひとつのあなたの作品。一生大切に使うことができる温かい作品を作っていきます。そして、あなたらしく演じられる技術を身に付けていきましょう。

【オフィスアワー】 授業終了後となります。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年後期		保育教材研究Ⅱ（あそび歌） 〈 H I I G 1 1 号 〉		演習	柿 沼 友 岐
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技展開	授業態度	
—	—	10%	40%	50%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 コロムビアミュージックエンタテイメント株式会社 なかよしあそびうた 2500円+税 教 材 N H K エンタープライズケロポンズとあそぼう！					

### 授 業 概 要

**【授業の内容・方法】**

この授業では、保育の様々な場面で行われているあそび歌を知るとともに、子どもの前に立って展開していく上での技術や知識を身に付けていく。授業形態は演習を中心とするが、グループワーク等も取り入れて行う。

**【フィードバックの方法】**

支援案の添削。発表については助言と学生同士で評価をし合い共有する。レポートは返却する。

**【授業の到達目標】**

あそび歌の幅の広さを知ると共に、知識や展開する技術を身に付け、実践の場で活用・応用できるようになる。

**【実務経験】**

幼稚園教諭と‘あそびうたとどけ隊’としての実務を生かして、現場で活用するためのあそび歌技術を指導する。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	あそび歌を考える (GWにてあそび歌とは何かを考える)	予習) あそび歌とは何かをイメージする	復習) 授業への取り組み目標を決める	0.5時間 0.5時間
2	伝達技術を考える1 (言語伝達・非言語伝達 話すと聴く)	予習) 展開するのに必要なことは何かを考える	復習) 伝達技術を意識して生活をする	0.5時間 常に
3	伝達技術を考える2 (より良い伝達のためのトレーニング)	予習) 知っているあそび歌を挙げる	復習) 伝達技術を意識して生活をする	1時間 常に
4	手あそび1 (色々な手あそびを身に付ける)	予習) 滑舌トレーニング	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
5	手あそび2 (色々な手あそびを身に付ける) ふれあいあそび (歌に合わせてふれあうあそび)	予習) ふれあい遊びを調べる	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
6	手あそび3 (色々な手あそびを身に付ける) DVD鑑賞	予習) 滑舌トレーニング	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
7	手あそび4 (色々な手あそびを身に付ける) 絵本・紙芝居 (メロディーにのせて読む)	予習) 歌に合わせて読む絵本や紙芝居を調べる	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間 1時間
8	手あそび5 (色々な手あそびを身に付ける) DVD鑑賞	予習) 滑舌トレーニング	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
9	手あそび6 (色々な手あそびを身に付ける) 絵描き歌	予習) 絵描き歌を調べる	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間 1時間
10	一つのあそび歌の展開案を作成する	予習) 自分の展開したいあそび歌を決める	復習) 展開案を仕上げる	0.5時間 1.5時間
11	添削された展開案をもとに実習の準備をする	予習) 展開案をもとに流れをイメージする	復習) 展開案を訂正し足りない言葉を加えていく	1時間 1時間
12	展開実習1 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
13	展開実習2 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
14	展開実習3 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
15	まとめ フィードバック (学習の振り返り・保育者としての技術の確認)	予習) 今まで書き溜めたシートをまとめる	復習) 現場での展開ポイントをまとめておく	1時間 1時間

**\*担当者からのメッセージ\***

「たのしいな」で終わるのではなく、「自分がうまく展開できるようになるためには」ということを考えていきましょう。トレーニングで自己のレベルアップを目指すとともに、周囲からたくさん刺激を受け、自分らしく展開できるようになりましょう。

**【オフィスアワー】** 授業終了後となります。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	レクリエーション実技 ( H I G 1 6 # )			演習	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	
—	30%	—	50%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「楽しさをとおした心の元気づくり」 (2017年3月10日 公益社団法人日本レクリエーション協会 1800円+税) 参考書 心が元気になるレクリエーションゲームBEST31 (2021年10月12日公益社団法人日本レクリエーション協会 900円+税) 教材 適宜配布					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

コミュニケーションやレク活動に必要な相手との信頼関係を築く方法の一つとして活動という言葉の趣旨を理解し、有効に活用するための理論と方法を身に付ける。授業形態は、演習を中心にグループワーク等を取り入れて行う。

#### 【フィードバックの方法】

授業の中でその都度講評や解説を行いフィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・レクリエーション支援を実践できる。
- ・レク活動の展開方法を意識したプログラムの立案ができる。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	オリエンテーション レクリエーションについて	予習) レクリエーションについて考える	1時間
		復習) 教科書の1～8ページをまとめる	1時間
2	信頼関係づくりの方法1 (ホスピタリティの意味・配慮)	予習) ホスピタリティの意味を調べる	1時間
		復習) ホスピタリティを意識する	1時間
3	信頼関係づくりの方法2 (対象者とのコミュニケーション技術)	予習) 気持ちの表現に必要なことを考える	1時間
		復習) 日々、表現を実践する	1時間
4	良好な集団作りの方法1 (アイスブレイキングとは)	予習) アイスブレイキングについてまとめる	1時間
		復習) アイスブレイキングについて振り返る	1時間
5	良好な集団作りの方法2 (アイスブレイキ・モデル)	予習) アイスブレイキングゲームを探す	1時間
		復習) 保育現場でやりたいゲームを探す	1時間
6	良好な集団作りの方法3 (効果を高める支援技術)	予習) 安心感について考える	1時間
		復習) 楽しめる支援について振り返る	1時間
7	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法1 (ハードル設定とは)	予習) ハードル設定について教科書で確認	1時間
		復習) ゲームのハードル設定を記入	1時間
8	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法2 (ハードル設定の実際)	予習) 実践練習をする	1時間
		復習) 実践の振り返り	1時間
9	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法3 (レク活動のアレンジ)	予習) ゲームにアレンジを加える	1時間
		復習) 他学生のアレンジを参考にまとめる	1時間
10	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法4 (CSSプロセス)	予習) CSSプロセスについて教科書で確認	1時間
		復習) CSSの振り返り	1時間
11	レク支援プログラムの立案1 (立案1)	予習) プログラムの内容を検討しておく	1時間
		復習) 立案内容の見直し	1時間
12	レク支援プログラムの立案2 (立案2)	予習) 立案内容の練習	1時間
		復習) 立案内容の改善	1時間
13	レク支援の実施1 (プログラムを用いたレク支援の施行1)	予習) 支援内容の練習	1時間
		復習) 実施の振り返り	1時間
14	レク支援の実施2 (プログラムを用いたレク支援の施行2)	予習) 実施内容の自己分析	1時間
		復習) 他人の実施をまとめる	1時間
15	レク支援の実施3 (施行に対する評価・プログラムの改善)	予習) 自己の振り返り	1時間
		復習) 学んだ内容の振り返り	1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

インストラクターの資格取得ができる授業ですが、保育者として必要な要素を取り入れています。それに気付けると現場に出たときに大きいですよ。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名		授業形態	担当者
1年通年	保育実習研究Ⅰ (H I H 1)		演習	西 敏郎・林 恵 池田法子・中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 実習ガイドライン 参考書 保育所保育指針解説(平成30年3月) 厚生労働省 フレーベル館 352頁 教材 実習日誌等その都度指示する
2単位	—	—	○	
評価方法・基準				
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技・発表	
—	—	50%	20%	30%
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない				

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

- 授業内容は以下のとおりである。
1. 保育実習の意義 (1) 実習の目的 (2) 実習の概要
  2. 実習の内容と課題の明確化 (1) 実習の内容 (2) 実習の課題
  3. 実習に際しての留意事項 (1) 子どもの人権と最善の利益の考慮 (2) プライバシーの保護と守秘義務 (3) 実習生としての心構え
  4. 実習の計画と記録 (1) 実習における計画と実践 (2) 実習における観察、記録及び評価
  5. 事後指導における実習の総括と課題の明確化 (1) 実習の総括と自己評価 (2) 課題の明確化

#### 【フィードバックの方法】

指導案・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

#### 【授業の到達目標】

1. 保育実習の意義・目的を理解する。
2. 実習内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。
3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について具体的に理解する。
4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。

授 業 計 画		担当者	準備学習(予習・復習)	準備学習時間
保育所	1 保育士資格取得に必要な実習科目と単位 保育実習の時期 保育実習Ⅱ・Ⅲ希望調査の確認	林西 中野池田	予習) 保育士を配置している児童福祉施設について調べる	0.5時間
			復習) 児童福祉施設についてまとめる	0.5時間
	2 保育所実習について 実習可能な施設(保育所・認定こども園) 保育所実習先選び	林西	予習) 保育所と認定こども園について調べる	0.5時間
			復習) 実習希望園の特徴等を調べる	0.5時間
	3 保育所実習依頼訪問について ・依頼訪問の目的と方法 ・訪問書類の作成について ・訪問時の留意事項 保育所実習依頼訪問の確認 ボランティアについて	林西	予習) 実習依頼訪問の内諾をとる	0.5時間
			復習) 実習依頼訪問をする	1時間
	4 保育所実習依頼訪問の確認 ボランティア先の確認 実習生としての身なりや態度について	林西	予習) 実習の受け入れの承諾をもらってくる	0.5時間
			復習) 自分の身なりや態度について振り返る	0.5時間
	5 ボランティア振り返り	林西	予習) 経験したことを整理する	0.5時間
			復習) 経験したことを発表・共有する	0.5時間
	6 実習日誌とは 実習日誌の書き方①	林西	予習) 実習日誌の内容を確認する	0.5時間
			復習) 実習日誌を記入する	0.5時間
	7 実習体験学習について 実習園提出書類の作成について 夏季休暇課題について	林西	予習) 実習先への提出書類を作成する	0.5時間
			復習) 実習先への提出書類を整理する	0.5時間
	8 実習体験学習	林西	予習) 体験学習先について調べる	0.5時間
			復習) 体験学習で学んだことをまとめる	0.5時間
	9 オリエンテーションの説明 報告書の記入方法 実習関連書類の作成 実習日誌の配布 書き方(表紙・概要)②	林西	予習) 実習日誌を見直す	0.5時間
復習) 実習日誌を修正する			0.5時間	
10 保育実習目標と日々の課題の立て方	林西	予習) 実習で学びたいことを考える	0.5時間	
		復習) 実習目標を作成する	0.5時間	
11 部分実習指導案の作成	林西	予習) 部分実習指導案を作成する	1時間	
		復習) 部分実習指導案を修正する	0.5時間	
12 模擬保育①	林西	予習) 模擬保育の準備を行う	1.5時間	
		復習) 模擬保育の振り返りを行う	1時間	
13 模擬保育②	林西	予習) 模擬保育の準備を行う	1.5時間	
		復習) 模擬保育の振り返りを行う	1時間	
14 模擬保育③	林西	予習) 模擬保育の準備を行う	1.5時間	
		復習) 模擬保育の振り返りを行う	1時間	
15 実習直前指導	林西	予習) 必要な準備が整っているか確認する	0.5時間	
		復習) 最終的な準備をする	0.5時間	
16 実習の振り返り① お礼状・自己評価	林西	予習) 実習を振り返る	0.5時間	
		復習) 振り返りの内容をまとめる	0.5時間	
17 実習の振り返り② 発表・共有	林西	予習) 振り返りの発表の準備をする	0.5時間	
		復習) 自己の課題を整理する	0.5時間	

授業計画		担当者	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
施設	18 施設実習の意義と実習施設 体験学習の事前学習	中野 池田	予習) 施設実習の意義について調べる 復習) 実習施設についてまとめる	0.5時間 0.5時間
	19 施設体験学習	中野 池田	予習) 障害者支援施設について調べる 復習) 体験学習で学んだことをまとめる	0.5時間 0.5時間
	20 体験学習の振り返り 配属発表	中野 池田	予習) 体験学習で学んだことを振り返る 復習) 配属された施設について調べる	0.5時間 0.5時間
	21 実習書類の作成／施設実習の理解① 実習施設	中野 池田	予習) 実習施設について調べる 復習) 調べた内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
	22 実習書類の作成／施設実習の理解② 施設種別	中野 池田	予習) 実習施設の種別について調べる 復習) 調べた内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
	23 オリエンテーションについて	中野 池田	予習) オリエンテーションの準備をする 復習) 必要な準備が整っているか確認する	0.5時間 0.5時間
	24 実習目標と実習計画① 立案	中野 池田	予習) 施設実習で学びたい内容を考える 復習) 実習目標を作成する	0.5時間 0.5時間
	25 実習目標と実習計画② 修正 実習の手続き（細菌検査・健康診断書）	中野 池田	予習) 実習計画を考える 復習) 実習計画を仕上げる	0.5時間 0.5時間
	26 施設実習日誌の書き方① 記録の取り方	中野 池田	予習) 実習日誌の書き方を復習してくる 復習) 書き方の要点をまとめる	0.5時間 0.5時間
	27 施設実習日誌の書き方② 考察の方法	中野 池田	予習) 実習日誌を記入してくる 復習) 実習日誌を修正する	0.5時間 0.5時間
	28 実習直前指導	中野 池田	予習) 必要な準備が整っているか確認する 復習) 最終的な準備をする	0.5時間 0.5時間
	29 実習の振り返り① 自己評価	中野 池田	予習) 実習を振り返る 復習) 振り返りの内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
	30 実習の振り返り② 発表・共有 保育実習 II・III選択	中野 池田	予習) 振り返りの発表の準備をする 復習) 自己の課題を整理する	0.5時間 0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

保育実習研究Ⅰでは保育所と施設で行う保育実習に行くための準備をする授業です。保育所とはどういう施設なのか、保育実習で行く施設とはどのような施設なのかを知るところから始まり、実習に行くための手続きも授業内で行います。この手続きがきちんとできないと実習に行くことができませんので、しっかり授業に参加し課題を提出することが求められます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日5コマ目（林）。火曜日5コマ目（西）。月曜日5コマ目（中野）。月曜日5コマ目（池田）。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	保育実習Ⅰ (HⅡH2)			実習	西敏郎・林恵 池田法子・中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書なし 参考書 『保育所保育指針解説』 (平成30年3月告知 厚生労働省) 教材
4単位	—	—	○		
評価方法・基準					
実習園の評価	勤務状況	日誌	事後指導	定期試験	
70%	10%	10%	10%	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育や社会福祉の現場に身を置き、観察や保育参加等を通じて、実習施設の役割や機能、保育士の業務内容、職業倫理等について体験的に学ぶ。また、実習記録を作成し、保育現場について知見や、子ども・利用者に対する理解を深める。

保育士資格を取得するためには、児童福祉施設（保育所とその他の施設）において所定期間実習することが求められている。保育実習Ⅰは保育士資格の必修科目として、保育所実習・施設実習、各11日間を行うものであり、その目標、内容、方法は下記のとおりである。

#### (目的)

1. 保育所・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。
2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。
3. 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。
4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。

#### (内容)

1. 保育所の役割と機能
  - (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり
  - (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開
2. 子どもの理解
  - (1) 子どもの観察とその記録による理解
  - (2) 子どもの発達過程の理解
  - (3) 子どもへの援助や関わり
3. 保育内容・保育環境
  - (1) 保育の計画に基づく保育内容
  - (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容
  - (3) 子どもの生活や遊びと保育環境
  - (4) 子どもの健康と安全
4. 保育の計画・観察・記録
  - (1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解
  - (2) 記録に基づく省察・自己評価
5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理
  - (1) 保育士の業務内容
  - (2) 職員間の役割分担や連携・協働
  - (3) 保育士の役割と職業倫理

#### (方法)

参加観察実習、部分責任実習を行う。ただし、実習施設より実習の方法を指定された場合は、施設の方針に従う。

#### 【授業の到達目標】

- ・保育所・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解することができる。
- ・観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めることができる。
- ・既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解することができる。
- ・保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解することができる。
- ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解することができる。

#### \*担当者からのメッセージ\*

保育所と施設、計2回の実習は、保育に関する専門科目の授業で学んだ知識や技術を「発揮する場」であり、保育理解を深める「学びの場」です。実習を「夢の第1歩」と捉え、積極的に望んでください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日5コマ目(林)。火曜日5コマ目(西)。月曜日5コマ目(中野)。月曜日5コマ目(池田)。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年通年	基礎演習 (Ⅱ11)			演習	中野真樹・佐々木由美子・西 敏郎・林 恵 小野寛久・池田法子・高橋由紀・茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書	
1単位	*	—	—	参考書	
評価方法・基準					
定期試験	課題	レポート	発表	授業態度	
—	30%	20%	30%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
『幼稚園教育要領解説』（平成30年3月文部科学省）『保育所保育指針解説』（平成30年3月厚生労働省）『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（平成30年3月文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜配布					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

この授業では、保育者を目指す者が大学で学ぶ際に求められるチームワーク、コミュニケーション能力、学習態度等を総合的に学ぶ。そのため授業内容は講義と演習を行いつつ、グループディスカッション、文献調査などのフィールドワークなどを取り入れる。授業は内容に応じてクラス全体で行う場合とゼミ形式で行う場合がある。

## 【フィードバックの方法】

課題・レポートは授業等でフィードバックを行う。

## 【授業の到達目標】

- ・高校までと大学との学習や生活の違いを知り、円滑な学生生活を送ることができるようになる。
- ・学生生活において主体的に課題を設定し、学習するための学習スキル・学習態度について理解し、実践できる。
- ・保育者として必要なコミュニケーション能力を身につけ、チームで協力して課題解決に取り組む力を高める。

授業計画		担当者	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	オリエンテーション (授業の概要の説明、授業の進め方の説明)	全体→ゼミ	予習 シラバス・キャンパスガイドで学生の心構えや大学の建学の精神・教育理念を読み理解する	1時間
			復習 こども学科の特色についてまとめる	1時間
2	大学生の学びについて (1) 学習計画	全体→ゼミ	予習 学科課程表・カリキュラムマップを読み2年間の学びについて理解する	1時間
			復習 2年間の学習計画を作成する	1時間
3	大学生の学びについて (2) 学生生活について	全体→ゼミ	予習 キャンパスガイド・学事日程を読み2年間の流れについて理解する	1時間
			復習 2年間の学生生活を計画する	1時間
4	保育者を目指す学生としての学習態度・生活習慣について	全体→ゼミ	予習 保育者として必要な学習態度・生活習慣について考える	1時間
			復習 保育学生としての目標を設定する	1時間
5	グループディスカッション	ゼミ	予習 グループディスカッションの意義を考える	1時間
			復習 グループディスカッションを振り返る	1時間
6	参考文献の探し方	ゼミ	予習 図書館の利用方法を調べてくる	1時間
			復習 図書館リファレンスの意義をまとめる	1時間
7	保育技術について レポート課題	全体	予習 保育技術の種類を調べる	1時間
			復習 授業をふまえ保育技術についてまとめる	1時間
8	学習計画の振り返りと改善	全体→ゼミ	予習 前期の学習計画を振り返る	1時間
			復習 後期の学習計画を改善する	1時間
9	保育の学びについて (1) 実習について学ぶ	全体→ゼミ	予習 実習の目的と意義を考える	1時間
			復習 実習に向けての準備を行う	1時間
10	保育の学びについて (2) 実習振り返り	全体→ゼミ	予習 実習を終えての感想をまとめてくる	1時間
			復習 今後の実習について自身の課題を明確にする	1時間
11	グループワーク (1)	全体→ゼミ	予習 グループワークの意義を考える	1時間
			復習 グループワークの意義をまとめる	1時間
12	グループワーク (2)	ゼミ	予習 研究テーマについて考える	1時間
			復習 参考文献を調べる	1時間
13	グループワーク (3)	ゼミ	予習 グループ発表の構想を考える	1時間
			復習 グループ発表に向けての準備を行う	1時間
14	グループ発表	全体	予習 グループ発表の練習を行う	1時間
			復習 発表時のフィードバックを受けた内容を精査する	1時間
15	授業のまとめと次年度に向けて	全体	予習 これまでの内容を振り返り、まとめる	1時間
			復習 授業内容をもとに学生生活・学習状況の自己評価をする	1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

授業を通して皆さんがスムーズに学生生活をはじめ、保育者としての学びに集中するための助言をしていきます。主体的に授業にとり組み、疑問点や不明点は積極的に質問や相談をする習慣づけを行ってください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは各基礎ゼミの担当が初回授業で伝えます。



# こども学科 (令和5年度 (2023) 入学生)

○：必修科目

\*：本学指定科目（必修ではないが受講が義務付けられた科目）

#：保育士通知科目に対応した科目

こども学科一般教育科目 卒業（必修科目6単位を含め8単位以上）  
 幼稚園教諭二種免許状（必修科目10単位以上）  
 保育士資格（必修科目6単位を含め8単位以上）

区分	授業科目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数			卒業	幼免二種	保育士	開講時期		担当教員	備考
				開設単位	必修	選択				2年前期	2年後期		
一般教育科目	仏教	YHIA1	講義	2	2		○	○	○			武井(峻)	
	文 学	IA2	講義	2		2				■		中野	
	美 術	IA3	講義	2		2				■		茂木	
	法学（日本国憲法）	YIB1	講義	2		2		○				野本	
	心 理 学	IB2	講義	2		2						五十嵐	
	情報処理Ⅰ	YIC1	演習	1		1		○				禾澤	
	情報処理Ⅱ	YIC2	演習	1		1		○		■		禾澤	
	英語Ⅰ	YHID1	演習	1	1		○	○	○			Soper	
	英語Ⅱ	YHID2	演習	1	1		○	○	○			Soper	
	体育理論	YHIE1	講義	1	1		○	○	○		■	小野	
体育実技	YHIE2	実技	1	1		○	○	○	■	■	小野		
小 計				16	6	10	8	10	8				

こども学科専門科目 卒業（必修科目20単位を含め54単位以上）  
 幼稚園教諭二種免許状（必修科目39単位を含め54単位以上）  
 保育士資格（必修科目56単位以上（#印の必修科目保育内容の指導法（健康）1単位、保育内容の指導法（人間関係）1単位、こどもと音楽（ピアノⅠ）2単位を含む）  
 #印の選択科目から保育実習研究Ⅱ1単位・保育実習Ⅱ2単位、又は保育実習研究Ⅲ1単位・保育実習Ⅲ2単位のいずれか3単位を含め5単位以上選択必修 合計61単位以上

レクリエーション・インストラクター

（★印の必修科目4単位及びレクリエーション事業への参加（2回以上））  
 ☆印の選択科目1科目以上

区分	授業科目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数			卒業	幼免二種	保育士	開講時期		担当教員	備考
				開設単位	必修	選択				2年前期	2年後期		
専門科目	保育内容総論	YHIIA1	演習	1	1		○	○	○		■	佐々木	
	保育と健康	YHIIA2	演習	1	1		○	○	○			小野	
	保育と人間関係	YHIIA3	演習	1	1		○	○	○			西	
	保育と環境	YHIIA4	演習	1	1		○	○	○			佐々木	
	保育と言葉	YHIIA5	演習	1	1		○	○	○			中野	
	保育と表現	YHIIA6	演習	1	1		○	○	○			茂木・高橋	
	保育内容の指導法（健康）	YHIIA7#	演習	1	1		○	○	○#			小野	
	保育内容の指導法（人間関係）	YHIIA8#	演習	1	1		○	○	○#	■		西	
	保育内容の指導法（環境）	YHIIA9	演習	1	1		○	○	○	■		佐々木	
	保育内容の指導法（言葉）	YHIIA10	演習	1	1		○	○	○	■		中野	
	保育内容の指導法（造形表現）	YHIIA11	演習	1	1		○	○	○			茂木	
	保育内容の指導法（身体表現）	YHIIA12	演習	1	1		○	○	○			小野	
教育の基礎的理解に関する科目	保育者論	YHIIIB1	講義	2		2		○	○		■	佐々木	
	教育原理・教育制度論	YHIIIB2	講義	2		2		○	○	○		西	
	心身の発達と学習過程	YHIIIB3	講義	2		2		○	○			五十嵐	
	特別支援教育Ⅰ(障がい児保育含む)	YHIIIB4	演習	1		1		○	○	■		池田	
	特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む)	YHIIIB5	演習	1		1		○	○	■		林	
	教育課程・保育の計画と評価	YHIIIB6	講義	2		2		○	○			林	

こども学科 (令和5年度 (2023) 入学生)

区 分	授 業 科 目	科目ナンバ リングコード	授業 形態	単位数			卒 業	幼 児 一 種 保 育 士 #	開講時期 2年前 2年後	担当教員	備 考	
				開設 単位	必修	選択						
専 門 科 目	道徳、総合的な学習の時間 等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	教育方法論Ⅰ	YHIC5a#	演習	1	1		■		佐々木・林	多文化保育 ｺﾝﾈｸｼｮﾝ	
		教育方法論Ⅱ	YHIC5b#	演習	1	1		■		采澤		
		教育方法論Ⅲ	YHIC5c#	演習	1	1		■		池田	生涯学習論	
		教育の方法と技術Ⅰ	YHIC2#	演習	1	1	○	■		高橋	音楽	
		教育の方法と技術Ⅱ	YHIC3#	演習	1	1	○	■		茂木	造形	
		教育の方法と技術Ⅲ	YHIC4#	演習	1	1	○	■		小野	運動★	
	教育実践に関する科目	幼児理解と教育相談	YHIC4#	講義	2	2		○	■	林		
		保育・教職実践演習(幼稚園)	YHID1	演習	2	2	○	○	○	茂木・佐々木・西・林・ 小野・中野・池田・高橋		
		教育実習研究	YHID2	実習	1	1	○		■	茂木・高橋	1年次1週開 2年次3週開☆	
	保育の本質・目的に関する科目	教育実習	YHID3	実習	4	4	○		■	茂木・高橋		
		保育原理	YHIE1	講義	2	2	○	○	○	林		
		こども家庭福祉	YHIE2	講義	2	2	○	○	○	池田		
		社会福祉	HIE3	講義	2	2			○	西		
		こども家庭支援論	HIE4	講義	2	2			○	■	近末	
		社会的養護Ⅰ	HIE5	講義	2	2			○		池田	
		仏教保育論	HIE6#	講義	2	2			*#	■	藤生・関・内藤	
	保育の対象の理解に関する科目	福祉と人権	HIE7#	講義	2	2			#			開講せず
		こども家庭支援の心理学	HIF1	講義	2	2			○	■	高橋	
		こどもの理解と援助	HIF2	演習	1	1			○		佐々木	
		こどもの保健	HIF3	講義	2	2			○		小野	
	保育の内容・方法に関する科目	こどもの食と栄養	HIF4	演習	2	2			○	■	■	川田
		乳児保育Ⅰ	HIG1	講義	2	2			○			中野
		乳児保育Ⅱ	HIG2	演習	1	1			○	■		中野
		こどもの健康と安全	HIG3	演習	1	1			○	■		小野
		社会的養護Ⅱ	HIG4	演習	1	1			○	■		池田
		子育て支援	HIG5	演習	1	1			○	■		西
		こどもと音楽(ピアノⅠ)	HIG6#	演習	2	2	*	*	○	#		高橋・浅野・須藤・ 須永・田部井・村松
こどもと音楽(ピアノⅡ)		HIG7#	演習	1	1	*	*	*#	■		高橋・浅野・須藤・ 須永・田部井	
こどもと音楽(うた)		HIG8#	演習	1	1	*	*	*#			千葉	
国語表現法		HIG9#	演習	1	1	*	*	*#			中野	
保育教材研究Ⅰ		HIG10#	演習	1	1			*#			柿沼	表現ﾌﾞﾗｯｸ
保育教材研究Ⅱ		HIG11#	演習	1	1			#			柿沼	あそび歌
保育教材研究Ⅲ		HIG12#	演習	1	1			#	■		小野	防災と危機管理
保育実習	総合表現Ⅰ	HIG13#	演習	1	1	*		#	■		茂木・佐々木・西・林・ 小野・中野・池田・高橋	
	総合表現Ⅱ	HIG14#	演習	1	1	*		#	■		茂木・佐々木・西・林・ 小野・中野・池田・高橋	
	レクリエーション理論	HIG15#	講義	2	2			#		■	采澤	★
	レクリエーション実技	HIG16#	演習	1	1			#			采澤	★
	手話コミュニケーション	HIG17#	演習	1	1			#				開講せず
	保育実習研究Ⅰ	HIIH1	演習	2	2			○			西・林・池田	
	保育実習Ⅰ	HIIH2	実習	4	4			○			西・林・池田	保育所11日間 施設 21日間☆
そ の 他	保育実習研究Ⅱ	HIIH3a1#	演習	1	1			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	■		西・林	
	保育実習研究Ⅲ	HIIH3a2#	実習	2	2			#			西・林	11日間
	保育実習Ⅱ	HIIH3b1#	演習	1	1			#			池田・中野	
	保育実習Ⅲ	HIIH3b2#	実習	2	2			#			池田・中野	11日間
	基礎演習Ⅲ1	III1	演習	1	1	*					中野・武井(峻)	
小 計				87	20	69	54	54	60			
合 計				103	26	79	62	62	68			

# こども学科カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、科目ごとに、それを履修することにより何が出来ようになるか、ディプロマポリシー(DP)のどの項目を達成することになるかを表したものです。

## 到達指標 (DP)

- ① 保育に関する専門的知識と技術を習得し、実践の場で活用・応用できる力を身に付ける
- ② 保育職の社会的役割について認識し、保育に専心しようとする職業観をもつ
- ③ 専門を越えて学び、広い視野でものごとを捉えることができる
- ④ 多様な人々と交流することに努め、協働的関係を築くことができる
- ⑤ 豊かな感性と教養を身につけ、自ら問題解決にあたることができる

### 1年

期	科目名	①	②	③	④	⑤	
一般 教育科目	前期						
	仏教学					○	
	心理学					○	
	情報処理 I					○	
	英語 I					○	
後期	法学 (日本国憲法)					○	
	英語 II					○	
専門 科目	前期	保育と健康	○	◎			
		保育と人間関係	○	◎			
		保育と環境	○	◎			
		保育内容の指導法 (造形表現)	◎	○			
		保育内容の指導法 (身体表現)	◎	○			
		教育原理・教育制度論	○	◎			
		教育実習研究	◎	○			
		社会福祉		◎		○	
		こどもの保健	◎	○			
		こどもと音楽 (うた)	◎				○
	国語表現法					○	
	保育教材研究 I (表現シスター)	◎				○	
	保育実習研究 I	◎	○				
	基礎演習			○		◎	
	後期	保育と言葉	◎	○			
		保育と表現	◎	○			
		保育内容の指導法 (健康)	○	◎			
心身の発達と学習過程		○	◎				
教育課程・保育の計画と評価		◎	○				
教育の方法と技術 I (音楽)		◎				○	
教育の方法と技術 III (運動)		◎				○	
教育実習研究		◎	○				
教育実習		○	○	○	○	○	
保育原理		○	◎				
通年	こども家庭福祉		◎		○		
	社会的養護 I		◎		○		
	こどもの理解と援助		◎				
	乳児保育 I	◎	○				
	保育教材研究 II (あそび歌)	◎				○	
	レクリエーション実技				○		
	保育実習研究 I	◎	○				
	保育実習 I	○	○	○	○	○	
	こどもと音楽 (ピアノ I)	◎				○	

### 2年

期	科目名	①	②	③	④	⑤	
一般 教育科目	前期	情報処理 II				○	
		体育実技				○	
	後期	文学					○
		美術					○
		体育理論					○
専門 科目	前期	保育内容の指導法 (環境)	○	◎			
		保育内容の指導法 (言葉)	○	◎			
		特別支援教育 I (障がい児保育含む)	◎	○			
		教育方法論 I (多文化保育)			○	◎	○
		教育方法論 III (生涯学習論)			○	◎	○
		教育実習研究	◎	○			
		教育実習	○	○	○	○	○
		こども家庭支援論		◎		○	
		仏教保育論			○		◎
		乳児保育 II	◎	○			
	こどもの健康と安全	◎	○				
	社会的養護 II		◎		○		
	こどもと音楽 (ピアノ II)	◎				○	
	保育教材研究 III (防災と危機管理)			○	◎	○	
	総合表現 I	◎				○	
	保育実習研究 II	◎	○				
	保育実習 II	○	○	○	○	○	
	保育実習研究 III	◎	○				
	保育実習 III	○	○	○	○	○	
	後期	保育内容総論	◎	○			
保育内容の指導法 (人間関係)		◎	○				
保育者論		○	◎				
特別支援教育 II (障がい児保育含む)		◎	○				
教育方法論 II (コンピュータリテラシー)						○	
教育の方法と技術 II (造形)		◎				○	
幼児理解と教育相談		○	◎				
保育・教職実践演習 (幼稚園)		○	○	○	○	○	
福祉と人権						○	
こども家庭支援の心理学			◎		○		
子育て支援		◎		○			
総合表現 II	◎				○		
レクリエーション理論				○			
手話コミュニケーション	○			◎			
通年	こどもの食と栄養	◎	○				

◎ : DP達成と特に密接な関連がある  
 ○ : DP達成と密接な関連がある  
 空欄 : DP達成と関連がある

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	文学 ( I A 2 )			講義	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	—		
評価方法・基準					
定期試験	レポート	課題	実技	授業態度	
—	40%	40%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書『幼稚園教育要領解説』(文部科学省・2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省・2018)『幼保連携認定こども園教育・保育要領』(文部科学省, 厚生労働省・2018) 教材 適宜配布する					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

児童文学・児童文化財には民話・昔話や童話を原作とするものが多くある。さまざまな時代・地域に伝えられた伝承文学とそれに連なる児童文学をとりあげ、普遍的な「物語」の枠組みやその伝承方法について知ることで、作品への理解を深めていく。また、文学という観点から児童文化財について考察していく。授業は講義を中心にグループワーク、地域の伝承文学についてのフィールドワークを実施する。

## 【フィードバックの方法】

授業期間中に1回のレポートの提出を課し、授業時に返却してフィードバックを行う。

## 【授業の到達目標】

- ・物語の普遍的な枠組みや構造を知り、児童文学の歴史や伝承について理解し説明できるようになる。
- ・児童文学の解釈を通して児童文化財における児童文学の役割を学び教材研究ができるようになる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 文学と物語について	予習) 文学と物語とはなにかを考える。	復習) 物語の意義をまとめる	1.0時間 3.0時間
2	こどもと文学	予習) 要領・指針から文学に関連する記述を調べる	復習) 児童文学として有名な物語をまとめる	2.0時間 2.0時間
3	物語の構造と類型	予習) 物語のあらすじを調べ、まとめる	復習) 物語の構造分析・類型化をまとめる	2.0時間 2.0時間
4	伝承文学としての民話・昔話	予習) 伝承文学について調べる	復習) 絵本・民話集などを読み比べまとめる	2.0時間 2.0時間
5	物語の伝承とバリエーション、カノン化と翻案	予習) 小学校国語教科書の昔話を調べる	復習) 小学校国語教科書での昔話のあつかいを調べる	1.0時間 3.0時間
6	児童文化財と児童文学	予習) 児童文学と児童文化財について調べる	復習) 児童文学の種類をまとめる	2.0時間 2.0時間
7	児童文学の解釈 (1) 鑑賞と構造分析	予習) 解釈をしたい物語を選び、精読する	復習) 選択した物語の構造分析をする	2.0時間 2.0時間
8	児童文学の解釈 (2) 物語を再構成する	予習) 選択した物語の翻案について考察する	復習) 選択した物語を再構成する	2.0時間 2.0時間
9	児童文学の解釈 (3) 教材研究・作成	予習) 選択した物語の保育活動への活用法を考える	復習) 保育活動での活用を前提とした物語を作成する	2.0時間 2.0時間
10	児童文学の解釈 (4) 出版と印刷 レポート課題	予習) 物語の出版形態を見て種類をまとめる	復習) 手作り絵本の作成手順をまとめる	2.0時間 2.0時間
11	フィールドワーク 地域の伝承と歴史建造物	予習) 地域の伝承について調べる	復習) フィールドワークの結果をノートにまとめる	2.0時間 2.0時間
12	こどもの口承・言い伝え	予習) 子どものころの替え歌などを書き出す	復習) 地域ごとの口承の違い等を調べる	2.0時間 2.0時間
13	児童文学とメディア	予習) 映像作品化している物語をまとめる	復習) 映像化の際の工夫などを考えまとめる	2.0時間 2.0時間
14	児童文学の歴史	予習) 児童文化財の歴史について調べる	復習) 主要な児童文学の受容の歴史をまとめる	2.0時間 2.0時間
15	まとめ 文学の役割とはなにか、レポートの講評・返却	予習) これまでの授業を復習する	復習) レポートの修正	2.0時間 2.0時間

## \*担当者からのメッセージ\*

物語に親しみ、解釈をすることで自分自身について説明する力もついていきます。予習・復習を通して多くの物語に触れてみてください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		美術 ( I A 3 )		講義	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	—		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	提出物	授業態度	
—	10%	20%	40%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 「ART SINCE 1900: 図鑑 1900年以後の芸術」岡崎信一郎ほか 東京書籍・「増補新装 カラー版 西洋美術史」高階秀爾 美術出版社 その他、内容に合わせて適宜紹介する 教材 ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)。適宜授業内で連絡する					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

本授業では、現代に生きる私達にとってアート(美術)とはどのような意味をもつものなのかという問いに対して自らの考えをもつことを目指す。授業では、初めに美術史の大まかな流れを掴んだ後、各回のキーワードからアートについて考えていく。講義で基本的な知識をおさえたのち、実技、調査、グループワーク等を適宜組み合わせながら考えを深めていく。

#### 【フィードバックの方法】

レポートや各課題について、授業内でアドバイスと解説を行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・美術の大まかな歴史の流れについて説明できる。
- ・現代におけるアートの意味について自らの考えを多様な視点から説明することができる。

#### 【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、美術の専門的な学びを計画していく。(茂木)

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	アートとは何か	予習	アートの定義について調べてくる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
2	美術の歴史を概観するー古代から近代ー	予習	美術の歴史について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
3	美術の歴史を概観するー近代から現代ー	予習	美術の歴史について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
4	デザインとアート	予習	デザインとアートの共通点と相違点を調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
5	ファッションとアート	予習	ファッションとアートの共通点と相違点を調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
6	表現の自由とアート	予習	表現の自由とアートの関係について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
7	パブリック・アートとは	予習	パブリック・アートについて調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
8	アウトサイダー・アートとは	予習	アウトサイダー・アートについて調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
9	教育とアート	予習	実社会でのアートによる学びについて調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
10	アーティストを紹介しよう①	予習	アーティストについて複数人調べる	2.5時間
		復習	興味のあるアーティストについて調べる	1.5時間
11	アーティストを紹介しよう②	予習	興味のあるアーティストについてまとめる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
12	美術展をつくろう①	予習	自分の好きな作品や作家について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
13	美術展をつくろう②	予習	オリジナルの美術展の企画を考える	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
14	美術展レポート発表	予習	自分が調べた美術展についてまとめる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
15	現代におけるアートの役割	予習	現代とアートの関係について考えをまとめる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

アート(美術)について各回のキーワードを切り口に考えていきましょう。美術が好きなのはもちろん、苦手意識がある人や今まで興味がなかった人も大歓迎です。どこか遠い世界だと思っていたアートの世界が身近に感じられるかもしれませんよ。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	情報処理Ⅱ ( Y I C 2 )			演習	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	○	—		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	
—	70%	30%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 保育者のためのパソコン講座 ((株) 萌文書林 2000円+税) 教材 適宜配布					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**

情報処理Ⅰで習得した知識・技術・能力等を応用し、保育の現場で使われている資料の作成、データの見方や基本的な考え方、自分でグラフを作成するなどができるようになることを目的とする。使用するデータは、幼稚園や保育園、認定こども園などから頂いた実データを基にする。また、ができるようになること課題に取り組む際には、情報モラルについて常に意識する。ICTを活用した実践的知識とスキルの向上を、演習を通して習得する。授業形態は演習を中心とする。

**【フィードバックの方法】**

情報処理Ⅰに引き続き、毎時間初めに前回の復習を兼ねた確認技術テストを行う形でフィードバックを行う。

**【授業の到達目標】**

- ・園だよりや運動会プログラム等、実践に近い文書デザインを作成することができるようになる。
- ・統計的分析やグラフを作成することができるようになる。
- ・保育に必要な情報を収集分析することができるようになる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション タッチタイピング、Wordの復習—ビジネス文書作成—	予習) Word技術の復習 復習) Word技術の復習		0.5時間 1時間
2	情報検索 —必要な情報の検索方法—	予習) 就職を見据えた情報収集 復習) 収集した情報の確認		0.5時間 1時間
3	Wordの復習 (1) —ビジネス文書作成、表作成—	予習) Word技術の復習 復習) Word技術の復習		0.5時間 1時間
4	Wordの復習 (2) —ビジネス文書作成、図形描画—	予習) タイピング練習 復習) Word技術の復習		0.5時間 1時間
5	Wordの応用 (1) —園だより作成1—	予習) 色々なパターンの園だよりを見つける 復習) 文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
6	Wordの応用 (2) —園だより作成2—	予習) 文書体裁の整え方を練習 復習) 文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
7	Wordの応用 (3) —指導案作成1—	予習) 指導案の内容を考える 復習) 文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
8	Wordの応用 (4) —指導案作成2—	予習) 指導案の内容を考える 復習) 文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
9	Wordの応用 (5) —運動会プログラム作成—	予習) 色々な運動会のプログラムを見つける 復習) 文書体裁の整え方を練習		0.5時間 1時間
10	Excelの基本操作 (1) —ワークシートの見方、連続データ入力— (表形式のデータ)	予習) Excelのできることをまとめる 復習) 連続データを使ってカレンダーを作る		0.5時間 1時間
11	Excelの基本操作 (2) —データの入力、計算方法— (データの集計、並べ替え、ランキング 他)	予習) 高校までの数学の復習 復習) Excelでお小遣い帳を作る		0.5時間 1時間
12	Excelの基本操作 (3) —関数、統計— (データの種類、調査データ)	予習) 関数や統計について調べる 復習) 授業内で行ったデータの再確認		0.5時間 1時間
13	Excelの基本操作 (4) —表作成、グラフ作成— (データ可視化、データ表現、データの図表表現 他)	予習) 表やグラフの見方をまとめる 復習) 表やグラフを作る		0.5時間 1時間
14	Excelの基本操作 (5) —データベース機能、データ処理— (データのオープン化、統計情報の正しい理解)	予習) データベースについて調べる 復習) データベース機能を使ってみる		0.5時間 1時間
15	まとめと振り返り	予習) 数学の復習 復習) 学んだ技術の振り返り		0.5時間 1時間

**\*担当者からのメッセージ\***

保育の現場で生かせる教材やデータを繰り返し作成していきますので、一つでも多くの技術を習得しましょう。  
【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	体育理論 ( Y H I E 1 )			講義	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「生理人類学」(富田守著 朝倉書店) 「生理学」(真島英信著 文光堂)	
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	20%	50%	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

ヒトは、長い進化の過程で獲得して来た形質や受け継がれてきたもの、あるいは失って来たもの等を複雑に加味し存在している。自然に動かしているヒトの身体特性について把握するとともに、動きとの関連を考え、身体運動のしくみについて学んでいく。

授業は講義を中心として、演習を適宜取り入れ、それをもとにディスカッションやグループワークを適宜行う。

#### 【フィードバックの方法】

レポートの評価を行いながら、リアクションペーパーの振り返りにより理解を深めていく。レポート等は返却する。

#### 【授業の到達目標】

・ヒトの運動行動や身体機能の動きを説明できる。

#### 【実務経験】

・スポーツ指導者資格と障がい者スポーツ指導者資格、日本スポーツ協会コーチデベロッパーの資格を持った教員の指導のもと、理論を含めた科学的な運動の実施方法を学修する。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	体力とは何か 測定の意味と方法、評価について	予習) 体力について調べる	1時間
		復習) 体力とその評価法についてまとめる	2時間
2	ヒトのかたちと運動 健康との関連について 加齢と身体の変化について	予習) 人体の形状について調べる	1時間
		復習) 解剖学などをもとに人体についてまとめる	2時間
3	神経・筋活動について 筋構造 脳や神経と動きの連携について	予習) 脳・神経・筋の働きについてまとめる	1時間
		復習) 神経系と筋の関わりについてまとめる	2時間
4	運動傷害について 予防としてのストレッチングと基礎の運動 理論と方法	予習) 運動障害について調べる	1時間
		復習) 運動障害の予防とケアについてまとめる	2時間
5	身体機能について 形態、血圧、脈拍、皮下脂肪厚について	予習) 血圧、脈拍、皮下脂肪について調べる	1時間
		復習) 身体機能と各機能の関りについてまとめる	2時間
6	呼吸と循環について 呼吸と循環、エネルギー代謝と運動について	予習) 呼吸と循環、エネルギー代謝について調べる	1時間
		復習) 呼吸と循環、エネルギー代謝についてまとめる	2時間
7	適応生理について ヒトの生活における適応能力 動作の進化・発達・変化	予習) 適応と進化について調べる	1時間
		復習) 人間の適応能力と進化についてまとめる	2時間
8	運動処方について 運動不足について 運動の内容と捉え方と基礎の運動	予習) 運動不足、フレールについて調べる	1時間
		復習) 自身への運動処方を考える	2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

ヒトの身体について理解を深めるとともに、その不思議について一緒に考えましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です



開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年通年		体育実技 ( Y H I E 2 )		実技	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	10%	30%	50%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

各種運動の特性を学ぶ。また、運動を通して仲間との協力、心身の解放感、ノンバーバルなコミュニケーション能力を高める。

そして、運動不足からの疾病が生活習慣病として取り上げられている現代の状況を理解するとともに、その改善のために生涯にわたり身体運動を楽しみ、その意味付けが出来るような基礎を、実際に身体を動かしながら学ぶ。

身体動作について、随時フィードバック（講評と指導助言）しながら実技形式で授業を展開する。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・運動に関して、授業の中でフィードバックし、共有する。

#### 【授業の到達目標】

・身体の動きを知り、実践を通して捉えることができる。感染症等の対策をしながら運動に親しみ、実践することができる。

#### 【実務経験】

・スポーツ指導者資格と障がい者スポーツ指導者資格、日本スポーツ協会コーチデベロッパーの資格を持った教員の指導のもと、理論を含めた科学的な運動の実施方法を学修する。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	ガイダンス 授業内容、方法について	予習) 体力とその保持増進について調べる		1.5時間
		復習) 授業の進め方（準備運動）を確認する		1.5時間
2	フィットネス 基礎的基本的な身体運動	予習) 一般的な運動について調べる		1.5時間
		復習) 一般的な運動についてまとめる		1.5時間
3	Co-ordination Training (Basic) レクリエーションの運動	予習) レクリエーション運動について調べる		1.5時間
		復習) 実施した運動の内容についてまとめる		1.5時間
4	体力測定・形態測定等 ※感染症等の状況による	予習) 体力測定とその方法について調べる		1時間
		復習) 測定方法の確認と自己評価をする		2時間
5	陸上競技系の運動：幼児体育につながる陸上運動 かけっこ、リレーなど	予習) 走競技と走運動について調べる		1.5時間
		復習) 陸上競技系の運動についてまとめる		1.5時間
6	バレーボール (1) 基礎技能の習得 パスやサービス	予習) バレーボールの基礎技能について調べる		1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする		1.5時間
7	バレーボール (2) 基礎技能の習得 パスやサービス	予習) バレーボールの基礎技能について調べる		1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする		1.5時間
8	バレーボール (3) グループによる基礎練習と応用、簡易ゲーム	予習) バレーボールの集团的技能について調べる		1.5時間
		復習) 集团的技能の振り返りとまとめをする		1.5時間
9	バレーボール (4) 応用技術 ゲームの実践	予習) バレーボールのルールについて調べる		1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする		1.5時間
10	バレーボール (5) 応用技術 ゲームの実践	予習) バレーボールのルールについて調べる		1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする		1.5時間
11	パラスポーツ ポッチャ、フライングディディスクのルール	予習) 障がい者スポーツについて調べる		1.5時間
		復習) ポッチャ等の試合運びをまとめる。		1.5時間
12	器械運動：幼児体育につながる器械運動	予習) 器械運動の種類を調べる		1.5時間
		復習) 器械運動についてまとめる		1.5時間
13	体力測定・形態測定等 (2) ※感染症等の状況による	予習) 体力測定とその方法を振り返る		1時間
		復習) 前回の測定値と比較し、改善計画を立てる		2時間
14	バドミントン (1) 基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等	予習) バドミントンの基礎技能について調べる		1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする		1.5時間
15	バドミントン (2) 基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等	予習) バドミントンの基礎技能について調べる		1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする		1.5時間

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準備学習時間
16	バドミントン (3) 応用技能 サービス ルール ゲームの進め方	予習) バドミントンの応用技能について調べる	1.5時間
		復習) 応用技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
17	バドミントン (4) 応用技能 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習) バドミントンの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
18	バスケットボール (1) 基礎技能の習得 パス練習 3対2の攻防等	予習) バスケットボールの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
19	バスケットボール (2) 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習) バスケットボールの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
20	バスケットボール (3) 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習) バスケットボールの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
21	サッカー〔フットサル〕(1) 基礎技能の習得 キック、パス練習	予習) フットサルの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
22	サッカー〔フットサル〕(2) 応用技能の習得 連携、攻撃等の練習	予習) フットサルの応用技能について調べる	1.5時間
		復習) 集団的技術の振り返りとまとめをする	1.5時間
23	サッカー〔フットサル〕(3) 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習) フットサルの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

保育者にとって大切な「体力」に関して、楽しく身体を動かしながら学び、運動やスポーツの方法とルールを理解するとともに、個人的技能や集団的技術、スポーツとコミュニケーションについて考えてみよう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日 5 コマ目です。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	保育内容総論 ( Y H II A 1 )			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	模擬保育	発表	課題	
30%	20%	10%	20%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

この授業は、これまでに学んできた各領域に関する知識や実践で得た内容を振り返りながら、総合的に保育を捉えて学ぶことを目的とする。保育に関する専門家として、この授業における学びを実践の保育の場で生かせるよう、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討や調べ学習・発表・模擬保育を行って考えを深める。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー及び発表・模擬保育については授業の中でフィードバックする。定期試験は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい10の姿」と「保育内容」の関連を理解し、説明できる。
- ・保育の全体的な構造を理解し、説明できる。
- ・保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解し、説明できる。
- ・保育の多様な展開について具体的に理解し、説明できる。

#### 【実務経験】

保育士として子育て支援に関わった経験を生かして、保育内容について実践的に授業を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 保育のあるべき姿	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習)	現在の自分の保育観をまとめる	1時間
2	保育の全体構造と保育内容① 3つの視点と5領域	予習)	3つの視点と5領域を整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
3	保育の全体構造と保育内容② 10の姿と幼少接続	予習)	10の姿について整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
4	保育の全体構造と保育内容③ 養護と教育が一体となった保育	予習)	養護と教育について整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
5	子どもの発達と保育内容 同年齢か・異年齢か (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
6	遊びによる総合的な保育 内容から・ねらいから (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
7	子どもの主体性と保育 自由保育・一斉保育 (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
8	個と集団の発達を踏まえた保育 全員参加・個人の自由 (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
9	長時間保育の賛否 (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
10	保育内容における遊びー遊びの定義と意義	予習)	遊びの意義について下調べ	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
11	保育内容における遊びー教材を生かす	予習)	子どもの遊びについて下調べ	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
12	保育現場が抱える課題ー保育者に求められること	予習)	保育現場の課題を整理する	0.5時間
		復習)	エンパワメントについてまとめる	1時間
13	保育の計画と評価ー指導案を書く	予習)	指導案の書き方を復習	0.5時間
		復習)	月案の作成	1時間
14	模擬保育	予習)	模擬保育について考える	1時間
		復習)	模擬保育の指導案を作成する	1時間
15	模擬保育 振り返り	予習)	模擬保育の練習	1時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

保育内容の集大成となる学びですので、自分の保育観を省察しましょう。双方向的授業になるよう積極的に授業に参加してください。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者	
2年後期	保育内容の指導法(人間関係) (Y H I A 8 #)			演習	西 敏 郎	
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成30年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成30年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成30年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教 材 適宜配付		
1単位	○	○	○#			
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技			授業態度
—	20%	60%	—	20%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

授 業 概 要	
<p><b>【授業の内容・方法】</b> 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に記載されている「人間関係」と他領域の関連性を解説しながら、事例を踏まえ、総合的に保育を捉える力の習得を目指す。また模擬保育やディスカッションも行いながら、保育内容を深めていく。</p> <p><b>【フィードバックの方法】</b> リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。</p> <p><b>【授業の到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研究を通して、子どもの人間関係を考察する力を養い、自分の意見を述べるができる。</li> <li>・ディスカッションを通して、他者の意見の尊重や、これまで持っていなかった視点の獲得をする。</li> <li>・保育内容・技術を高めるための創意工夫ができる。</li> </ul>	

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	授業の概要(到達目標・留意事項 本講座の全体的な流れ)の説明	予習) シラバスの授業内容・到達目標を把握 復習) 今後の授業内容についてまとめる		0.5時間 0.5時間
2	教育・保育要領にみる「人間関係」	予習) 上記、参考書を熟読し理解する 復習) 授業の内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
3	「人間関係」の「ねらい」や「内容」について	予習) 上記、参考書を熟読し理解する 復習) 授業の内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
4	子どもの人とのかかわりの発達① 3歳未満児を中心に	予習) 事前配付資料を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
5	子どもの人とのかかわりの発達② 3歳以上児を中心に	予習) 事前配付資料を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
6	事例研究「遊びと人とのかかわり①」	予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
7	事例研究「遊びと人とのかかわり②」	予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
8	事例研究「人とのかかわりが難しい子どもへの支援①」	予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
9	事例研究「人との関わりが難しい子どもへの支援②」	予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
10	事例研究「生活を通しての人とのかかわり」	予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
11	事例研究「個と集団のかかわり」	予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
12	領域「人間関係」を育むための保育実践①	予習) 保育実践の為の準備を行う 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
13	領域「人間関係」を育むための保育実践②	予習) 保育実践の為の準備を行う 復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間 0.5時間
14	全体のまとめ①(レポート提出)	予習) これまでの内容をまとめる 復習) レポート作成		0.5時間 0.5時間
15	全体のまとめ② 振り返り	予習) これまでの内容をまとめる 復習) レポート添削の結果をまとめる		0.5時間 0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

子ども達の動きや言葉の表層的な部分だけではなく、その深層部にまで思考と考察が到達できるようになることを期待します。また、そこから保育の面白さや、やりがい、責任の重さなども気づいてもらいたいと思っています。  
**【オフィスアワー】** オフィスアワーは火曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者	
2年前期	保育内容の指導法（環境） 〈 Y H I A 9 〉			演習	佐々木 由美子	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜資料を配布する		
1単位	○	○	○			
評価方法・基準						
定期試験	模擬保育	課題	リアクションペーパー			授業態度
50%	20%	—	20%	10%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、園での日常生活の中で子ども達が接する環境について理解を深め、探究する心を育めるように魅力的で安全な環境を構成する能力を養う。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れ、グループワークや模擬保育を行う。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、模擬保育に関しては授業の中でフィードバックし、共有する。定期試験は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・乳幼児にとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、情報機器等を活用しての教材作成、環境を通した実践的な援助と支援を行うことができる。
- ・幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

#### 【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通した保育について考える。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	授業概要 私たちを取り囲むもの	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習)	環境システムについてまとめる	1時間
2	保育における「環境」とは「ねらい」と「内容」の理解	予習)	環境の「ねらい」と「内容」を確認する	0.5時間
		復習)	3歳以上と未満の内容の違いをまとめる	1時間
3	環境の要素としての 人、物、自然、社会	予習)	環境の4要素の下調べ	0.5時間
		復習)	野菜・果物の旬を調べる	1時間
4	教材研究：自然環境 身近な自然を体験する	予習)	織姫山について調べる	0.5時間
		復習)	教材を完成させる	1時間
5	園の環境	予習)	園環境の下調べ	0.5時間
		復習)	DVD課題を完成させる	1時間
6	教材研究：物的環境 遊具やおもちゃについて知る	予習)	小麦粉粘土の作り方の下調べ	0.5時間
		復習)	製作遊びに使う道具の特徴をまとめる	1時間
7	ものの性質や仕組みに気づく	予習)	浮沈子の作り方の下調べ	0.5時間
		復習)	目に見えないものを感じる遊びをまとめる	1時間
8	社会的環境 (1) 年間行事と地域社会との触れ合い	予習)	鬼お面の作り方の下調べ	0.5時間
		復習)	年間行事にかかわる絵本を見つけて読む	1時間
9	社会的環境 (2) 多文化との関わり	予習)	日本在住の外国人人口について調べる	0.5時間
		復習)	多文化学校プロジェクトのサイトを確認	1時間
10	教材研究：情報機器を活用した教材作成	予習)	お菓子箱工作の下調べ	0.5時間
		復習)	子どもが情報機器を使う是非を考える	1時間
11	子どもと環境のかかわりをとらえる視点	予習)	子どもにとっての環境の役割をまとめる	0.5時間
		復習)	教材研究を行う	1時間
12	園の模擬環境及び模擬保育 指導案作成	予習)	模擬保育で行う活動を考える	0.5時間
		復習)	指導案を完成させる	1時間
13	園の模擬環境及び模擬保育 発表	予習)	模擬保育の練習	0.5時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間
14	園の模擬環境及び模擬保育 発表	予習)	模擬保育の練習	0.5時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間
15	園の模擬環境及び模擬保育 発表 振り返り	予習)	模擬保育の練習	0.5時間
		復習)	振り返りシートを完成させる	1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	保育内容の指導法（言葉） 〈 Y H I A I O 〉			演習	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書	
1単位	○	○	○	『実践例から学びを深める保育内容・領域言葉 指導法』（わかば社・2017・1600円＋税）	
評価方法・基準					
定期試験	発表	課題	実技	授業態度	参考書
30%	40%	20%	—	10%	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省・2018）『保育所保育指針解説』（厚生労働省・2018）『幼保連携認定こども園教育・保育要領』（内閣府・2018）
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教材 適宜資料を配布する					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

「保育と言葉」で学習した子どもの言語獲得・言語発達をふまえ、幼稚園教育要領および保育所保育指針のなかの領域「言葉」についての理解を深め、実際の保育の場での保育者の子どもの言葉の育ちを豊かにするための環境づくりや活動方法などを実践的に学んでいく。授業は講義を中心とし、理解を深めるために視聴覚教材やグループワークを取り入れる。

## 【フィードバックの方法】

模擬保育等の演習発表を行い、授業中に内容の振り返りとフィードバックを行う。定期試験を実施し、評価をして返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・領域「言葉」のねらい及び内容を理解し、幼児が経験したことをもとに領域「言葉」において身に付けていく内容および小学校の言葉にかかわる教科等とのつながりを説明できる。
- ・領域「言葉」にかかわる生活や社会の特色について学び、実際の保育を想定した援助方法について理解し、それに即した指導案を作成することができる。
- ・幼児の言葉の獲得や発達について理解し、情報機器および教材を活用した保育を計画し、模擬保育等を行い改善していく実践的な方法を身に付ける。

授 業 計 画		準 備 学 習（予 習・復 習）		準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 保育における言葉の意義と役割	予習) 「保育と言葉」の内容を復習する	復習) 言葉の意義と役割をまとめる	0.5時間 0.5時間
2	保育における領域「言葉」における「ねらい」及び「内容」について	予習) 要領・指針の領域「言葉」を読む	復習) 要領・指針の領域「言葉」についてまとめる	0.5時間 0.5時間
3	子どもの言葉の発達と社会環境の関連について	予習) 子どもの言葉の発達と環境について考える	復習) 環境や社会の言葉への影響についてまとめる	0.5時間 0.5時間
4	領域「言葉」から小学校関連科目へのつながりについて	予習) 小学校学習指導要領国語編を読む	復習) 接続プログラムについてまとめる	0.5時間 0.5時間
5	言葉の発達と環境構成 (1) 伝え合う大切さと楽しさについて	予習) 言語の伝達機能について考える	復習) 伝えあいのための保育活動を考える	0.5時間 0.5時間
6	言葉の発達と環境構成 (2) 生活とコミュニケーション	予習) コミュニケーションの大切さを考える	復習) コミュニケーションによる保育活動を考える	0.5時間 0.5時間
7	言語の発達と環境構成 (3) 文字およびメディアと言葉との関連	予習) 子どものメディアについて調べる	復習) メディアによる保育活動を考える	0.5時間 0.5時間
8	情報機器、マルチメディアを用いた教材研究	予習) 子どものための情報機器を調べる	復習) 情報機器を活用した保育活動を考える	0.5時間 0.5時間
9	遊びを通した言葉の発達とその教材研究	予習) 言葉遊びの種類を調べる	復習) 言葉遊びの保育活動を考える	0.5時間 0.5時間
10	言葉を豊かにする児童文化財とその教材研究	予習) 言葉を豊かにする児童文化財を調べる	復習) 児童文化財を利用した保育活動を考える	0.5時間 0.5時間
11	子どもの言葉を育む保育の構想	予習) 保育のなかでの言葉の役割について考える	復習) 言葉の発達に寄与する教材についてまとめる	0.5時間 0.5時間
12	領域「言葉」に関する保育場面の指導案作成	予習) 領域「言葉」に関連する保育活動をまとめる	復習) グループ発表のための計画を立てる	0.5時間 0.5時間
13	子どもの言葉を育むための模擬保育の実施 (グループ発表)	予習) グループ発表のための準備をする	復習) グループ発表の振り返りをする	1.0時間 0.5時間
14	子どもの言葉を育むための模擬保育の実施、評価、改善	予習) 他のグループの評価について考える	復習) グループ発表の改善案を作成する	0.5時間 0.5時間
15	まとめと振り返り	予習) 授業の内容をふりかえり、まとめる	復習) 言葉の発達における保育者の役割を調べる	0.5時間 0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子どもはまわりのすべての人々から言葉やコミュニケーションについて学び、身につけていきます。子どもにとって身近な存在である保育者が、ゆたかな言葉の育ちのために何ができるのか、授業を通して一緒に考えていきましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	保育者論 ( Y H II B 1 )			講義	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配布
2単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	考察発表	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業は、保育者に求められている資質や期待される役割を理解することを目的とし、保育者としての専門性を保育現場の実態から学ぶ。授業は講義を中心とするが、ディスカッションやカンファレンスも含め実践的内容を取り入れる。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・ディスカッションやカンファレンスの内容に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。定期試験は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・保育者の役割と倫理について理解し、説明できる。
- ・保育者の制度的な位置づけを理解し、説明できる。
- ・保育者の専門性について考察するとともに理解し、説明できる。
- ・保育者の連携・協働について理解し、説明できる。
- ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解し、説明できる。

#### 【実務経験】

保育士の実務経験を生かし、理論と保育現場の実際を総合的実践的に捉えて講義を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 保育者とは：保育者の専門性について改めて考える	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	1時間
		復習	保育者の専門性についてまとめる	3時間
2	保育者の役割：保育の現場でどのような役割を果たすのか グループディスカッション・発表	予習	自分なりに保育者の役割をまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
3	保育者の制度的位置づけと倫理 全国保育士倫理綱領について学ぶ	予習	倫理綱領を熟読し、理解する	2時間
		復習	保育者の制度的位置づけをまとめる	2時間
4	保育者の専門性と資質・能力①：乳児の保育 保育カンファレンス	予習	乳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
5	保育者の専門性と資質・能力②：3歳児の保育 保育カンファレンス	予習	3歳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
6	保育者の専門性と資質・能力③：4歳児の保育 保育カンファレンス	予習	4歳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
7	保育者の専門性と資質・能力④：5歳児の保育 保育カンファレンス	予習	5歳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
8	保育者の専門性と資質・能力⑤：多様な子どもの保育 保育カンファレンス	予習	多様な子どもの発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
9	計画に基づく保育の実践と省察・評価 保育のPDCAについて	予習	教育実習で作成した指導案を見直す	2時間
		復習	デイリープログラムを作成する	2時間
10	地域や関連機関との連携・協働 多様な子育て支援サービスについて	予習	地域の関連機関について調べる	2時間
		復習	連携・協働の必要性の意味をまとめる	2時間
11	保育者の資質向上とキャリア形成 グループディスカッション・発表	予習	資質向上に必要なことについてまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
12	保育の質を向上させるためすべきこと グループディスカッション・発表	予習	資質向上に必要なことについてまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
13	保育者としての子育て支援 事例検討	予習	子育て支援とは何かについてまとめる	2時間
		復習	子育て支援の必要性についてまとめる	2時間
14	現代社会における保育者の課題 グループディスカッション・発表	予習	保育者の課題についてまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
15	連絡帳のやりとり(事例検討) まとめと振り返り	予習	自分の保育観をまとめる	2時間
		復習	定期試験の準備	2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

保育者は、倫理観に支えられた専門的知識や技術を持つ者として社会的に認められている専門職です。プロの保育者になるために、保育について一緒に考えていきましょう。保育カンファレンス・ディスカッションには積極的に参加してください。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
2年前期		特別支援教育Ⅰ(障がい児保育含む) (YHIB4)			演習	池田法子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 小林徹ほか『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい、2020、2,400円(税別) 教材 適宜資料を配布	
1単位	—	○	○			
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度		
50%	20%	20%	—	10%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

現在、さまざまな障害をもつ子どもたちが幼稚園や保育所等において地域の子どもたちとともに生活している。この授業では、一人ひとりの特別なニーズの特性と心身の発達に関する基礎を学ぶ。授業は講義を中心に、視聴覚教材やペアワーク・グループワークを取り入れる。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパーや課題、定期試験に関しては、授業やmanabaを通して解説・講評を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・障害児保育を支える理念や歴史の変遷について理解し、説明できる。
- ・個々の特性や心身の発達に応じた援助や配慮について理解し、説明できる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション・障害の理解	予習)	シラバスを読む	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
2	特別支援教育・障害児保育の基本	予習)	インクルーシブ保育について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
3	特別支援教育・障害児保育の歴史	予習)	特別支援教育の歴史について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
4	発達障害①(診断基準と定義、自閉スペクトラム症)	予習)	発達障害について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
5	発達障害②(ADHD、学習障害)	予習)	ADHD、学習障害について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
6	発達障害③(発達障害への理解を深める)	予習)	自閉スペクトラム症について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
7	知的障害①(知的発達の定義と基準)	予習)	知的障害について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
8	知的障害②(知的障害児への支援の実際)	予習)	知的障害児への支援方法を調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
9	言語障害	予習)	言語障害について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
10	聴覚障害	予習)	聴覚障害について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
11	視覚障害	予習)	視覚障害について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
12	肢体不自由	予習)	肢体不自由について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
13	病弱	予習)	病弱について調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
14	重症心身障害・医療的ケア	予習)	医療的ケアについて調べる	0.5時間
		復習)	授業の配布資料を復習する	0.5時間
15	まとめ	予習)	これまでの授業内容を振り返る	0.5時間
		復習)	定期試験の準備をする	3時間

## \*担当者からのメッセージ\*

様々な障害に関する基礎的知識を身につけ、一人ひとりと向き合う支援について考えていきましょう。  
【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む) (YHⅡB5)			演習	林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「演習・保育と障害のある子ども」野田 敦史他・みらい・2017・2300円(税別) 教材 適宜配布
1単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	10%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

特別支援教育Ⅰで学んだことを基礎とし、特別な支援を要する子どもを含んだ集団が育ちあっていくためにはどうすればよいか、具体的場面を通して理解をする。指導計画や連携機関について具体的実践に基づいて学ぶ。授業は講義とともに、ディスカッションや疑似体験など実践的内容を取り入れる。リアクションペーパー、課題などの内容を次回授業内でフィードバックする。なお、課題が提出されていない場合は評価の対象としない。

#### 【フィードバックの方法】

・課題に対するフィードバックを授業内で実施し、講評・解説の時間を設ける。

#### 【授業の到達目標】

- ・特別な支援を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について説明できる。
- ・特別な支援を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働・保育の課題について説明できる。
- ・特別な支援が必要な子どもへの興味関心をもち、保育者としての態度を考えることができる。

#### 【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 特別支援教育Ⅰの振り返り	予習) シラバス確認		0.5時間
		復習) 授業内容の整理		0.5時間
2	障害のある子どもの気持ちを知る ロールプレイを中心として	予習) Ⅰで学んだ障害種を振り返る		0.5時間
		復習) ロールプレイの感想をまとめる		0.5時間
3	近年の特別支援教育の特徴 医療的ケア児への対応	予習) 医療的ケアについて調べる		0.5時間
		復習) 医療的ケア児の動画を見る		0.5時間
4	特別支援教育の実際(1) 子ども同士の育ちあい・保育現場における生活と遊び環境の工夫	予習) Ⅰ第3回授業内容を振り返る		0.5時間
		復習) インクルーシブ保育の状況をまとめる		0.5時間
5	特別支援教育の実際(2) 特別支援と保育の計画：指導計画と支援計画	予習) 保育場面の計画種を調べる		0.5時間
		復習) 指導計画と支援計画の違いをまとめる		0.5時間
6	特別支援教育の実際(3) 指導計画及び個別の支援計画の作成	予習) 指導計画の記入欄を確認する		0.5時間
		復習) 計画の書き方を確認する		0.5時間
7	特別支援教育の実際(4) 職員間の協働と連携：特別支援教育コーディネーター	予習) 取り巻く職員種について調べる		0.5時間
		復習) 特別支援教育コーディネーターについて復習		0.5時間
8	家庭と自治体・関係機関との連携(1) 障がいのある子どもを支える関係機関を知る	予習) 支援機関を調べる		0.5時間
		復習) 支援機関同士の連携をまとめる		0.5時間
9	家庭と自治体・関係機関との連携(2) 小学校への入学：小学校との連携を知る	予習) 小学校への申し込りに必要な物考える		0.5時間
		復習) 具体的方法を振り返っておく		0.5時間
10	家庭と自治体・関係機関との連携(3) 家庭との連携について知る：障がいの受容①保護者	予習) 親の気持ちを想像する		0.5時間
		復習) 障害受容についてまとめる		0.5時間
11	家庭と自治体・関係機関との連携(4) 家庭との連携について知る：障がいの受容②きょうだい	予習) きょうだいの気持ちを想像する		0.5時間
		復習) 様々な家族の形についてまとめる		0.5時間
12	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(1) 外国ルーツ・性的マイノリティ・貧困・ヤングケアラー	予習) 支援が必要な子どもの現代の課題について調べる		0.5時間
		復習) 選択した課題について調べる		0.5時間
13	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(2) 選択課題の作成	予習) 選択した課題について調べる		0.5時間
		復習) 選択した課題について調べる		0.5時間
14	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(3) 選択課題の発表	予習) 選択した課題についてまとめる		0.5時間
		復習) レポートをまとめ、提出する		0.5時間
15	全体のまとめと振り返り	予習) 今までの学習内容を振り返る		0.5時間
		復習) 学習の不足分を復習する		0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

授業へはまじめに積極的に参加し、疑問点はその場で質問をして構いません。チャット等での質問も歓迎します。私語、居眠りなどは厳禁とします。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目

開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
2年前期		教育方法論Ⅰ（多文化保育） 〈YHIC5a#〉			演習	佐々木由美子・林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜資料を配布する	
1単位	—	1単位以上 選択必修	#			
評価方法・基準						
レポート	リアクションペーパー	発表	実技	授業態度		
40%	20%	20%	—	20%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**  
 保育の多文化・国際化に対応できる保育者の育成を目的とし、多文化という状況を共に生きるインクルーシブ保育について、その理論と教育方法を理解する。

**【フィードバックの方法】**  
 リアクションペーパー、発表課題に関しては授業の中でフィードバック共有する。レポートはmanabaのレポート機能を使ってフィードバックする。

**【授業の到達目標】**  
 ・多文化保育の意義について理解し、説明できる。  
 ・多文化保育における教育方法の基礎的理論と実践を理解し、説明できる。

**【実務経験】**  
 保育士・特別支援学校教諭としての実務経験を生かし、多様な背景を持つ子どもへの支援について考える。

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習（予 習・復 習）	準 備 学 習 時 間
1	授業概要 多文化保育・教育とは何かー理論と実践を理解するー	佐々木 林	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握 復習) 多文化保育・教育についてまとめる	0.5時間 1時間
2	海外における多文化保育の実際 ー理論と実践を理解するー	佐々木 林	予習) 海外の保育について調べる 復習) 海外の保育について考察する	1時間 0.5時間
3	言語発達ーダブルリミテッドバイリンガル・ 幼児期の言語教育のあり方を理解するー	佐々木 林	予習) 外国籍児の言語の問題を調べる 復習) 言語教育について考察する	1時間 0.5時間
4	外国籍児を対象とした保育 ー当事者としての外国籍保育士の役割ー	佐々木 林	予習) 多文化保育の実践を調べる 復習) 外国籍保育士について考察する	1時間 0.5時間
5	特別なニーズのある児童の保育事例の検討 ー翻訳ソフト等ICTの活用についてー	佐々木 林	予習) 翻訳ソフトについて調べる 復習) 翻訳ソフトを実際に使ってみる	1時間 0.5時間
6	外国人集住地域大泉町 ー日本の中のブラジルを知るー	佐々木 林	予習) 大泉町について調べる 復習) ニューカマーの人々について考察する	1時間 0.5時間
7	学外授業（1）ー大泉町調査①ー	佐々木 林	予習) 大泉町への行き方を調べる	1.5時間
8	学外授業（2）ー大泉町調査②ー	佐々木 林	復習) 大泉町調査を考察する	1.5時間
9	学外授業（3）ー大泉町調査結果グループ発表ー	佐々木 林	予習) 発表の準備をおこなう 復習) グループ発表の感想を書く	1時間 0.5時間
10	多様な子どもたちについて知る（1） ー聾文化と聾の子どもー	佐々木 林	予習) 聾について調べる 復習) 聾の文化について考察する	1時間 0.5時間
11	多様な子どもたちについて知る（2） ーLGBTQー	佐々木 林	予習) LGBTQについて調べる 復習) LGBTQの実際について考察する	1時間 0.5時間
12	多様な子どもたちについて知る（3） ー子どもの貧困ー	佐々木 林	予習) 子どもの貧困について調べる 復習) 子どもの貧困について考察する	1時間 0.5時間
13	多文化教育・夜間中学を知る	佐々木 林	予習) 夜間中学について調べる 復習) 夜間中学について考察する	1時間 0.5時間
14	多文化保育指導案の作成	佐々木 林	予習) 素案を作成する 復習) 指導案を完成させる	1時間 0.5時間
15	模擬保育	佐々木 林	予習) 模擬保育の準備をする 復習) レポートを作成する	0.5時間 1時間

**\* 担当者からのメッセージ \***  
 多様な背景を持つ子どもへの支援について一緒に考えていきましょう。  
**【オフィスアワー】** 佐々木：水曜5コマ目 林：水曜5コマ目 質問は、manabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	教育方法論Ⅱ(コンピュータ・リテラシー) (YHIC5b#)			演習	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 保育者のためのパソコン講座((株)萌 文書林 2000円+税) 教材 適宜配布
1単位	—	1単位以上 選択必修	#		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	
—	70%	—	30%	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

これからの社会を生きていく子どもたちや学生のみなさんに求められる資質や能力を育成するために必要な、教育における新しい方法としてのICT機器の活用等について基礎的な知識や技能を身につける。ICT教育とは?教育現場でのICT機器利用の意義と方法について理解を深めることを目的とします。ICT機器を活用した主体的かつ対話的で深い学びとなるよう工夫された指導案作成ができるよう、段階を経た授業展開をしていきます。

授業形態は、各テーマを中心に演習やディスカッション、グループワークなどのアクティブラーニングを取り入れて行う。

#### 【フィードバックの方法】

課題等に関しては授業の中で随時フィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・教育の目的に適したICT機器の利用技術を理解している
- ・教材としてのICT機器の効果的な活用法を理解し、保育計画に活用することができる

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション-ICTを使用した教育方法の基礎的理論と実践を理解するー(データ・AIの活用領域の広がり)	予習) リテラシーとは何かをまとめる 復習) ICTについてまとめる		0.5時間 1時間
2	ICTを使った教育のあり方を理解(1)乳幼児とICTについて(人間の知的活動とAIの関係性)	予習) 乳幼児向けのICTを調べる 復習) 幼児の現場でのICTについて調べる		0.5時間 1時間
3	ICTを使った教育のあり方を理解(2)情報探索(研究は伊勝、サービスなど)	予習) 幼児向けアプリを検索実施 復習) アプリが持つ影響について調べる		0.5時間 1時間
4	ICTを使った教育のあり方を理解(3)情報整理(AI等を活用した新しいビジネスモデル)	予習) アプリが持つ影響についてまとめる 復習) 実際とまとめた内容の確認		0.5時間 1時間
5	ICTを使った教育のあり方を理解(4)情報分析(AIサービスの責任論)	予習) 文献検索 復習) 情報をまとめる		0.5時間 1時間
6	ICTを使った教育のあり方を理解(5)プレゼン	予習) 発表原稿作成 復習) 発表の振り返り、質疑応答をまとめる		0.5時間 1時間
7	ICTを使った教育のあり方を理解(6)教材や教具としてのICT	予習) 教材としてのICTについて調べる 復習) 教材としてのICTについて考える		0.5時間 1時間
8	ICTの活用について改めて情報を整理し考えをまとめる(AI活用事例紹介)	予習) 幼児とICTについて再検討 復習) 検討内容の確認、まとめ		0.5時間 1時間
9	ICTの活用情報を整理しプレゼン	予習) 発表原稿作成 復習) 発表の振り返り、質疑応答をまとめる		0.5時間 1時間
10	SNSの機能や情報モラルを踏まえた教育方法のあり方を模索(情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介)	予習) SNSのモラルやニュースをまとめる 復習) 他の発表者の内容をまとめる		0.5時間 1時間
11	子ども理解に基づいた指導法と評価の考え方を理解	予習) 保育現場でのICTについてまとめる 復習) ICTを活用した指導案を作成		0.5時間 1時間
12	保育を構成する基礎的な要件を理解し、指導を作成	予習) 指導案内容の見直し 復習) 指導案を完成させる		0.5時間 1時間
13	ICTを使った模擬保育を行い、基礎的技術を身に付ける	予習) 模擬保育の練習 復習) 模擬保育の振り返り		0.5時間 1時間
14	プログラミングやコンピュータを搭載した機器に触れる	予習) コンピュータ搭載機器を調べる 復習) 実際に触れて気づいたことをまとめる		0.5時間 1時間
15	まとめと振り返り	予習) これまでの学修を受け意見をまとめる 復習) 学んだ内容の振り返り		0.5時間 1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

自らの経験や授業の体験を通して教育方法の実践的理解を深めつつ、情報化社会で必要な情報活用能力の探究と、自分の意見や考えを持つことに努めてください。

【オフィスアワー】授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。



開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
2年前期		教育方法論Ⅲ（生涯学習論） 〈 Y H I I C 5 c # 〉			演習	池田法子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書なし 参考書 渡邊洋子『新版 生涯学習時代の成人教育学——学習者支援へのアドヴォカシー』明石書店、2023. 3,200円（税別） 教材 適宜資料を配布	
1単位	—	1単位以上 選択必修		#		
評価方法・基準						
定期試験	グループワーク	課題	発表	授業態度		
—	20%	50%	20%	10%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

生涯学習社会とは、誰もが自分の人生を豊かにするために、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができる社会である。生涯学習の理念や概念、法体系と制度について学び、生涯学習支援の方法を実践的に考える。授業では講義やグループワーク、フィールドワークを行う。

## 【フィードバックの方法】

グループワークや課題、発表等に関しては、授業時間や manaba を用いて随時フィードバックする。

## 【授業の到達目標】

- ・生涯学習の理念や概念を理解し、説明できる。
- ・学校外の様々な社会教育・生涯学習の施設について理解し、説明できる。
- ・多様な視点から人々の学習活動を支援する方法を理解し、学習プログラムを企画することができる。

授 業 計 画		準 備 学 習（予 習・復 習）		準備学習時間
1	オリエンテーション	予習) シラバスを読む		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
2	社会教育・生涯学習の施設① 博物館	予習) 博物館について調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
3	社会教育・生涯学習の施設② フィールドワーク	予習) 身近な学習施設・機関について調べる		0.5時間
		復習) 体験したことをまとめる		0.5時間
4	社会教育・生涯学習の施設③ 振り返り	予習) フィールドワークについて振り返る		0.5時間
		復習) 振り返りの内容を整理する		0.5時間
5	社会教育・生涯学習の施設④ 図書館	予習) 図書館について調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
6	社会教育・生涯学習の施設⑤ 公民館	予習) 公民館について調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
7	生涯学習の理念と学習理論	予習) 生涯学習の理念について調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
8	高齢社会と生涯学習	予習) 高齢者の学習支援を調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
9	障害者をめぐる生涯学習	予習) 障害者の学習支援を調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
10	子ども・若者と生涯学習	予習) 子ども・若者の学習支援を調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
11	「働くこと」と生涯学習	予習) 自分の将来について考える		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
12	生涯学習の形態と方法	予習) 学習支援の方法を調べる		0.5時間
		復習) 授業の配布資料を復習する		0.5時間
13	生涯学習のプログラムを企画する① 企画・立案	予習) 生涯学習のプログラムを考える		0.5時間
		復習) 考えた内容をまとめる		0.5時間
14	生涯学習のプログラムを企画する② 構成	予習) 学習方法や目的を考える		0.5時間
		復習) 考えた内容をまとめる		0.5時間
15	生涯学習のプログラムを企画する③ 発表	予習) 発表の準備をする		0.5時間
		復習) 発表・議論の内容を振り返る		0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

学びとは、「学校」の中で「教えてもらった」ことが全てではありません。社会にある多様な学習機会について理解を深め、主体的な学びのあり方について考えていきましょう。

【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	教育の方法と技術Ⅱ (YHIC2#)			演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「保育をひらく造形表現」 榎 英子 萌 文書林、「何をつくるか決めない造形 あそび そぞい探求LABO」 桐嶋歩 内容に合わせて適宜紹介する 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファ イル (詳細は1回目の授業で説明しま す)
1単位	—	○	#		
評価方法・基準					
レポート	リアクションペー パー	提出物	グループでの成果物 (模擬保育含む)	授業態度	
20%	10%	15%	45%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

本授業では幼児の造形表現と遊びとの関係性について理解した上で、保育者としてそれを支えるためのより実践的な技能を身につけることを目的とする。一般的に「造形あそび」と言われる、作品の完成を目的としないプロセスを重視した造形表現活動について学び、授業の後半では実際にグループで模擬保育を実践し技能の習得を図る。授業は、造形あそびを体験した後、それを発展させた展開例を考えるという流れで行っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。本授業の評価においては、素材や環境のもつ魅力を活かした独創的で多様な展開例を考えることができているかを重視する。

#### 【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内に講評、解説を行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・素材や環境のもつ魅力を活かした造形あそびを計画し、状況に合わせて多様な展開ができる。
- ・幼児の造形表現活動において、プロセスを見ることの大切さとその視点を理解できる。

#### 【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、造形表現のプロセスを見取る視点を具体的に示していく。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	造形表現活動とあそび・造形あそびについて 表現のプロセスを見ることについて	予習	「あそび」について調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
2	ドキュメンテーションについて	予習	ドキュメンテーションについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
3	場所をいかした造形あそび	予習	場所の魅力をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
4	色彩をいかした造形あそび	予習	色彩の特性をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
5	光をいかした造形あそび	予習	光の特性をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
6	身近な素材を使った造形あそび	予習	身近な素材を使った造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
7	科学的な視点を取り入れた造形あそび	予習	科学的な視点を取り入れた造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
8	美術館の利用と対話型鑑賞	予習	美術館の教育普及活動と対話型鑑賞について調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
9	造形あそびから考える模擬保育①(活動内容の検討)	予習	模擬保育の内容を考える	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
10	造形あそびから考える模擬保育②(指導案作成)	予習	模擬保育の活動の流れを考える	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
11	造形あそびから考える模擬保育③(準備)	予習	指導案を完成させる	2.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
12	造形あそびから考える模擬保育④(試行)	予習	模擬保育の準備を進める	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
13	造形あそびから考える模擬保育⑤(実践・討議)	予習	模擬保育の準備を進める	1.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
14	ドキュメンテーションの作成	予習	ドキュメンテーションのアイデアを考える	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
15	ドキュメンテーションの発表・討議・まとめ	予習	発表の準備をする	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

保育者には造形表現活動のプロセスから、子どもたちにおきている学びを読み取り、より魅力的な学びになるよう次の展開を考える力が必要になります。活動を考えたり、模擬保育を経験したりすることを繰り返すことで、保育者としての実践力が育つと考えます。他者と積極的に協力し多様な活動が展開されることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		幼児理解と教育相談 ( Y H I C 4 # )		講義	林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 子どもの理解と保育・教育相談 [第2版] みらい 参考書
2単位	—	○	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
60%	—	20%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**  
 保育者に子育て支援の役割が期待されるなかで、相談援助の考え方やカウンセリング・マインドをふまえた対応が求められている。この授業では講義と演習を通してそれらの理解と技法を身に付ける。

**【フィードバックの方法】**  
 提出された課題については添削をおこなう。授業内でも質疑応答を実施する。

**【授業の到達目標】**  
 ・さまざまな子どもの特徴やニーズと発達を理解する  
 ・相談やコンサルテーションをおこなうための具体的な方法を習得する。  
 ・実際に保育の相談内容を知り、考えることで、保育・教育相談の基礎知識を身に付ける。

**【実務経験】**  
 特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	保育の場における相談ニーズとカウンセリング・マインド	予習) テキストの第1章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
2	子どもの発達理解と相談・支援	予習) テキストの第2章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
3	保護者への対応 一子育て支援の視点から	予習) テキストの第3章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
4	発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり	予習) テキストの第4章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
5	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ	予習) テキストの第5章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
6	保育場面でのカウンセリング技法の活用	予習) テキストの第6章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
7	園・地域における専門家との連携による相談・支援	予習) テキストの第7章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
8	保育者の専門性と相談活動	予習) テキストの第8章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
9	基礎的対人関係のトレーニング	予習) テキストの第9章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
10	事例検討 子ども同士のいざこざ/仲間に入れない子ども	予習) テキストの事例1・2を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
11	事例検討 すぐに暴力を振るう子ども/不登園の子ども	予習) テキストの事例3・4を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
12	事例検討 虐待が疑われる子ども/児童養護施設での不適切なかかわり	予習) テキストの事例5・6を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
13	事例検討 障害のある子ども/気になる子ども	予習) テキストの事例1・2を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
14	事例検討 外国につながる子ども/保護者からの相談	予習) テキストの事例1・2を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
15	全体の振り返りとまとめ	予習) 今までの資料を読み返す		2時間
		復習) 全ての学習内容のポイントをまとめる		2時間

**\*担当者からのメッセージ\***  
 事例検討などのワークには積極的に参加してください。提出物は期限を守って出してください。  
**【オフィスアワー】** 水曜日5コマ目

開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
2年後期		保育・教職実践演習（幼稚園） 〈 Y H I I D 1 〉			演習	茂木克浩・佐々木由美子・西 敏郎・林 恵 小野覚久・中野真樹・池田法子・高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		特に指定はしない 授業中に適宜資料を配付	
2単位		○	○	○		
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度		
—	—	80%	—	20%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

これまでに習得した知識や技術が幼児教育・保育の専門職として十分なものであるか、保育観・子ども観がしっかりと構築されているかを検討し、教職・保育職を目指す者としての自己課題を認識する。それを踏まえて、保育指導案による模擬保育、ロールプレイ、ディスカッション、事例研究といった多様な課題に挑戦し、保育者としての資質向上を図る。課題内容により、講義、実技、グループワーク、観察など多様な方法を用いる。また担当する専任教員の専門性を活かした様々な形で授業を展開する。

#### 【フィードバックの方法】

それぞれの担当ごとに随時解説や講評を行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・自分自身の保育実践力について緻密に確認し（学びのカルテ、学びの自己評価）、保育職を目指す者としての自己課題に気づき、課題解決に向けて行動する。
- ・短大における学習（理論知）と現場での実習体験等を通して得られた知識・技術（実践知）を結び付けて、子どもや保育について考えることができる（子ども観・保育観の形成）。
- ・保育職に求められる社会性や対人関係能力を発揮して、困難な課題に挑戦し課題達成を図る。

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習（予習・復習）	準備学習時間
1	授業ガイダンス 「学びのカルテ（学びの自己評価）」作成	茂木	予習 シラバスの授業内容・到達目標を把握 復習 今後の授業内容についてまとめる	1時間 1時間
2	教育・教員をめぐる今日的課題①	茂木	予習 教育・教員の今日的課題について調べる 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
3	教育・教員をめぐる今日的課題②	茂木	予習 教育・教員の今日的課題について調べる 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
4	教育・教員をめぐる今日的課題③	茂木	予習 調べた内容をまとめて発表の準備をする 復習 授業の内容をまとめる	1時間 1.5時間
5	教育・教員をめぐる今日的課題④	茂木	予習 調べた内容をまとめて発表の準備をする 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
6	社会福祉の役割①	西	予習 日本の社会福祉について調べる 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
7	社会福祉の役割②	西	予習 世界の社会福祉について調べる 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
8	社会福祉の役割③	西	予習 社会と福祉の関係について調べる 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
9	音楽表現の実践課題	高橋	予習 ピアノⅡで演奏したブルグミュラーの課題曲を弾いてくる。 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
10	音楽遊びの実際と指導法①	高橋	予習 事前配付の資料を読み考察する 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
11	音楽遊びの実際と指導法②	高橋	予習 事前配付の資料を読み考察する 復習 課題を作成・提出する	1時間 1.5時間
12	保育環境整備と壁面制作①	茂木	予習 保育環境における壁面の役割について調べる 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
13	保育環境整備と壁面制作②	茂木	予習 壁面のデザインを考える 復習 壁面制作を進める	1.5時間 1.5時間
14	保育環境整備と壁面制作③	茂木	予習 壁面を完成させる 復習 授業内容をまとめる	2時間 0.5時間
15	造形遊びの実際と指導法①	茂木	予習 事前配付の資料を読み考察する 復習 授業の内容をまとめる	1時間 0.5時間
16	造形遊びの実際と指導法②	茂木	予習 事前配付の資料を読み考察する 復習 課題を作成・提出する	1時間 1.5時間
17	園外保育の企画・実践①	池田	予習 園外保育の経験を振り返る 復習 園外保育について調べる	1時間 0.5時間
18	園外保育の企画・実践②	池田	予習 園外保育の企画を考える 復習 園外保育の準備や実践内容を練る	1時間 0.5時間

授業計画		担当者	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
19	園外保育の企画・実践③	池田	予習) 発表の準備をする	1時間
			復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
20	教育現場でのコンセンサス①	小野	予習) 事前配付の資料を読み考察する	1時間
			復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
21	教育現場でのコンセンサス②	小野	予習) 事前配付の資料を読み考察する	1時間
			復習) 課題を作成・提出する	1.5時間
22	保育者としてのキャリア形成①	林	予習) 進路選択の経緯を振り返る	0.5時間
			復習) 働く意義を考え卒後の自分を考える	0.5時間
23	保育者としてのキャリア形成②	林	予習) どのような働き方をしたいか考える	0.5時間
			復習) 職業人としての自分を考える。	0.5時間
24	保育士としてのキャリア形成③	林	予習) 保育者の困難を考えておく	0.5時間
			復習) 職業人としてどう生きていくかを考える。	0.5時間
25	保育とコミュニケーション論①	中野	予習) 保育のコミュニケーションについて考える	1時間
			復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
26	保育とコミュニケーション論②	中野	予習) 保育実習の日記を見直す	1時間
			復習) 課題を作成・提出する	1.5時間
27	保育とコミュニケーション論③	中野	予習) 授業をもとに発表の準備をする	1時間
			復習) 発表のフィードバックをまとめる	1.5時間
28	ソーシャルスキルトレーニング①	佐々木	予習) ソーシャルスキルとは何か調べる	1時間
			復習) 課題を整理する	0.5時間
29	ソーシャルスキルトレーニング②	佐々木	予習) 事例を読み検討する	1時間
			復習) 課題を作成・提出する	1.5時間
30	「学びのカルテ（学びの自己評価）」の完成	茂木	予習) 短大での学びを振り返る。	1時間
			復習) 「学びのカルテ」作成・提出する	0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

現場に出る前の最終チェックとなる教科です。この授業では、自分自身がこれまで短大で学んできたことを振り返り、保育者として十分な知識・技術等が獲得できているかを考えましょう。そして不足していることがあったら改めて学習し、卒業や資格取得に繋げるとともに、保育職につくための資質をさらに高めてください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは各担当教員のオフィスアワーを参照。質問は manaba でも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	教育実習研究 ( Y I I D 2 )			実習	茂木克浩・高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	○	—		
評価方法・基準					
定期試験	レポート	課題	実技・発表	授業態度	
—	—	50%	20%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省) 参考書 必要に応じて紹介する 教材 適宜資料を配布する 教育実習用のファイル(第1回の授業で説明する)					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

教育実習を行うために必要な基本的知識・技術の習得を目的とした事前指導を実施する。その中で、保育の記録や指導計画の立案、評価、改善する力を身につける。各実習終了後の事後指導では総合的な自己評価を行い、保育者としての実践力習得を目指す。2年間を通して子どもの実態や教諭の役割について学び、様々な方法で主体的に学ぶ力を養う。

#### 【フィードバックの方法】

各授業で取り組んだ課題については授業の中で講評を行う。  
授業内で作成した指導案は添削し個々にフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・これまで学んだ知識・技術を多角的に捉え、実践することができる。
- ・保育の記録のポイントを理解し、的確に記入することができる。
- ・日案を作成することができる。
- ・実践を振り返り、それに基づいて改善し行動することができる。

#### 【実務経験】

学校教育現場で実習生を受け入れ指導してきた経験から、受け入れる側からみた実習生に期待されるものを伝えていく。(茂木)  
教育実習研究の実務経験は、小中学校における教職の経験より、実習における活きた学びの重要性を伝えていく(高橋)

授業計画		担当者	準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	教育実習の概要・意義・実習の意味について 教育実習園の選び方	茂木 高橋	予習) 幼稚園と保育所、こども園の違いを調べる。 復習) 授業内容をまとめる。		0.5時間 0.5時間
2	実習までの流れと必要な手続きについて 幼稚園選びの実際 実習先選び個別指導	茂木 高橋	予習) 実習希望園について調べる。 復習) 実習希望園を決定し必要な手続きを行う。		0.5時間 0.5時間
3	実習依頼訪問の方法と留意点 時期・訪問日の決定・内諾書	茂木 高橋	予習) 実習依頼訪問の目的について調べる。 復習) 実習依頼訪問の準備をする。		0.5時間 0.5時間
4	教育実習の意義と実際① 幼稚園の一日の流れ	茂木	予習) 幼稚園の一日の流れについて調べる。 復習) 授業内容をまとめる。		0.5時間 0.5時間
5	教育実習の意義と実際② 責任実習の実際	高橋	予習) 責任実習の目的や内容について調べる。 復習) 授業内容をまとめる。		0.5時間 0.5時間
6	実習体験学習	茂木 高橋	予習) 実習体験学習先の園について調べる。 復習) 実習体験学習の感想等をまとめる。		0.5時間 1.0時間
7	夏休みの課題発表 手作り名札の発表・園児向け自己紹介 発表に対する講評	茂木 高橋	予習) 発表の準備をする。 復習) 名札と自己紹介の修正を行う。		1.5時間 1.0時間
8	教育実習Ⅰ事前指導① 書類作成 オリエンテーションについて	茂木 高橋	予習) オリエンテーションの目的について調べる。 復習) オリエンテーションの準備をする。		0.5時間 0.5時間
9	教育実習Ⅰ日誌指導① 保育観察の実際と方法 実習日誌の構造を知る	茂木 高橋	予習) 保育観察の目的について調べる。 復習) 授業についてまとめる。		0.5時間 0.5時間
10	教育実習Ⅰ日誌指導② 観察方法と記録の取り方	茂木 高橋	予習) 保育観察の方法について調べる。 復習) 授業内容についてまとめる。		0.5時間 0.5時間
11	教育実習Ⅰ日誌指導③ 実習目標の立て方	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅰの目標を考えてくる。 復習) 教育実習Ⅰの目標を修正する。		0.5時間 0.5時間
12	教育実習Ⅰ事前指導② 実習直前指導 お礼状の書き方	茂木	予習) お礼状の書き方について調べる。 復習) 教育実習Ⅰの準備をする。		0.5時間 0.5時間
13	教育実習Ⅰ事後指導① 自己評価 お礼状の確認	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅰの取り組みを振り返る。 復習) 教育実習Ⅰを振り返り学んだことをまとめる。		0.5時間 1.0時間
14	教育実習Ⅰ事後指導② 実習での学びの共有	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅰでの学びを発表する準備をする。 復習) 他の人の発表から学んだことをまとめる。		1.5時間 0.5時間
15	教育実習Ⅱ事前指導① 書類作成 オリエンテーションについて	茂木 高橋	予習) 改めて教育実習Ⅰの成果と課題を振り返る。 復習) オリエンテーションの準備をする。		0.5時間 0.5時間
16	教育実習Ⅱ指導案指導① 主活動の内容検討	茂木 高橋	予習) 主活動の内容を考える。 復習) 主活動の流れを考える。		1.0時間 1.0時間



授業計画		担当者	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
17	教育実習Ⅱ指導案指導② 主活動指導案作成	茂木 高橋	予習) 主活動の指導案を作成する。	1.5時間
			復習) 主活動の指導案を完成させる。	1.0時間
18	教育実習Ⅱ指導案指導③ 全日指導案作成	茂木 高橋	予習) 全日の流れを考えてくる。	1.0時間
			復習) 全日指導案を作成する。	1.0時間
19	教育実習Ⅱ指導案指導④ 指導案の修正	茂木 高橋	予習) 全日指導案を作成する。	1.5時間
			復習) 全日指導案を修正する。	2.0時間
20	教育実習Ⅱ指導案指導⑤ 指導案仕上げ・教材準備	茂木 高橋	予習) 全日指導案を修正する。	1.5時間
			復習) 主活動等の準備をする。	2.0時間
21	教育実習Ⅱ事前指導② 実習直前指導 お礼状について	高橋	予習) 教育実習Ⅱの目標を考える。	1.0時間
			復習) 教育実習Ⅱの準備をする。	1.0時間
22	教育実習Ⅱ事後指導① 自己評価 お礼状の確認	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅱの取り組みを振り返る。	0.5時間
			復習) 教育実習Ⅱを振り返り学んだことをまとめる。	1.0時間
23	教育実習Ⅱ事後指導② 実習での学びの共有	茂木 高橋	予習) 教育実習Ⅱでの学びを発表する準備をする。	1.0時間
			復習) 他の人の発表から学んだことをまとめる。	0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

教育実習研究では《幼稚園》で行う教育実習のための具体的な手続きから実習内容までを学んでいきます。毎回の授業が大切であり教育実習を行うために必要な内容です。

子どもたちが日々生活している《幼稚園》で学ばせていただく『教育実習』ということを忘れずに、そのために必要な内容を授業で学び、しっかり身につけましょう。

**【オフィスアワー】** オフィスアワーは水曜5コマです。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	教育実習 ( Y I I D 3 )			実習	茂木克浩・高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省) 教材 必要に応じて適宜資料を配布する
4単位	—	○	—		
評価方法・基準					
実習園の評価	勤務状況	日誌	事後指導	定期試験	
70%	10%	10%	10%	—	

### 授 業 概 要

#### 教育実習

##### 【内容】

教育実習は、幼稚園教諭2種免許状を取得する上での必須の科目であり、幼稚園で4週間実習することを求められるものである。

- ・幼稚園の機能や生活について体験を通して理解する。
- ・幼稚園教諭となるための自覚を育てる。
- ・短大で学んだ理論や技術を実践・応用し、実践的能力を養う。

##### 【方法】

4週間の実習を、1年次1週間、2年次3週間に分けて行う。  
 教育実習Ⅰ 1年次後期(11月)各自が選定し、承諾を得た幼稚園で行う。  
 教育実習Ⅱ 2年次後期(6月)各自が選定し、承諾を得た幼稚園で行う。  
 教育実習4週間(教育実習Ⅰ・1週間+教育実習Ⅱ・3週間)

##### 【フィードバックの方法】

実習期間中に指導訪問を実施し、各訪問指導担当からアドバイスをを行う。  
 実習終了後、園からの評価をもとに評価伝達とアドバイスをを行う。

##### 【到達目標】

- ・幼稚園の目的・機能について実地に即して理解することができる。
- ・幼稚園における子育て支援について理解し、必要な能力を身につけることができる。
- ・幼稚園教諭の役割、職務内容を理解し、補助的な役割を担うことができる。
- ・幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。
- ・幼稚園教育要領及び幼児の実態を踏まえた適切な指導案を作成し、実践することができる。
- ・様々な活動の場面で適切に幼児と関わるすることができる。
- ・保育に必要な基礎的技術(話法・保育形態・保育展開・環境構成など)を実地に即して身につけるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。

##### 【提出物】

- ・誓約書、個人票、実習訪問指導シート
- ・実習日誌  
漏れなく記入する。  
実習の目標(実習において学びたいこと、どのような目標をもって実習に臨むのかを確認し、まとめる)をきちんと設定する。  
日々の実習を振り返り、計画・実践・反省・評価を整理し日誌に記録し、原則として毎日実習園に提出する。

##### 【評価方法と割合】

- ・実習園による評価70%
- ・出勤状況、勤務態度(実習園及び訪問担当教員からの報告)10%
- ・日誌(提出期限を厳守している、丁寧に記述している、空欄の有無、訂正・修正箇所への対応など)10%
- ・事後指導への取り組み(学んだことについて具体的かつ考察を踏まえながら記述できている)10%

最終的な評価配分は、教育実習ⅠとⅡの割合を25%・75%とする。  
 教育実習Ⅰの実習評価が60%を超えない場合は教育実習Ⅱを行うことはできない。

#### \*担当者からのメッセージ\*

教育実習は、専門科目の授業で学んだ知識や技術を「発揮する場」であり、保育理解を深める「学びの場」ですので、受け入れてくださる園、保育者、子どもたちに対する感謝の気持ちを忘れずに、積極的に取り組みましょう。

【オフィスアワー】オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		こども家庭支援論 (HIE4)		講義	近末克紀
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書なし 参考書 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領 教材 プリントなど適宜配布
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	実技	授業態度	
—	20%	60%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**  
 保育者として、その専門性を活かして行う子育て家庭への支援について考え、多様な支援の形や実際を知ることで、その意義と目的を理解する。グループワークやディスカッションを中心に、保育現場でおきた実際の事例をもとにその時の子どもたちや保護者の姿や感情、課題や問題点を探り、理解を深めていく。

**【フィードバックの方法】**  
 毎回リアクションペーパーを記載し、次回授業の中でフィードバックする。レポートについては返却する。

**【授業の到達目標】**  
 ・子育て家庭に対する支援の意義と目的を理解する。  
 ・「よりよい子育て社会」の構築に向けて、保育者としての意識を身につける。  
 ・子どもの成長に対する保護者との共有、支援の具体的な方法を理解する。

**【実務経験】**  
 保育士歴21年。現場で実際に経験してきた事例を元に、理論と合わせ総合的に実践的に学んでいく。  
 保育士・幼稚園教諭・チャイルドコーチングアドバイザー・乳幼児救命救急支援員・和太鼓民舞講師

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と役割を知る	予習) シラバスにて授業内容、到達目標を把握		1時間
		復習) 子ども家庭支援の意義役割についてまとめる		2時間
2	保育の専門性を活かした子ども家庭支援 子どもの育ちの喜びと共有	予習) 子育ての喜びについて考えてくる		1時間
		復習) 子どもの成長の喜びについてまとめる		2時間
3	保育士に求められる基本的態度 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 保育士としての態度について考える		1時間
		復習) 基本的態度についてまとめる		2時間
4	それぞれの家庭の状況に応じた支援の在り方 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 様々な家庭環境について考える		1時間
		復習) 家庭の状況に応じた支援の在り方をまとめる		2時間
5	公的機関との連携について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 公的機関について調べてくる		1時間
		復習) 公的機関との連携についてまとめる		2時間
6	子ども家庭支援に対する環境づくり① 「傾聴」	予習) 傾聴とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 傾聴のポイントをとまとめる		2時間
7	子ども家庭支援に対する環境づくり② 「承認」	予習) 承認とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 承認のポイントをとまとめる		2時間
8	子ども家庭支援に対する環境づくり③ 「質問」	予習) 質問とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 質問のポイントをとまとめる		2時間
9	和太鼓で体を動かそう 子どもと共に楽しむことが支援の基礎になる①	予習) ケガをしないように体をほぐす		1時間
		復習) 疲れが残らないように充分休息をとる		2時間
10	保育現場での支援の実際 送迎時の会話・連絡帳を基に考える	予習) 連絡帳の意義を考えてくる		1時間
		復習) 連絡帳などの大切さやポイントをとまとめる		2時間
11	保育現場での支援の実際 事故事例から考える グループディスカッション・発表	予習) 保育園での事故事例を調べてくる		1時間
		復習) 保育者として命との向き合い方をまとめる		2時間
12	リズムで体を動かそう 子どもと共に楽しむことが支援の基礎になる②	予習) ケガをしないように体をほぐす		1時間
		復習) 疲れが残らないように充分休息をとる		2時間
13	保育現場での支援の実際 「天使にもつ」を参考に考える①	予習) 保育士のあり方について考える		1時間
		復習) 保育士の仕事を十分理解する		2時間
14	保育現場での支援の実際 「天使にもつ」を参考に考える②	予習) 現在の自分の保育観について考えてくる		1時間
		復習) 現在の自分の保育観についてまとめる		2時間
15	いのちの授業 ゲストティーチャーを迎えて	予習) いのちについて考えてくる		1時間
		復習) 大切ないのちを預かるという自覚を持つ		2時間

**\*担当者からのメッセージ\***  
 保育現場で出会うたくさんのお子さんや保護者たちへの支え方を、実際に保育現場であったお話をもとにみんなで考えていきましょう。

**【オフィスアワー】** オフィスアワーは、授業終了後の休憩時間です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	仏教保育論 ( H I E 6 # )			講義	藤生義仁・関 裕剛 内藤弘純
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 分かりやすい仏教保育論 教材 講師が用意したパワーポイント、プリントなどにより授業を進める
2単位	—	—	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	70%	—	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

仏教とは「慈悲」の宗教である。仏教保育とは、慈悲の心にねぎした保育をいう。保育の中の仏教行事、月間のねらいなどを基に、実際に園で行っている保育を紹介・解説していく。主に講義として行うが、年4回の仏教行事の参加を求め、また、それぞれ授業においては、グループワーク、ディスカッションなどの時間を取り入れながら、理解を深めていく。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパーに関しては、授業の中でフィードバックし、共有した後返却する。

#### 【授業の到達目標】

日常の保育の中で、仏教精神や仏教行事がどのように取り入れられているかを理解し、説明できる。またそれぞれの園での活動の違いを知る。そして、自身の今後の保育感を深め、「こういう保育者になりたい」と考えられるようになる。

#### 【実務経験】

保育園の園長の経験、僧侶としての経験と知識を活かして、保育と仏教の統合的実践的な講義を行う。

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準備学習時間
1	仏教保育とは (1) ～「生きる」について考える～	藤生	予習) 「生きる」について考える	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
2	仏教保育とは (2) ～「有難い」について考える～	藤生	予習) 「有難い」について考える	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
3	仏教保育とは (3) ～「信頼関係」について考える～	藤生	予習) 「保育」について考える	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
4	月間の保育のねらい (1) 4月「合掌聞法」	藤生	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
5	月間保育のねらい (2) 5月「持戒和合」	藤生	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
6	月間保育のねらい (3) 6月「生命尊重」、7月「布施奉仕」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
7	月間保育のねらい (4) 8月「自利利他」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
8	月間保育のねらい (5) 9月「報恩感謝」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
9	月間保育のねらい (6) 10月「同事協力」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
10	月間保育のねらい (7) 11月「精進努力」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
11	月間保育のねらい (8) 12月「忍辱持久」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
12	月間保育のねらい (9) 1月「和顔愛語」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
13	月間保育のねらい (10) 2月「禪定静寂」、3月「智慧希望」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
14	仏教行事 (1) 仏教行事「降誕会」「魂まつり」の参加、レポート提出	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
15	仏教行事 (2) 仏教行事「成道会」「涅槃会」の参加、レポート提出	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

仏教保育の優しさ、心の豊かな保育を理解し、保育の楽しさ、やりがいに繋げてもらいたいと思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休み時間内。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		こども家庭支援の心理学 ( H I F 1 )		講義	高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
期末試験	リアクションペーパー	考察発表	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配布					

## 授 業 概 要

## 【授業内容・方法】

この授業は、生涯発達に関する心理学の基礎的知識を修得すること、子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得することを目的として開設されている。専門職としてこの学びを実践の場で生かせるよう、事例検討を含めた演習課題やディスカッションも行う。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポートは、manabaのレポート機能を使用してフィードバックする。

## 【授業の到達目標】

- ・子どもの初期経験の重要性、発達課題について理解し、説明できる。
- ・親子関係や家族関係等について多角的観点から理解し、説明できる。
- ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解し、説明できる。
- ・子どもの精神保健とその課題について理解し、説明できる。

## 【実務経験】

幼稚園・小、中学校での教務経験を活かし、保育現場の実際を総合的・実践的に捉えて講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション こども家庭支援の心理学とは生涯発達の考え方	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	1時間
		復習	生涯発達についてまとめる	2時間
2	生涯発達 ①乳幼児期の発達－認知機能	予習	ヴィゴツキーの内言・外言を調べる	1時間
		復習	乳幼児期の認知発達についてまとめる	2時間
3	生涯発達 ②乳幼児期の発達－情緒の発達	予習	ホスピタリズムについて調べる	1時間
		復習	乳幼児期の社会性発達についてまとめる	2時間
4	生涯発達 ③乳幼児期の発達－社会性の発達	予習	エリクソン・ボウルビーの理論を調べる	1時間
		復習	乳幼児期の社会性発達をまとめる	2時間
5	生涯発達 ④児童期の発達	予習	メタ認知について調べる	1時間
		復習	児童期の発達についてまとめる	2時間
6	生涯発達 ⑤青年期の発達	予習	モラトリアムについて調べる	1時間
		復習	青年期の発達についてまとめる	2時間
7	生涯発達 ⑥成年・老年期の発達－認知機能	予習	空の巣症候群について調べる	1時間
		復習	成年・老年期の発達についてまとめる	2時間
8	こどもの精神保健とその課題	予習	子どもの精神的課題について調べる	1時間
		復習	子どもの精神保健とその課題をまとめる	2時間
9	子育てを取り巻く社会的環境	予習	現代社会の子育て環境を調べる	1時間
		復習	子育ての社会的環境をまとめる	2時間
10	ライフコースと仕事・子育て	予習	ワークライフバランスを調べる	1時間
		復習	ライフコースについてまとめる	2時間
11	子どもの成長の喜びを共有する	予習	成長の喜びとは何かを考える	1時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
12	保護者の養育力に資する支援	予習	保護者の養育力とは何かを考える	1時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
13	保護者支援の実際	予習	保護者支援の例を調べる	1時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
14	特別な配慮を要する家庭	予習	特別な配慮を要する家庭について調べる	1時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
15	まとめと振り返り	予習	授業を振り返り、疑問等をまとめる	2時間
		復習	内容を振り返り、期末試験に向けて準備をする	2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

乳幼児期は、生涯にわたる発達の中で最も大事な時期です。子どもの発達と家庭の関係について一緒に考えましょう。  
【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年通年	こどもの食と栄養 ( H I F 4 )			演習	川田容子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 第3版子どもの食と栄養演習書 医歯薬出版株式会社 2500円 参考書 保育所保育指針 幼稚園教育要領 授乳離乳の支援ガイド 食育計画作成ガイド
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
70%	—	30%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

食事をおいしく楽しくとることが、心も体も健康に育つ上で基本となる。  
前期は、子どもの食生活の問題点について課題を通して考察するとともに、栄養の基礎、胎児期から離乳期の栄養を学ぶ。  
後期は、子どもの成長や身体状況を食機能の発達について課題を通して学ぶとともに、幼児期の栄養、乳幼児期の食育について実習を交えながら学ぶ。講義を中心に、グループワーク・実習を取り入れる。

#### 【フィードバックの方法】

授業内でフィードバックし 講評・解説を行い共有する。レポートは添削し返却する。

#### 【授業の到達目標】

- 健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基本的知識を説明ができるようになる。
- 子どもの発育・発達と食生活の関連について説明ができるようになる。
- 食育の基本とその内容及び食育のための環境を理解し、食育指導案の作成ができるようになる。
- 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明ができるようになる。
- 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解し、対応ができるようになる。

#### 【実務経験】

地方自治体保育所主管課にて公立保育所の給食管理業務、食育指導、行政指導監査業務を経験。  
栃木県保育協議会研修・市町村保育所栄養士会研修にて保育士・栄養士の指導に携わる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準備学習時間
1	オリエンテーション(講義・実習の進め方について説明する) 子どもの健康と食生活の意義	予習) シラバスを読む	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
2	健康・食生活の現状と課題①【グループワーク】	予習) 子どもの健康と食生活の課題を下調べ	1時間
		復習) 発表準備	1時間
3	健康・食生活の現状と課題②【ディスカッション】	予習) 発表準備	1時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
4	体の成長発達とその評価	予習) 子どもの保健・子どもの発達の復習	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
5	子どもの食べる機能の発達	予習) 教科書指定頁を読む	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
6	乳児の発育と栄養	予習) 乳児期の発達を調べてくる	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
7	調乳法実習	予習) 乳児保育・調乳の復習してくる	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
8	離乳食の役割・離乳食の進め方	予習) 乳児保育・離乳食の復習	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
9	*連続授業 離乳食の実際① 初期・中期【実習】	予習) 「授乳離乳の基本」を読んでくる	1時間
10	離乳食の実際② 後期・移行期【実習】	復習) 課題レポート作成	1時間
11	栄養に関する基本知識① エネルギー代謝・糖質・脂質	予習) ダイエットと栄養について調べてくる	1時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
12	栄養に関する基本知識② たんぱく質・ビタミン	予習) 筋力アップと栄養について調べてくる	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
13	栄養に関する基本的知識③ ミネラル・小児の食事摂取基準	予習) 骨の成長と栄養について調べてくる	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
14	栄養に関する基本的知識④ 小児期に必要な栄養素	予習) 栄養の基礎・授業をまとめておく	1時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
15	胎児・妊娠期の生理と栄養・生涯発達と食生活	予習) 自分の食事記録をつけてくる	0.5時間
		復習) 定期試験準備	3時間

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
16	幼児期の心身の発達と食生活① 心身の発達	予習) 子どもの保健・子どもの発達を復習	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
17	幼児期の心身の発達と食生活② 食の育ち	予習) 子どもの食の発達について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
18	幼児期の心身の発達と食生活③ 食の課題と対応 【ディスカッション】	予習) 幼児期の食の課題について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
19	幼児期の食生活・栄養の特徴	予習) 幼児期の食の特徴について下調べ	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
20	児童福祉施設における食事と栄養	予習) 保育所給食の実態を調べてくる	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	0.5時間
21	学童期の心身の発達と食生活	予習) 学童期の食の課題について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
22	食育の基本 幼児期における食育と食育計画	予習) 食育に関する資料を集める	1時間
		復習) 自分で実施したい食育保育を考える	0.5時間
23	食育の基本 食育年間計画作成	予習) 食育年間計画資料を集める	1時間
		復習) 課題レポートの作成	1時間
24	食育保育指導案作成 【グループワーク】食育計画①	予習) 年齢ごとの保育計画の特徴を見直す	0.5時間
		復習) 食育指導案作成	0.5時間
25	食育保育指導案作成 【グループワーク】食育計画②	予習) 食育指導案作成	0.5時間
		復習) 発表演習の準備	1時間
26	食育保育演習① 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
27	食育保育演習② 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
28	食育保育演習③ 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
29	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 食物アレルギーのある子どもへの対応	予習) 子どもの保健・アレルギーについて復習	1時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
30	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 障がいのある子どもへの対応	予習) 子ども保健・疾病について復習	1時間
		復習) 定期試験準備	3時間

**\*担当者からのメッセージ\***

子どもに食を伝えていくためには、保育者自らの「健康的な食生活を実践する力」が必要です。毎日の生活の中で食に興味関心を持ち、朝食の摂取やバランスの取れた食生活、食事のマナーを身につけるよう心がけましょう。

保育士資格取得必須科目であり、「保育の心理学」「子どもの保健」「家庭支援論」などとの関連性が深く復習を踏まえた理解が必要です。当授業では、実習や教材研究を行うため、レポート等の提出があります。しっかり予習、復習を行い、積極的に授業に参加して下さい。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、担当授業修了後の休み時間です。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	乳児保育Ⅱ (H I G 2)			演習	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	演習発表	課題	実技	授業態度	
—	30%	30%	30%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 『演習で学ぶ乳児保育』(わかば社・2020) 参考書 『幼稚園教育要領解説』(文部科学省・2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省・2018)『幼保連携認定こども園教育・保育要領』(文部科学省, 厚生労働省・2018) 教材 適宜配布する					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

乳児保育Iで得た知識をもとに、子どものかかわり方や援助についてさらに深く検討していく。環境を通した保育のなかで、3歳未満児の発達・発育を考慮しつつさまざまな観点を入れた保育の計画を立てることができるようになることを目標とする。授業は子どもの専門性に裏打ちされた保育技術の向上を目指すため、演習形式で行う。また、グループで一つの課題に取り組みグループワークを行い、授業時に学習成果を発表する。

#### 【フィードバックの方法】

課題や実技・発表に関して授業時にフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえたかかわり方について理解する。
- ・養護と教育の一体性を理解し、3歳未満児の生活や遊びと保育の方法・環境構成について具体的に説明できる。
- ・乳児保育における配慮等について理解し、連携を意識した計画を立てることができる。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション・子どもと保育士等との関係の重要性	予習) 乳児保育における保育士の重要性を考える 復習) 乳児保育における保育士のかかわり方をまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
2	年齢ごとの発育・発達とその援助	予習) 0～3歳児の発育・発達について復習する 復習) 0～3歳児への援助についてまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
3	子どもの生活(1) 食事の援助	予習) 乳児保育と食事について調べる 復習) 乳児の食事の援助についてまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
4	子どもの生活(2) 排泄・睡眠の援助	予習) 乳児保育と排泄・睡眠について調べる 復習) 乳児保育の排泄・睡眠の援助についてまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
5	子どもの生活(3) 着脱・移動の援助	予習) 乳児保育と着脱・移動について調べる 復習) 乳児保育の着脱・移動の援助についてまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
6	子どもの生活(4) 清潔に関する援助	予習) 乳児保育における清潔について調べる 復習) 乳児保育と清潔に関する援助をまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
7	乳児保育における生活と環境構成	予習) 乳児保育における安全について調べる 復習) 乳児保育における生活と環境構成をまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
8	乳児保育における遊びと環境構成	予習) 乳児保育における遊びについて考える 復習) 乳児保育における遊びと環境構成をまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
9	健康・安全と情緒の安定のための配慮をふまえた保育計画	予習) 保育の一日の流れを構想する 復習) 授業をもとに保育計画を作成する	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
10	集団での生活に配慮した指導計画	予習) 集団のなかでの遊びについて考える 復習) 指導計画を作成する	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
11	指導計画に基づいた乳児保育の実践	予習) 指導計画をもとに実際の保育を構想する 復習) 指導計画の見直しを行う	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
12	乳児保育における計画及びその評価(グループ発表)	予習) 発表資料の準備をする 復習) 評価を踏まえて目標を立案する	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
13	乳児保育と個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的なかかわりを考慮した個別的な指導計画について	予習) 子どもの個性や発達の差について調べる 復習) 受容的・応答的なかかわりについてまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
14	保育所以外での乳児保育の実践について	予習) 児童福祉法等での乳児保育について調べる 復習) 多角的な観点から乳児保育についてまとめる	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間
15	まとめと振り返り	予習) 授業の内容を復習する 復習) 自らの課題達成目標を作成する	0.5時間 0.5時間	0.5時間 0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

一人一人の子どもが心身ともに健康・安全であり、情緒が安定して過ごすために、保育者の専門性が不可欠です。さまざまな観点から保育の場のありかたを検討していき、自信をもって保育現場に臨めるよう、目標をもって授業に取り組んでください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日の5コマ目です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	こどもの健康と安全 ( H I G 3 )			演習	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 子どもの健康と安全 中央法規 児童育成協会 監修 参考書
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	教材 適宜配布
—	20%	30%	30%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

こどもの健康と安全を守るために、発育発達、健康状態の把握、健康の保持増進、衛生管理、事故防止、安全対策、危機管理、災害対策などについて保育の現場で実践できるよう具体的な方法を学ぶ。授業は講義を中心にそれに基づく演習を行う。演習はグループで行うが一人一人が確実に技術を身に付けるために最低一度は体験することとする。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、事例検討、課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・こどもの健康状態、発育発達状態を把握するための具体的な方法を理解し実施できる。
- ・こどもの日常生活における保健活動について理解し、養護技術が手順通りに実施できる。
- ・こどもの疾病、アレルギーや感染症対策など緊急時に適切に対応するための方法と技術を習得する。
- ・こどもの健康問題や地域保健活動について理解し説明できる。
- ・事故防止や安全対策、危機管理、災害対策などについて実践例をもとに理解し、実践力を身につける。

## 【実務経験】

幼児担当の指導主事、救急法指導員としての経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる内容の講義と演習を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 授業内容・方法等について	予習) シラバスについて授業内容と到達目標の把握		1時間
		復習) 乳幼児の体の特徴についてまとめる		2時間
2	子どもの心身の健康と安全な保育環境	予習) 乳幼児の体と発育の特徴について調べる		1時間
		復習) 乳幼児の体と発育の特徴についてまとめる		2時間
3	子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康	予習) 乳幼児の体と健康診断等について調べる		2時間
		復習) 乳幼児の体と健康診断等についてまとめる		1時間
4	衛生管理	予習) 乳幼児の生活習慣について調べる		1時間
		復習) 乳幼児の生活習慣についてまとめる		2時間
5	事故防止および安全対策	予習) 乳幼児の事故の特徴について調べる		1時間
		復習) 乳幼児の事故の特徴についてまとめる		2時間
6	災害への備えと危機管理	予習) 一般的な危機管理と災害対策について調べる		2時間
		復習) 危機管理と災害対策についてまとめる		1時間
7	体調不良や障害が発生した場合の対応	予習) 応急手当について調べる		2時間
		復習) 応急手当についてまとめる		1時間
8	応急処置および心肺蘇生法	予習) 心肺蘇生法の手順について調べる		2時間
		復習) 心肺蘇生法の手順についてまとめる		1時間
9	感染症の集団発生と予防、対応	予習) 感染症について調べる		2時間
		復習) 感染症についてまとめる		1時間
10	保育における保健的対応の基本的考え方	予習) 予防・対応すべき感染症について調べる		1時間
		復習) 予防・対応すべき感染症についてまとめる		2時間
11	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応	予習) アレルギー対応について調べる		1時間
		復習) アレルギー対応についてまとめる		2時間
12	障害のある子どもへの適切な対応	予習) 障害の種類や対応について調べる		1時間
		復習) 障害の種類や対応についてまとめる		2時間
13	職員間の連携・協働と組織的取り組み	予習) 組織的な取り組みについて調べる		2時間
		復習) 組織的な取り組みについてまとめる		1時間
14	保育における保健計画および評価	予習) 現代の健康問題と障害について調べる		2時間
		復習) 現代の健康問題と障害についてまとめる		1時間
15	子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携	予習) 地域の専門機関について調べる		1時間
		復習) 地域の専門機関についてまとめる		2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

「子どもを預かる＝命を預かる」ということです。真剣に授業（特に演習）に臨んでほしいです。乳児人形を用いて演習を行います但实际上に乳児と接するつもりで演習を行ってください。

防災士として活動し、教育委員会の幼稚園保育園担当指導主事として、衛生管理、安全対策、危機管理、災害対策について携わった経験と自治体や現場の実践例を踏まえて授業を進めていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、月曜日の5コマ目です。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	社会的養護Ⅱ (H I G 4)			演習	池田法子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	
—	60%	—	20%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

社会的養護を必要とする子ども本人への援助に加え、家族や地域、関係機関との連携の意義や方法について学ぶ。また、社会的養護に関わる相談援助の方法・技術、支援計画や記録について事例を通して解説する。授業では講義を中心に、グループワークやディスカッションを取り入れる。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパーや発表に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

#### 【授業の到達目標】

- ・社会的養護を担う専門職としての保育士に求められる基本的知識や具体的な援助方法について理解できる。
- ・多様な課題を抱える子どもや家族を支援する方法を体得し、実践に活かすことができる。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	イントロダクション 子どもの権利擁護	予習) シラバスを読む 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
2	社会的養護における子どもの理解	予習) 子どもの特性・背景について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
3	社会的養護の内容① 日常生活支援	予習) 日常生活支援について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
4	社会的養護の内容② 心理的支援	予習) 心理的支援について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
5	社会的養護の内容③ 自立支援	予習) 自立支援について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
6	アセスメントと個別支援計画の作成	予習) 個別支援計画について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
7	記録および自己評価	予習) 施設における記録について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
8	保育の専門性に関わる知識・技術とその実践	予習) 保育の専門性について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
9	相談援助の知識・技術とその実践	予習) 相談援助について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
10	ソーシャルワーク（知識・技術とその応用）	予習) ソーシャルワークについて調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
11	社会的養護における家庭支援	予習) 家庭支援について調べる 復習) 授業の配布資料を復習する	0.5時間 0.5時間
12	事例検討① 課題の選択	予習) これまで学んだ内容を整理する 復習) 選択した事例を読み理解する	0.5時間 0.5時間
13	事例検討② グループディスカッション	予習) 選択した事例の論点を考える 復習) 話し合った内容をまとめる	0.5時間 0.5時間
14	事例検討③ 発表	予習) 発表の準備をする 復習) 発表・議論の内容を振り返る	0.5時間 0.5時間
15	今後の社会的養護の課題と展望	予習) 社会的養護の課題と展望を調べる 復習) これまで学んだ内容を総括する	0.5時間 0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

社会的養護を身近な問題として捉え、保育者に求められる知識や技術について実践的に考えていきましょう。  
【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	子育て支援 ( H I I G 5 )			演習	西 敏 郎
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	20%	60%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「子育て支援」中山書店 2020 年 参考書 なし 教材 適宜配付					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

近年、都市化・核家族化の影響により地域社会のコミュニティや家庭の形態も多様化してきた。結果、現代において育児と就労の両立の困難、子育て不安、子育ての孤立化、虐待、貧困、ひとり親などが社会問題化してきている。本授業ではそういった背景を踏まえながら、行政による子育て支援システムと、現代において変化を見せる子育て支援について理解・考察をする。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

## 【授業の到達目標】

- ・家庭の背景となる社会実態や社会動向を理解する。
- ・子育て支援の具体的方法とその社会資源を理解する。
- ・子どもの生活環境や生活内容の態様と多様性を理解し柔軟に支援できる視点を持つ。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 保育所の役割と専門性の解説	予習) シラバスの内容・到達目標の把握	0.5時間
		復習) 今後の授業内容についてまとめる	0.5時間
2	保育所の行う子育て支援の特性	予習) 教科書 (p3～33) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
3	保育所における子育て支援とは	予習) 教科書 (p3～33) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
4	子ども・保護者が多様な他者とのかかわる機会や場の提供	予習) 教科書 (p34～37) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
5	支援の計画と環境の構成	予習) 教科書 (p52～58) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
6	支援の実践 (記録・評価・カンファレンス)	予習) 教科書 (p59～62) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
7	職員間の連携と協働	予習) 教科書 (p63～70) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
8	子育て支援における保育者の役割	予習) 教科書 (p80～87) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
9	特別な配慮を要する子どもと家庭への支援① (気になる子や発達障害児への支援)	予習) 教科書 (p105～112) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
10	特別な配慮を要する子どもと家庭への支援② (ひとり親家庭や外国籍課程への支援)	予習) 教科書 (p113～121) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
11	要保護児童家庭に対する支援	予習) 教科書 (p137～140) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
12	児童虐待事例から学ぶ (事例1)	予習) 教科書 (p142～156) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
13	援助を拒む家庭への支援 (事例2)	予習) 教科書 (p157～159) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
14	文化によって多様な子育て支援	予習) 教科書 (p162～170) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
15	子育て支援の現状と課題	予習) 教科書 (p172～177) を読み考察する。	0.5時間
		復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

保育所は単体では存在せず、各社会資源と連携を取り合って日々の保育を行っています。最初のそれらを解説します。そして各関係機関の役割を把握し、各社会資源と連携のとれる保育士になってください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日 5 コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者	
2年前期	こどもと音楽（ピアノⅡ） （H I I G 7 #）			演習	高橋由起・浅野香織・須藤ちひろ 須永多恵子・田部井玲奈	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 【ピアノ曲】 ・ブルグミュラー 25 の練習曲 ・ブルグミュラー 18 の練習曲 ・ソナチネ、ソナタアルバム 他 【童謡集】 ・びっこりーの 他 参考書 教材	
1単位	*	*	*	#		
評価方法・基準						
ピアノ実技試験	童謡弾き歌い試験	—	—	—		
60%	40%	—	—	—		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、「こどもと音楽（ピアノⅠ）」で習得した基本的なピアノ技術を踏まえて、より豊かな表現で演奏するための技術を学ぶ。また、保育者として必要とされる童謡の弾き歌いの様々な表現方法を深めていく。保育の現場における実践へと繋がるように、実習園での曲も同時に習得する。

童謡の弾き歌い課題曲にはマーチ、子守歌をそれぞれ1曲以上含むこととする。

#### 【フィードバックの方法】

それぞれの担当教員との実技レッスンの中で、即時的に演奏のアドバイスや歌唱方法の講評などを通し、フィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・童謡5曲以上を弾き歌いし、実践の場で活用できる。
- ・マーチ、子守歌を2曲以上を弾くことができる。
- ・ピアノ曲を豊かな表現で演奏することができる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	授業概要・到達目標について 評価方法・規定曲数 個別の練習方法について	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。練習計画を作成する。		0.5時間
2	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (めだかの学校・こいのぼり 他 春の歌)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで難しい点を挙げる。		0.5時間
3	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (おべんとうのうた・おかえりのうた 他 生活の歌)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いをメトロノームを使い、付点のリズムが出来ているか確認する。		0.5時間
4	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (どこでねるの・こもりうた 他)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで歌とピアノの強弱のバランスを考えて復習する。		0.5時間
5	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (大きな古時計・あめふりくまのこ 他 6月の歌)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで情景や物語の描写が伝わるように練習する。		0.5時間
6	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (たなばたさま・はたるこい・うみ 他 夏の歌)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、テンポ感と情景の関連について考えながら練習する。		0.5時間
7	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (ふしぎなポケット・せかいじゅうのこどもたちが)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、歌詞が伝わる歌い方について考えながら練習する。		0.5時間
8	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (うちゅうせんのうた・線路は続くよどこまでも 他)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、曲中の掛け声の抑揚について考えながら練習する。		0.5時間
9	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (ぞうさん・アイアイ・犬のおまわりさん 他)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、歌詞の意を強調するための工夫について考えながら練習する。		0.5時間
10	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (さんぽ・君をのせて・小さな世界・ドレミのうた)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、オリジナルの世界観を表現するための工夫について考えながら練習する。		0.5時間
11	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (きのこ・どんぐりころころ・まっかな秋 秋の歌)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで情景を伝える伴奏の弾き方について考えながら練習する。		0.5時間
12	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (北風小僧の寒太郎・コンコンクン 冬の歌)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで曲が活きるテンポ感について考えながら練習する。		0.5時間
13	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (子守歌、マーチ)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、子守歌とマーチの役割とは何かについて考えながら表現する。		0.5時間
14	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (思い出のアルバム・一年生になったら 他)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、半長カラスや半音の時期にどのような声掛けをするかを想定して練習する。		0.5時間
15	ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (試験曲のレッスン)	予習) 課題曲を練習する。		0.5時間
		復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いでこれまでの学びを活かし、選んだ課題曲を十分に表現しながら練習する。		0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

ピアノを弾きながら童謡を歌うという技術はとても特殊で難しい技術です。保育現場を想定して、子どもが歌いやすく、表現しやすい伴奏の音量、曲のテンポ、リードしやすい歌声を考えましょう。ピアノ曲を演奏する際の表現力もさらに深め、実践で活かすことの出来る音楽表現を身につけていきましょう。

【オフィスアワー】専任教員のオフィスアワーは水曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
2年前期		保育教材研究Ⅲ(防災と危機管理) (H I G 1 2 #)			演習	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 (受講者) 赤十字救急法 (受講料 1700 円)	
1単位	—	—	#		参考書 なし	
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度		
—	20%	30%	30%	20%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

防災と危機管理について事例を踏まえて学び、保育に生かす方法について研究する。授業は講義を中心とするが、グループワークやディスカッションを重ねて、災害時等に保育者として子どもたちの命を守る行動をどのようにとればよいかという理論的な理解と、状況に応じて臨機応変に行動できる実践力を身につけられるようにする。

## 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、事例検討、課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・防災と危機管理の方法について学び、実践力を身につける。
- ・幼児の防災教育をどのように進めるかといった内容について理解し、説明できる。

## 【実務経験】

防災士、赤十字救急法指導員、応急手当普及員(消防)の資格を持ち、教育員会で防災教育や放射線教育を担当してきた教員が経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる内容の講義と演習を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 授業の進め方、防災と事故対応の意義について	予習) 防災と事故対応について調べる		1.5時間
		復習) 防災と事故対応の意義についてまとめる		1.5時間
2	災害の種類とその対応 災害の種類について学ぶ	予習) 災害の種類について調べる		1.5時間
		復習) 災害の種類についてまとめる		1.5時間
3	災害とその対応：災害発生時の初期対応について ディスカッションを行う	予習) 災害発生時の初期対応について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
4	事例研究①：阪神淡路大震災を事例として グループワークとディスカッションを行う	予習) 阪神淡路大震災について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
5	事例研究②：令和元年東日本台風を事例として グループワークとディスカッションを行う	予習) 令和元年東日本台風について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
6	事例研究③：東日本大震災を事例として グループワークとディスカッションを行う	予習) 東日本大震災について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
7	危機管理と初期対応：事故発生時の初期対応について ディスカッションを行う	予習) 事故発生時の初期対応について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
8	赤十字救急法を学ぶ：救急員養成講習①	予習) 講習予定内容について確認する。		2時間
		復習) 講習内容についてまとめる		1時間
9	赤十字救急法を学ぶ：救急員養成講習②	予習) 講習予定内容について確認する。		2時間
		復習) 講習内容についてまとめる		1時間
10	赤十字救急法を学ぶ：救急員養成講習③	予習) 講習予定内容について確認する。		2時間
		復習) 講習内容についてまとめる		1時間
11	赤十字救急法を学ぶ：救急員養成講習④	予習) 講習予定内容について確認する。		2時間
		復習) 講習内容についてまとめる		1時間
12	赤十字救急法を学ぶ：救急員養成講習⑤	予習) 講習予定内容について確認する。		2時間
		復習) 講習内容についてまとめる		1時間
13	赤十字救急法を学ぶ：救急員養成講習⑥	予習) 講習予定内容について確認する。		1時間
		復習) 講習内容についてまとめる		2時間
14	赤十字救急法を学ぶ：救急員養成講習⑦／検定試験	予習) 講習予定内容について確認する。		1時間
		復習) 講習内容についてまとめる		2時間
15	総括・保育への活用のまとめ	予習) 研究課題についてまとめる		2時間
		復習) 振り返りを行う		1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

基本的に、事例研究などにより学習を進めていきます。状況に応じてゲストや現場での話を聴く機会を設けたいと考えています。ボランティア活動についても状況に応じて考えているため、協力先の状況に応じて授業の日程に変更などがあるかもしれません。

そのため、特に意欲のある学生に選択してほしいと思います。

【オフィスアワー】オフィスアワーは月曜日 5 コマ目です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉			演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レジュメ	活動内容案	授業態度	
—	—	35%	35%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 文献については受講者の関心等を踏まえて授業内にて指示する 参考書 「中学生からの論文入門」小笠原喜康ほか 講談社 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、造形表現、アート、デザイン、多元的共生社会の実現といった視点から課題に迫っていく。第3回～7回の授業では美術教育、アートに関する文献を読んだ後、受講者同士での意見交換を通して課題探求に必要な基礎的な知識の獲得を目指す。そのために文献の内容をレジュメにまとめる。第8回以降の授業ではグループに分かれ、修学前施設や学園祭等で実施することを想定した子ども向けの造形活動のプランを作成する。

#### 【フィードバックの方法】

文献精読については毎回発表をもとに解説を行う。活動案については適宜アドバイスをし、プレ実施後に講評を行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・自らの意見を持ち、意欲的に討議に参加することができる。
- ・課題解決にむけて各グループで具体的なプランを制作することができる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション	予習) 自分が関心をもっていることについてまとめる		0.5時間
		復習) どのような資料を読みたいか考える		0.5時間
2	自己紹介・資料の検索の仕方・読み方	予習) これまでの資料検索の仕方を振り返る		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
3	文献精読・発表・討議1	予習) 文献の該当部まで読み、内容をまとめる		0.5時間
		復習) 討議を踏まえ自分の考えをまとめる		0.5時間
4	文献精読・発表・討議2	予習) 文献の該当部まで読み、内容をまとめる		0.5時間
		復習) 討議を踏まえ自分の考えをまとめる		0.5時間
5	文献精読・発表・討議3	予習) 文献の該当部まで読み、内容をまとめる		0.5時間
		復習) 討議を踏まえ自分の考えをまとめる		0.5時間
6	文献精読・発表・討議4	予習) 文献の該当部まで読み、内容をまとめる		0.5時間
		復習) 討議を踏まえ自分の考えをまとめる		0.5時間
7	文献精読・発表・討議5	予習) 文献の該当部まで読み、内容をまとめる		0.5時間
		復習) 討議を踏まえ自分の考えをまとめる		0.5時間
8	ワークショップについて、グループでの課題設定	予習) ワークショップについて調べる		0.5時間
		復習) 設定した課題にあった活動を考える		0.5時間
9	グループでの子ども向け造形表現活動内容検討1	予習) 活動を具体化するのに必要なことを調べる		0.5時間
		復習) 検討した結果を踏まえ活動を再考する		0.5時間
10	グループでの子ども向け造形表現活動内容検討2 プレゼン準備	予習) 活動を具体化するのに必要なことを調べる		0.5時間
		復習) プレゼンの準備を行う		0.5時間
11	活動案についてのプレゼンテーション・討議	予習) プレゼンの準備を行う		0.5時間
		復習) 討議の結果をもとに活動を修正する		0.5時間
12	グループでの子ども向け造形表現活動内容検討3 プレ実施準備1	予習) 活動の具体的な進め方考える		0.5時間
		復習) 活動プランを作成する		0.5時間
13	グループでの子ども向け造形表現活動内容検討4 プレ実施準備2	予習) 活動プランを作成する		0.5時間
		復習) プレ実施に向けた準備を行う		0.5時間
14	子ども向け造形表現活動内容のプレ実施	予習) プレ実施に向けた準備を行う		0.5時間
		復習) プレ実施から見えた成果と課題をまとめる		0.5時間
15	プレ実施の振り返りと総合表現Ⅱにむけた説明	予習) 活動の修正案を考える		0.5時間
		復習) 個人の研究テーマを考える		0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

アートは人にはなくてはならない生の技法です。誰もが豊かに暮らせる社会をつくるために、アートやデザインができることとは何かを一緒に考えていきましょう。悩むことを楽しみながら、仲間たちと一緒に探求できる人の履修を期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
レジュメ	発表	研究への取り組み	実技	授業態度	
20%	30%	30%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 文献については受講者の関心等を踏まえて授業内にて指示します					
参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）、保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説（平成30年3月文部科学省・厚生労働省）など					
教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、子どもの理解と援助の視点から課題に迫っていく。第3回～7回の授業では子どもの問題に関する文献を読んでもらった後、受講者同士での意見交換を通して課題探求に必要な専門的な知識の獲得を目指す。そのために文献の内容を文章でまとめもらう。第8回以降の授業では課題を設定し、調査研究を行う。

## 【フィードバックの方法】

作成したレジュメおよび発表内容に関しては授業の中で解説を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・自らの意見をもち、意欲的に討議に参加することができる。
- ・課題解決にむけて具体的なプランを制作することができる。

授 業 計 画		準 備 学 習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション	予習) 各教員のシラバスを読む		1時間
		復習) 研究イメージをつくる		1時間
2	資料の読み方	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる		1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理		1時間
3	文献精読・発表・討議①	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる		1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理		1時間
4	文献精読・発表・討議②	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる		1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理		1時間
5	文献精読・発表・討議③	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる		1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理		1時間
6	文献精読・発表・討議④	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる		1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理		1時間
7	文献精読・発表・討議⑤	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる		1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理		1時間
8	課題設定	予習) 課題について調べる		1時間
		復習) 課題について再考する		1時間
9	活動内容検討①	予習) 課題を踏まえ活動内容を再考する		1時間
		復習) 活動内容を計画する		1時間
10	活動内容検討②	予習) 課題を踏まえ活動内容を再考する		1時間
		復習) 活動内容を計画する		1時間
11	調査・研究①	予習) 調査研究の準備		1時間
		復習) 調査研究の結果のまとめ		1時間
12	調査・研究②	予習) 調査研究の準備		1時間
		復習) 調査研究の結果のまとめ		1時間
13	調査・研究③	予習) 調査研究の準備		1時間
		復習) 調査研究の結果のまとめ		1時間
14	調査・研究内容の討議	予習) 調査研究内容の総まとめ		1時間
		復習) 調査研究内容の考察		1時間
15	調査研究の振り返りと総合表現Ⅱにむけた説明	予習) 調査研究の振り返りをまとめる		1時間
		復習) 授業の全体の感想等をまとめる		1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子どもが抱えるさまざまな問題に向き合い、子どもの最善の利益に着目しながらその援助方法について、仲間と一緒に探求できる人が履修してくれることを期待しています。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉			演習	西 敏 郎
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	—	70%	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことで、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。その為の手法として、この授業では教科書の『子育ての比較文化』を読み込み、内容の解釈・要約をして独自の見解を加えながら順番に発表をする。そして発表（課題）の内容に対して全員でディスカッションを行い、そこから他者の考えをはじめ、学術的な物事の捉え方、技術を身に付ける。

#### 【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

#### 【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・自らの意見を持ち、意欲的にディスカッションに参加することができる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	自己紹介 オリエンテーション この授業の内容と今後の流れについて説明	予習) シラバスの授業内容・到達目標を把握		0.5時間
		復習) 授業内容についてまとめる		0.5時間
2	学術的な物事の捉え方・技術・知識の解説①	予習) 事前に渡した資料の内容をまとめる		0.5時間
		復習) 学術的知識・技術・手順をまとめる		0.5時間
3	学術的な物事の捉え方・技術・知識の解説②	予習) 事前に渡した資料の内容をまとめる		0.5時間
		復習) 学術的知識・技術・手順をまとめる		0.5時間
4	文献精読・発表・ディスカッション① (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅰ部第1章」をまとめる。		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
5	文献精読・発表・ディスカッション② (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅰ部第1章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
6	文献精読・発表・ディスカッション③ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅰ部第2章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
7	文献精読・発表・ディスカッション④ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅰ部第2章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
8	文献精読・発表・ディスカッション⑤ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅰ部第3章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
9	文献精読・発表・ディスカッション⑥ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅰ部第3章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
10	文献精読・発表・ディスカッション⑦ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅱ部第1章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
11	文献精読・発表・ディスカッション⑧ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅱ部第2章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
12	文献精読・発表・ディスカッション⑨ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅲ部第1章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
13	文献精読・発表・ディスカッション⑩ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅲ部第2章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
14	文献精読・発表・ディスカッション⑪ (『子育ての比較文化』)	予習) 教科書「第Ⅲ部第3章」をまとめる		0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる		0.5時間
15	全体のまとめ	予習) 学術的技術・表現の仕方をまとめる		0.5時間
		復習) 自分の研究テーマを考える		0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

すぐに役立つものは、すぐに役立たなくなります。じっくりと時間をかけ、一つ一つを丁寧に組み組みながら小手先ではない本当の知識と技術を身に付けてください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日 5 コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉			演習	林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
レジュメ	発表	研究への取組	実技	授業態度	
30%	30%	20%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）、保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）等 教材 適宜指示します（材料費がかかる場合があります）					

## 授業概要

## 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、子どもの理解と援助の視点から課題に迫っていく。第3回～7回の授業では子どもの問題に関する文献を読んでもらった後、受講者同士での意見交換を通して課題探求に必要な専門的知識の獲得を目指す。第8回以降の授業では課題を設定し、調査研究を行う。研究を学外でおこなうこともある。

## 【フィードバックの方法】

授業内で個別に助言を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・自らの意見を持ち、意欲的に討議に参加することができる。
- ・課題解決にむけて具体的なプランを制作することができる。

## 【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	自己紹介・オリエンテーション	予習) シラバスにて研究イメージをつくる	0.5時間
		復習) 指定された文献を読む	1時間
2	資料の読み方	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる	1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理	1時間
3	文献精読・発表・討議1	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる	1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理	1時間
4	文献精読・発表・討議2	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる	1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理	1時間
5	文献精読・発表・討議3	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる	1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理	1時間
6	文献精読・発表・討議4	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる	1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理	1時間
7	文献精読・発表・討議5	予習) 文献の内容をレジュメにまとめる	1時間
		復習) 討議した内容等をもとにノートを整理	1時間
8	課題設定	予習) 課題について調べる	1時間
		復習) 課題について再考する	1時間
9	活動内容検討1	予習) 課題を踏まえ活動内容を再考する	1時間
		復習) 活動内容を計画する	1時間
10	活動内容検討2	予習) 課題を踏まえ活動内容を再考する	1時間
		復習) 活動内容を計画する	1時間
11	調査・研究1	予習) 調査研究の準備	1時間
		復習) 調査研究の結果のまとめ	1時間
12	調査・研究2	予習) 調査研究の準備	1時間
		復習) 調査研究の結果のまとめ	1時間
13	調査・研究3	予習) 調査研究の準備	1時間
		復習) 調査研究の結果のまとめ	1時間
14	調査・研究内容の討議	予習) 調査研究内容の総まとめ	1時間
		復習) 調査研究内容の考察	1時間
15	調査研究の振り返りと総合表現Ⅱにむけた説明	予習) 調査研究の振り返りをまとめる	1時間
		復習) 授業の全体の感想等をまとめる	1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

自ら学ぶ人を求めています。自分で計画を立て自律的に学習を進められることが必要です。

【オフィスアワー】水曜日の5コマ目

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉			演習	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	—	50%	30%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

教科書  
なし  
参考書  
「つまづかない、転ばない  
奇跡のくねくね体操」 荒木秀夫  
宝島社  
教材  
適宜配布

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関する課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指します。

Motor control (運動行動制御) について研究し、知識を深め、保育技術に生かすことを目的として文献研究をはじめ、さまざまな角度から人間の運動行動について学習し、保育の内容を総合的に捉え、各自 (個人もしくはグループ) のテーマを決めて研究を進める。研究成果を表現の観点を踏まえて発表できるように、発表形式も検討しながら高める。グループワークを中心とした演習形式で行う。

#### 【フィードバックの方法】

事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

#### 【授業の到達目標】

・研究成果を保育の現場で活用することができる。

授業計画		準備学習 (予習・復習)		準備学習時間
1	授業概要、研究内容の検討	予習) 研究課題について調べる		1時間
		復習) 研究課題について調べ検討する		2時間
2	研究内容の検討 グループワークとディスカッション	予習) 研究課題について調べ検討する		2時間
		復習) 研究課題について調べ検討する		1時間
3	研究内容の決定 フィードバック グループワークとディスカッション	予習) 研究課題について調べ検討する		2時間
		復習) ディスカッションの振り返り		1時間
4	論文抄読① グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
5	論文抄読② グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
6	論文抄読③ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
7	論文抄読④ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
8	論文抄読⑤ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
9	論文抄読⑥ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
10	論文抄読⑦ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
11	論文抄読⑧ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
12	研究内容の再検討 グループワークとディスカッション	予習) 研究課題について調べ再検討する		1時間
		復習) ディスカッションの振り返り		2時間
13	研究内容の再検討 グループワークとディスカッション	予習) 研究課題について調べ再検討する		1時間
		復習) ディスカッションの振り返り		2時間
14	研究活動 グループワークとディスカッション	予習) 研究活動を進める		2時間
		復習) 研究活動の振り返り		1時間
15	研究活動 研究の中間発表	予習) 中間発表の準備		2時間
		復習) 中間発表の振り返り		1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

ゼミ形式で研究を進め、知識と技能を身につけていきます。難しい内容も出てくると思います。また、研究内容に伴い、必要に応じて演習や実習などを行うことも考えられるため、授業時間についても、場合によって時間割と別の日程で行う必要も出てくることもあるかもしれません。そのため、特に意欲のある学生に選択してほしいと思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日5コマ目です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉			演習	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	グループワーク	発表	実技	授業態度	
—	40%	40%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書『幼稚園教育要領解説』（文部科学省・2018）『保育所保育指針解説』（厚生労働省・2018）『幼保連携認定こども園教育・保育要領』（文部科学省，厚生労働省・2018） 教材 適宜配布する					

## 授業概要

## 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、言葉に関わる保育の研究テーマを各自の興味・関心をもとに探求していく。言語表現技術、言葉を育む児童文化財、多文化共生保育と言葉などテーマを設定して課題を発見し、先行研究を参照しつつ自分の論を展開していく。また、後半はグループに分かれ保育の言語表現技術に関わる発表に向けたグループワークを行う。

## 【フィードバックの方法】

グループワークや発表に関して授業時にフィードバックを行う。

## 【授業の到達目標】

- ・研究テーマに沿った文献を探して読み、概要をまとめて説明できるようになる。
- ・課題を見つけ解決していく方法を知り、実際に働きかけることができるようになる。
- ・グループで意見を交わしながら一つの課題に協力して取り組めるようになる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション・自己紹介	予習) 言語に関する自分の研究テーマを考える		0.5時間
		復習) 興味のあることについて下調べをする		0.5時間
2	文献の探し方、読み方、	予習) 文献の探し方について調べる		0.5時間
		復習) 指定された論文を入手し、読む		0.5時間
3	文献のまとめ方	予習) 論文を読みその枠組みを把握する		0.5時間
		復習) 論文の概要をまとめる		0.5時間
4	文献講読 (1) タイトル、章立てについて	予習) 論文のタイトルや章立ての特徴を考える		0.5時間
		復習) 発表内容の構想とタイトルを考える		0.5時間
5	文献講読 (2) 論の構成	予習) 論文の構成の骨子をとらえる		0.5時間
		復習) 発表内容の構成を考える		0.5時間
6	文献講読 (3) 引用文献の活用方法	予習) 発表内容に関連する文献を探す		0.5時間
		復習) 参考文献一覧を作成する		0.5時間
7	文献講読 (4) 論文のレビューについて	予習) 参考文献一覧の論文を入手する		0.5時間
		復習) 参考文献一覧の論文を読み、まとめる		0.5時間
8	文献講読 (5) 論文の形式とは	予習) 論文の形式をまとめる		0.5時間
		復習) 発表資料の枠組みと形式を作成する		0.5時間
9	グループワーク・課題の設定	予習) 自分の発表構想をまとめる		0.5時間
		復習) 他学生の課題の内容をまとめる		0.5時間
10	グループワーク・発表計画案の作成	予習) 発表計画の内容を考える		0.5時間
		復習) 他学生の発表計画内容をまとめる		0.5時間
11	グループワーク・発表のプレゼン	予習) 発表資料の構想をする		0.5時間
		復習) 発表資料を作成する		0.5時間
12	グループワーク・計画の再検討、準備	予習) 発表資料の準備をする		0.5時間
		復習) 計画を再検討し、資料を修正する		0.5時間
13	発表の準備、検討	予習) 発表の練習をする		0.5時間
		復習) フィードバックをもとに資料を再検討する		0.5時間
14	発表	予習) 発表資料、発表原稿を準備する		0.5時間
		復習) 他学生の発表内容をまとめる		0.5時間
15	まとめと振り返り、総合表現Ⅱに向けて	予習) 他学生の発表内容を評価する		0.5時間
		復習) 発表内容を振り返り、まとめる		0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

2年間の学びをふまえ、自らテーマを設定し研究を行います。総合表現Ⅰでは、基礎的な文献リファレンス、論文購読、レビューなどを行い、研究論文の執筆準備をします。また、個々人でテーマに基づいた発表を行います。自分の興味関心が合致しているかよく確認してから受講してください。キーワードは言語獲得・言語発達、言語と情報保障、言語と多様性、言語と児童文化財です。

【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉			演習	池田法子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	グループワーク	課題	実技	授業態度	
—	30%	50%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）、保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説（平成30年3月文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜配布					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、障害児教育、障害者支援、社会教育・生涯学習、教育福祉といった観点から課題に迫っていく。文献講読を行いながら、各自の課題（「問い」）を設定していく。

#### 【フィードバックの方法】

グループワークやディスカッション、発表を主に行い、随時フィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握し、レジュメにまとめることができる。
- ・自らの意見を持ち、意欲的に討議に参加することができる。
- ・自ら課題を設定し、計画的に探究することができる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	自己紹介・オリエンテーション	予習	シラバスを読む	0.5時間
		復習	興味のあることについて調べする	0.5時間
2	資料の検索の仕方、読み方	予習	資料の検索の仕方について調べる	0.5時間
		復習	資料の検索の仕方についてまとめる	0.5時間
3	文献精読・発表・討議①	予習	文献を読み、レジュメを作成する	0.5時間
		復習	ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
4	文献精読・発表・討議②	予習	文献を読み、レジュメを作成する	0.5時間
		復習	ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
5	文献精読・発表・討議③	予習	文献を読み、レジュメを作成する	0.5時間
		復習	ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
6	文献精読・発表・討議④	予習	文献を読み、レジュメを作成する	0.5時間
		復習	ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
7	文献精読・発表・討議⑤	予習	文献を読み、レジュメを作成する	0.5時間
		復習	ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
8	参考文献の引用方法	予習	参考文献の引用方法を調べる	0.5時間
		復習	ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
9	課題設定	予習	関心のある内容について考える	0.5時間
		復習	関心のある内容について調べる	0.5時間
10	調査・研究①	予習	課題について調べる	0.5時間
		復習	調べた内容をまとめる	0.5時間
11	調査・研究②	予習	課題について調べる	0.5時間
		復習	調べた内容をまとめる	0.5時間
12	調査・研究③	予習	課題について調べる	0.5時間
		復習	調べた内容をまとめる	0.5時間
13	調査・研究④	予習	課題について調べる	0.5時間
		復習	調べた内容をまとめる	0.5時間
14	調査・研究⑤	予習	課題について調べる	0.5時間
		復習	調べた内容をまとめる	0.5時間
15	振り返り	予習	調査・研究について振り返る	0.5時間
		復習	授業の感想等をまとめる	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

一人ひとりと対話を行いながら、テーマ選定や問いを立てる作業を丁寧に行いたいと考えています。  
**【オフィスアワー】** 月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	総合表現Ⅰ (H I G 1 3 #)			演習	高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
平常試験	定期試験	実技発表	研究内容	授業態度	
—	—	50%	40%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 ピアノ教本、童謡集等、受講者のレベルに応じて適宜指示します。					
参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)など					
教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します					

## 授業概要

## 【授業の内容・方法】

保育に関する課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、音楽作品がどのような経緯で作曲され、どう表現されることが一番楽曲が活きるのかを理論と実践の両面から研究、考察していく。

各自研究する曲を決め、作曲家(或いは作詞者)や楽曲について文献や資料を元に調べ、まとめる。それを踏まえた上でどう演奏されるべきなのか、実際に演奏することで表現を深め、研究成果発表とする。

## 【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・調べた内容を元に、楽曲の表現について深く考えることができる。
- ・表現を伴って楽器を演奏することができる。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	自己紹介・オリエンテーション	予習) 自分が表現したい曲をリストアップする		0.5時間
		復習) 文献についてまとめる		0.5時間
2	楽曲にまつわる研究内容について	予習) 選曲した課題曲を練習する		0.5時間
		復習) 必要な文献をリストアップする		0.5時間
3	作曲家(或いは作詞家)についての調べ方	予習) 作曲家に関する文献を読む		0.5時間
		復習) 作曲家についてポートフォリオでまとめる		0.5時間
4	作曲家(或いは作詞家)の人生、交友関係、人物について	予習) 作曲家に関する文献を読む		0.5時間
		復習) 学んだ内容をポートフォリオに追加する		0.5時間
5	課題曲が作曲された時代について	予習) 必要な文献を集め、目を通しておく		0.5時間
		復習) 曲に関してのポートフォリオをまとめる		0.5時間
6	課題曲が作曲された目的やその背景について	予習) 必要な文献を集め、目を通しておく		0.5時間
		復習) 学んだ内容をポートフォリオに追加する		0.5時間
7	実技演習1: 楽譜を読み解く	予習) 選曲した課題曲の楽譜を細部まで見て練習しておく		0.5時間
		復習) 楽譜で見落とししていた部分についてまとめる		0.5時間
8	実技演習2: 楽語や強弱記号の意図するところ	予習) 課題曲内の楽語や強弱記号をチェックし、意味を調べておく		0.5時間
		復習) 曲の中で意図された記号についてまとめる		0.5時間
9	実技演習3: 課題曲のまとめ	予習) 実技演習1・2を踏まえた解釈で曲を練習しておく		0.5時間
		復習) 意図された内容が音になるためにはどうしたら良いかまとめる		0.5時間
10	実技演習4: 発表① 意見交換	予習) 発表の準備を行う		0.5時間
		復習) 自身の発表に向けて活かせる内容をまとめる		0.5時間
11	実技演習5: 発表② 意見交換	予習) 発表の準備を行う		0.5時間
		復習) 自身の演奏に活かせる内容をまとめる		0.5時間
12	実技演習6: 発表③ 意見交換	予習) 発表の準備を行う		0.5時間
		復習) 全体の発表を終えた上でもう一度課題曲を演奏する		0.5時間
13	保育現場における音楽表現の重要性について	予習) 保育現場での音楽表現の問題点を調べる		0.5時間
		復習) 現場で必要な音楽表現についてまとめる		0.5時間
14	課題曲を用いた表現の可能性について	予習) 前期に選曲した課題曲を復習しておく		0.5時間
		復習) 深められた表現について楽譜にまとめておく		0.5時間
15	前期の振り返りと後期課題曲、総合表現Ⅱに向けて	予習) 楽曲の研究方法についてまとめておく		0.5時間
		復習) 個人の研究テーマを考える		0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

音楽は時間と共に消えてしまう芸術です。では何故素晴らしい音楽や演奏は人の心に残るのでしょうか。人は何に感動しているのでしょうか?子ども達に音楽を通して伝えられる事は何なのでしょう?全ては「音楽」を紐解くところから始まります。実技レベルは問いませんが、意欲があり、変化を楽しむことの出来る人の受講を期待します。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ ( H I I G 1 4 # )			演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「中学生からの論文入門」小笠原喜康ほか 講談社 各自の研究課題に応じて適宜指示する 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	レポート	報告書	成果発表	授業態度	
—	10%	30%	50%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、造形表現、アート、デザイン、多角的共生社会の実現といった視点から課題に迫っていく。保育に関わる研究課題を自ら設定した後、研究計画を立て、それにそって研究を進めていく。

各自で設定した課題に合わせて、制作や造形表現活動のプラン制作、文献調査等を通して解決を目指していく。研究の成果については、報告書にまとめると共に、それをもとに成果発表会においてポスター発表や口頭発表の形式で発表する。また成果発表会へ参加した感想等を、レポートとして提出してもらおう。成果発表はテストと同じ扱いとし参加を必須とする。

#### 【フィードバックの方法】

それぞれの研究内容について適宜進行状況の確認とアドバイスをする。予行演習後に講評を行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する課題を設定し、その解決に向けて計画的に研究活動に取り組むことができる。
- ・自ら研究してきた内容を報告書としてまとめることができる。
- ・研究成果を魅力的に伝えるために、スライドやポスターのデザイン等を工夫できる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	研究課題について討議、研究計画立案	予習) 研究課題を決定し先行研究について調べる		0.5時間
		復習) 研究計画を立案完成させる		1時間
2	各研究内容に応じて制作・プラン作成等1	予習) 研究内容に応じて調査・準備をする		0.5時間
		復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う		0.5時間
3	各研究内容に応じて制作・プラン作成等2	予習) 研究内容に応じて調査・準備をする		0.5時間
		復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う		0.5時間
4	各研究内容に応じて制作・プラン作成等3 進行状況の報告1	予習) 研究内容に応じて調査・準備をする		0.5時間
		復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う		0.5時間
5	各研究内容に応じて制作・プラン作成等4 進行状況の報告2	予習) 研究内容に応じて調査・準備をする		0.5時間
		復習) 中間報告用の資料を作成する		1時間
6	中間報告・討議1	予習) 中間報告用のスライドを作成する		1時間
		復習) 自分の研究計画を修正する		0.5時間
7	各研究内容に応じて制作・プラン作成等5 進行状況の報告3	予習) 研究内容に応じて調査・準備をする		0.5時間
		復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う		0.5時間
8	各研究内容に応じて制作・プラン作成等6 進行状況の報告4	予習) 研究内容に応じて調査・準備をする		0.5時間
		復習) 中間報告用の資料を作成する		1時間
9	中間報告・討議2	予習) 中間報告用のスライドを作成する		1時間
		復習) 自分の研究計画を修正する		0.5時間
10	プレゼン資料作成1	予習) 研究内容に応じて調査・準備をする		1時間
		復習) 報告書の修正を行う		1時間
11	プレゼン資料作成2	予習) プレゼン資料を制作する		1時間
		復習) 報告書の修正を行う		1時間
12	プレゼン資料作成3	予習) プレゼン資料を制作する		1時間
		復習) 報告書の修正を行う		1時間
13	成果発表会予行演習（授業内成果発表会）	予習) プレゼン資料を制作する		1時間
		復習) 予行演習の結果からスライドを修正する		1時間
14	プレゼン資料作成4	予習) プレゼン資料のデザインを調整する		1時間
		復習) 成果発表会の発表準備をする		1時間
15	講評・まとめ	予習) 成果発表会の成果と課題についてまとめる		0.5時間
		復習) 研究活動の成果と課題についてまとめる		0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

短期大学での学びの集大成として、自ら課題を見つけそれを探求していきましょう。本授業においては作品制作や活動案の作成を行うことは目的ではなく、課題探求の手段として位置づけられます。そのため美術に関する高い技能は必要ありません。自ら設定した課題解決に向けて、計画的に、途中で投げ出すことなく粘り強く取り組める人の履修を期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ 〈 H I I G 1 4 # 〉			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
レジュメ	成果発表	研究への取り組み	実技	課題	
10%	50%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 文献については受講者の関心等を踏まえて授業内にて指示します					
参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)など					
教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、子どもの理解と援助の視点から課題に迫っていく。保育に関わる研究課題を自ら設定し、研究計画を立案し、それにそって研究を進めていく。個人で解決を目指す課題を設定し、それに合わせた調査・研究活動のプラン制作、文献調査等を通して解決を目指していく。研究の成果については、成果発表会においてポスター発表や口頭発表の形式で発表する。成果発表はテストと同じ扱いとし、参加を必須とする。成果発表会へ参加した感想等を、レポートとして提出してもらおう。

## 【フィードバックの方法】

研究計画や進行状況・中間報告・プレゼンについては授業の中でフィードバックする。

## 【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する課題を設定し、その解決に向けて計画的に研究活動に取り組むことができる。
- ・自ら研究してきた内容を簡潔にまとめ、わかりやすい発表をすることができる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	研究課題について討議、研究計画立案	予習) 先行研究をまとめる		1時間
		復習) 研究計画を完成させる		1時間
2	各研究内容に応じて制作・プラン作成等①	予習) 研究内容の準備		1時間
		復習) 研究内容をまとめる		1時間
3	各研究内容に応じて制作・プラン作成等②	予習) 研究内容の準備		1時間
		復習) 研究内容をまとめる		1時間
4	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告①	予習) 研究内容の準備		1時間
		復習) 研究内容をまとめる		1時間
5	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告②	予習) 研究内容の準備		1時間
		復習) 研究内容をまとめる		1時間
6	中間報告・討議①	予習) 研究内容配布資料の準備と発表の準備		1時間
		復習) 討議した内容等をもとに計画の見直し		1時間
7	中間報告・討議②	予習) 研究内容配布資料の準備と発表の準備		1時間
		復習) 討議した内容等をもとに計画の見直し		1時間
8	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告③	予習) 研究内容の準備		1時間
		復習) 研究内容をまとめる		1時間
9	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告④	予習) 研究内容の準備		1時間
		復習) 研究内容をまとめる		1時間
10	プレゼン資料作成①	予習) プレゼン資料作成の準備		1時間
		復習) プレゼン資料の再考		1時間
11	プレゼン資料作成②	予習) プレゼン資料作成の準備		1時間
		復習) プレゼン資料の再考		1時間
12	プレゼン資料作成③	予習) プレゼン資料作成の準備		1時間
		復習) プレゼン資料の再考		1時間
13	プレゼン資料作成④	予習) プレゼン資料作成の準備		1時間
		復習) プレゼン資料の再考		1時間
14	プレゼンリハーサル①	予習) 発表の準備		1時間
		復習) プレゼン資料の再考および修正		1時間
15	プレゼンリハーサル② 講評・まとめ	予習) プレゼン資料を完成させる		1時間
		復習) 講評を基に発表本番に向けて発表練習		1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

短期大学での学びの集大成として自ら課題を見つけそれを探求していきましょう。自らみつけた課題解決に向けて、途中で投げ出すことなく粘り強く取り組める人が履修してくれることを期待しています。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ 〈 H I I G 1 4 # 〉			演習	西 敏 郎
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	成果発表	授業態度	
—	—	30%	50%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことで、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では「総合表現Ⅰ」で修得した学術的な捉え方・技術を用いて、自身の関心ある問題に対してアプローチする。その研究成果は、成果発表会において口頭発表の形式で発表する。また成果発表会はテストと同じ扱いとし参加を必須とする。

#### 【フィードバックの方法】

成果発表会へ参加した感想等をレポートとして提出してもらう。レポートは授業の最終回でフィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する課題を設定し、その解決に向けて計画的に研究活動に取り組むことができる。
- ・自ら研究してきた内容を学術的にまとめることができる。
- ・研究成果・概念・考えを伝える為の技術や手法を身に付けることができる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
1	研究課題についてのディスカッション、研究計画立案	予習) シラバスの授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
2	各研究内容を報告・ディスカッション①	予習) 研究テーマについて整理する	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
3	各研究内容を報告・ディスカッション②	予習) 研究テーマについて整理する	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
4	各研究内容を報告・ディスカッション③	予習) 研究テーマについて整理する	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
5	各研究内容を報告・ディスカッション④	予習) 研究テーマについて整理する	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
6	各研究内容を報告・ディスカッション⑤	予習) 研究テーマについて整理する	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
7	各自 中間報告 ディスカッション	予習) 研究テーマの発表準備をする	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
8	各研究内容に応じて、プラン作成・進行状況の報告①	予習) 今後のスケジュールを作成する	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
9	各研究内容に応じて、プラン作成・進行状況の報告②	予習) 今後のスケジュールを作成する	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
10	成果発表会 資料作成①	予習) 発表の準備をする	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
11	成果発表会 資料作成②	予習) 発表の準備をする	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
12	成果発表会 資料作成③	予習) 発表の準備をする	0.5時間
		復習) ディスカッションの内容をまとめる	0.5時間
13	成果発表会 準備①	予習) 発表の総仕上げを行う	0.5時間
		復習) 改善点を踏まえ内容の修正を行う。	0.5時間
14	成果発表会 準備②	予習) 発表の総仕上げを行う	0.5時間
		復習) 改善点を踏まえ内容の修正を行う。	0.5時間
15	講評・まとめ	予習) 発表の質問事項について検討する。	0.5時間
		復習) 今後の改善点をまとめる	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

「総合表現Ⅰ」で修得した学術的な知識と技術を用いて、今度は自分の関心ある問題にトライしてください。きっとこれまで見えなかったものが見え、気づけなかったものに気づけるとと思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日 5 コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ 〈 H I I G 1 4 〉			演習	林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
レジュメ	発表	研究への取組	実技	レポート	
30%	30%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）、保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）等 教材 適宜指示します（材料費がかかる場合があります）					

## 授業概要

## 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、子どもの理解と援助の視点から課題に迫る。保育に関わる研究課題を自ら設定し、研究計画を立案し、それにそって研究を進める。個人で解決を目指す課題を設定し、それに合わせた調査・研究活動のプラン制作、文献調査等を通して解決を目指す。研究の成果については、成果発表会においてポスター発表や口頭発表の形式で発表する。成果発表会へ参加した感想等を、レポートとして提出する。研究を学外でおこなうこともある。

## 【フィードバックの方法】

授業内で個別に助言を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する課題を設定し、その解決に向けて計画的に研究活動に取り組むことができる。
- ・自ら研究してきた内容を簡潔にまとめ、わかりやすい発表をすることができる。

## 【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	研究課題について討議、研究計画立案	予習) 先行研究をまとめる	1時間
		復習) 研究計画を完成させる	1時間
2	各研究内容に応じて制作・プラン作成等	予習) 研究内容の準備	1時間
		復習) 研究内容をまとめる	1時間
3	各研究内容に応じて制作・プラン作成等	予習) 研究内容の準備	1時間
		復習) 研究内容をまとめる	1時間
4	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告	予習) 研究内容の準備	1時間
		復習) 研究内容をまとめる	1時間
5	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告	予習) 研究内容の準備	1時間
		復習) 研究内容をまとめる	1時間
6	中間報告・討議①	予習) 研究内容配布資料の準備と発表の準備	1時間
		復習) 討議した内容等をもとに計画の見直し	1時間
7	中間報告・討議②	予習) 研究内容配布資料の準備と発表の準備	1時間
		復習) 討議した内容等をもとに計画の見直し	1時間
8	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告	予習) 研究内容の準備	1時間
		復習) 研究内容をまとめる	1時間
9	各研究内容に応じて制作・プラン作成等・進行状況の報告	予習) 研究内容の準備	1時間
		復習) 研究内容をまとめる	1時間
10	プレゼン資料作成①	予習) プレゼン資料作成の準備	1時間
		復習) プレゼン資料の再考	1時間
11	プレゼン資料作成②	予習) プレゼン資料作成の準備	1時間
		復習) プレゼン資料の再考	1時間
12	プレゼン資料作成③	予習) プレゼン資料作成の準備	1時間
		復習) プレゼン資料の再考	1時間
13	プレゼン資料作成④	予習) プレゼン資料作成の準備	1時間
		復習) プレゼン資料の再考	1時間
14	プレゼンリハーサル①	予習) 発表の準備	1時間
		復習) プレゼン資料の再考および修正	1時間
15	プレゼンリハーサル② 講評・まとめ	予習) プレゼン資料を完成させる	1時間
		復習) 講評を基に発表本番に向けて発表練習	1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

自ら学ぶ人を求めています。自分で計画を立て自律的に学習を進められることが必要です。

【オフィスアワー】水曜日の5コマ目



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ 〈 H I I G 1 4 # 〉			演習	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	成果発表	実技	授業態度	
—	—	50%	30%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

教科書  
なし  
参考書  
「つまづかない、転ばない  
奇跡のくねくね体操」 荒木秀夫  
宝島社  
教材  
適宜配布

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指します。

Motor control (運動行動制御) について研究し、知識を深め、保育技術に生かすことを目的として文献研究をはじめ、さまざまな角度から人間の運動行動について学習し、保育の内容を総合的に捉え、各自(個人もしくはグループ)のテーマを決めて研究を進める。研究成果を表現の観点を踏まえて発表できるよう、発表形式も検討しながら高める。グループワークを中心とした演習形式で行う。

成果発表はテストと同じ扱いとし参加を必須とする。

#### 【フィードバックの方法】

事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・研究成果を保育の現場で活用することができる。
- ・研究成果の内容に応じて、適切な方法で発表することができる。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	授業概要、研究内容の確認	予習) 研究課題について確認する		1時間
		復習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
2	論文抄読⑨ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
3	論文抄読⑩ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
4	論文抄読⑪ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
5	論文抄読⑫ グループワークとディスカッション	予習) 抄読会の準備と研究活動		2時間
		復習) 抄読会の振り返りと研究活動		1時間
6	研究活動 個別研究とグループワーク	予習) 研究活動を進める		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと研究活動		1時間
7	研究活動 個別研究とグループワーク	予習) 研究活動を進める		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと研究活動		1時間
8	研究活動 個別研究とグループワーク	予習) 研究活動を進める		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと研究活動		1時間
9	研究活動 個別研究とグループワーク	予習) 研究活動を進める		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと研究活動		1時間
10	研究活動 個別研究とグループワーク	予習) 研究活動を進める		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと研究活動		1時間
11	研究のまとめ 発表練習、グループワークとディスカッション	予習) 研究のまとめと発表準備		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと発表準備		1時間
12	研究のまとめ 発表練習、グループワークとディスカッション	予習) 研究のまとめと発表準備		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと発表準備		1時間
13	研究のまとめ 発表準備	予習) 研究のまとめと発表準備		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと発表準備		1時間
14	研究のまとめ 発表準備	予習) 研究のまとめと発表準備		2時間
		復習) ディスカッションの振り返りと発表準備		1時間
15	研究活動の総括	予習) 発表の準備		2時間
		復習) 発表の振り返り		1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

ゼミ形式で研究を進め、知識と技能を身につけていきます。難しい内容も出てくると思います。また、研究内容に伴い、必要に応じて演習や実習などを行うことも考えられるため、授業時間についても、場合によって時間割と別の日程で行う必要も出てくることもあるかもしれません。そのため、特に意欲のある学生に選択してほしいと思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日5コマ目です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ ( H I I G 1 4 # )			演習	中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	グループワーク	成果発表	実技	授業態度	
—	30%	50%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書『幼稚園教育要領解説』(文部科学省・2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省・2018)『幼保連携認定こども園教育・保育要領』(文部科学省, 厚生労働省・2018) 教材 適宜配布する					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

この授業では「言葉」をキーワードに、言語表現技術や保育と言葉との関連等について、各自の興味・関心・問題意識をもとに研究テーマを設定し、探求していく。取り扱うことのできるテーマは、子どもの言語獲得・言語発達、保育と情報保障(点字、手話、情報機器を活用した言葉の支援、外国籍の子どもへの言語対応、その他多様な背景を持つ子どもへの言葉とコミュニケーションの支援)、領域「言葉」に関連する児童文化財研究等である。研究に際しては自ら研究計画を作成し、調査や討論を通して基礎的な研究方法や発表方法を身に付け、グループワークの中でピアレビュー等も行う。研究の成果については、成果発表会においてポスター発表や口頭発表の形式で発表する。

## 【フィードバックの方法】

グループワークや発表に関して授業時にフィードバックを行う。

## 【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する研究課題を設定し、解決に向けて基礎的な研究・調査方法を知り研究を遂行することができる。
- ・研究内容を分かりやすくまとめ、効果的な発表資料を作成できるようになる。
- ・研究成果をまとめ、基本的な形式にしたがって発表や文章化ができる。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション、計画説明	予習) 自らの研究課題を検討する	0.5時間
		復習) 研究計画の構想をする	0.5時間
2	調査・研究方法について	予習) 研究課題に必要な調査を検討する	0.5時間
		復習) 調査・研究方法について検討する	0.5時間
3	研究計画の作成	予習) 調査・研究方法をまとめる	0.5時間
		復習) 研究計画書を作成する	0.5時間
4	研究計画の討議・検討	予習) 研究計画書を読み直す	0.5時間
		復習) 研究計画書の手直しをする	0.5時間
5	研究計画報告発表	予習) 研究計画報告の準備をする	0.5時間
		復習) 他学生の研究計画にコメントをする	0.5時間
6	研究計画報告・質疑応答	予習) 他学生のコメントを読み応答を考える	0.5時間
		復習) 質疑を受けて研究計画を再検討する	0.5時間
7	発表資料作成 (1) 発表方法の計画	予習) 発表ツール・方法を検討し、選択する	0.5時間
		復習) フィードバックを受けて資料を手直しする	0.5時間
8	発表資料作成 (2) 本文作成	予習) 研究にあたっての疑問点等をまとめる	0.5時間
		復習) フィードバックを受けて資料を手直しする	0.5時間
9	発表資料作成 (3) 参考文献の精査	予習) 参考文献一覧の見直しをする	0.5時間
		復習) フィードバックを受けて資料を手直しする	0.5時間
10	中間報告 (1)	予習) 他学生の研究計画を見直す	0.5時間
		復習) 他学生の発表にコメントをする	0.5時間
11	中間報告 (2)	予習) 他学生の研究計画を見直す	0.5時間
		復習) コメントをもとに発表資料を修正する	0.5時間
12	グループワーク 中間報告検討	予習) 他学生の発表の講評を考える	0.5時間
		復習) 講評を受けて発表内容を検討する	0.5時間
13	発表資料の修正	予習) 講評を受けて発表資料を見直す	0.5時間
		復習) 発表資料を完成させる	0.5時間
14	発表内容の確認	予習) 質疑の対応を検討する	0.5時間
		復習) 予想される質疑への応答を考える	0.5時間
15	まとめと振り返り	予習) これまでの授業内容を振り返る	0.5時間
		復習) 発表会に向けての準備をする	0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

2年間の学びをふまえ、自らテーマを設定し研究を行います。総合表現Ⅰでは、基礎的な文献リファレンス、論文購読、レビューなどを行い、研究論文の執筆準備をします。また、個々人でテーマに基づいた発表を行います。自分の興味関心が合致しているかよく確認してから受講してください。キーワードは言語獲得・言語発達、言語と情報保障、言語と多様性、言語と児童文化財です。

【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ 〈 H I I G 1 4 # 〉			演習	池田法子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	グループワーク	成果発表	実技	授業態度	
—	30%	50%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）、保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説（平成30年3月文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜配布					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。障害児教育、障害者支援、社会教育・生涯学習、教育福祉といった観点から課題に迫っていく。自ら設定した課題について調査・研究を行い、研究成果を成果発表会で発表する。成果発表会はテストと同じ扱いとし参加を必須とする。

#### 【フィードバックの方法】

グループワークやディスカッション、発表を主に行い、随時フィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・自ら研究課題を設定し、計画的に研究活動に取り組むことができる。
- ・研究してきた内容を簡潔にまとめ、分かりやすい発表をすることができる。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	研究計画の立案・報告	予習)	研究計画を考える	0.5時間
		復習)	研究計画を修正する	0.5時間
2	各研究内容に応じて制作、プラン作成、進行状況の報告①	予習)	研究内容の準備	0.5時間
		復習)	研究内容をまとめる	0.5時間
3	各研究内容に応じて制作、プラン作成、進行状況の報告②	予習)	研究内容の準備	0.5時間
		復習)	研究内容をまとめる	0.5時間
4	各研究内容に応じて制作、プラン作成、進行状況の報告③	予習)	研究内容の準備	0.5時間
		復習)	研究内容をまとめる	0.5時間
5	各研究内容に応じて制作、プラン作成、進行状況の報告④	予習)	研究内容の準備	0.5時間
		復習)	研究内容をまとめる	0.5時間
6	各研究内容に応じて制作、プラン作成、進行状況の報告⑤	予習)	研究内容の準備	0.5時間
		復習)	研究内容をまとめる	0.5時間
7	中間報告	予習)	中間報告の準備	0.5時間
		復習)	報告内容をまとめる	0.5時間
8	発表資料作成①	予習)	発表資料作成の準備	0.5時間
		復習)	発表資料の再考	0.5時間
9	発表資料作成②	予習)	発表資料作成の準備	0.5時間
		復習)	発表資料の再考	0.5時間
10	発表資料作成③	予習)	発表資料作成の準備	0.5時間
		復習)	発表資料の再考	0.5時間
11	発表資料作成④	予習)	発表資料作成の準備	0.5時間
		復習)	発表資料の再考	0.5時間
12	発表資料作成⑤	予習)	発表資料作成の準備	0.5時間
		復習)	発表資料の再考	0.5時間
13	成果発表会 準備①	予習)	発表の準備	0.5時間
		復習)	発表資料の再考および準備	0.5時間
14	成果発表会 準備②	予習)	発表の準備	0.5時間
		復習)	発表資料を完成させる	0.5時間
15	まとめと振り返り	予習)	これまでの授業内容を振り返る	0.5時間
		復習)	振り返りの内容をまとめる	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

みなさんの自由な発想で、オリジナリティのある研究成果をまとめることを期待します。

【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	総合表現Ⅱ ( H I I G 1 4 # )			演習	高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	*	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	平常試験	実技発表	研究内容	授業態度	
—	—	50%	40%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 各自適宜楽譜準備すること					
参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)など 各自の研究課題に応じて適宜指示します					
教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、音楽作品がどのような経緯で作曲され、どう表現されることが一番楽曲が活きるのかを理論と実践の両面から研究、考察していく。

総合表現Ⅰの授業を踏まえ、連弾や合奏曲に挑戦し、相手と共に音楽を表現していくことをの意義を体感する。

研究方法については既に前期に学んでいるため、実技での表現方法を深めるために、実技実践を中心に展開する。

## 【授業の到達目標】

- ・ 楽曲の背景や作曲家の思いを理解して表現方法を考えることが出来る
- ・ 表現を伴って演奏することが出来る
- ・ 音楽を通して子どもたちへ伝えたいことを自分の言葉で表現することが出来る

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	課題曲について 連弾または合奏のグループわけ	予習) 取り組んでみたい楽曲をリストアップする	復習) 課題曲に関する文献についてまとめる	0.5時間 1時間
2	課題曲の作曲家について調べる 実践練習①	予習) 分担された内容の文献を準備する	復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う	0.5時間 0.5時間
3	楽曲の背景について調べる 実践演習②	予習) 分担された内容の文献を準備する	復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う	0.5時間 0.5時間
4	実技演習③	予習) 課題曲を練習する	復習) 課題曲を復習し、練習を続ける	0.5時間 0.5時間
5	実技演習④	予習) 課題曲を練習する	復習) 自身の課題を明確化し、まとめる	0.5時間 1時間
6	実技演習⑤	予習) 課題曲を練習する	復習) 相手と合わせることの意義についてまとめる	0.5時間 0.5時間
7	中間発表	予習) 調べた内容を精査し、課題曲を練習する	復習) 連弾。合奏することの意義をまとめる	0.5時間 0.5時間
8	個人の課題曲について研究する①	予習) 個人の課題曲を選曲する	復習) 調べた内容についてまとめる	0.5時間 1時間
9	個人の課題曲について研究する②	予習) 課題曲を練習する	復習) 調べた内容をどう実技に活かせるかまとめる	1時間 0.5時間
10	プレゼン資料作成1 実技実践⑥	予習) 課題曲を練習する	復習) プレゼン資料の修正をする	0.5時間 1時間
11	プレゼン資料作成2 実技実践⑦	予習) 課題曲を練習する	復習) プレゼン資料の修正をする	1時間 1時間
12	プレゼン資料作成3 実技実践⑧	予習) 課題曲を練習する	復習) プレゼン資料のまとめをする	1時間 1時間
13	成果発表会予行演習(授業内成果発表会)	予習) プレゼンから演奏までの流れを練習する	復習) 予行演習を踏まえて修正する	1時間 0.5時間
14	プレゼン資料作成4 実技実践⑨	予習) 課題曲を練習する	復習) 成果発表会の流れで練習する	0.5時間 0.5時間
15	講評・まとめ	予習) 成果発表会の成果と課題についてまとめる	復習) 研究活動の成果と課題についてまとめる	0.5時間 0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

楽譜から読み解く音楽がこんなにも素晴らしく、奥深いこと。演奏することとは何か、表現することとは何か、などを音楽の垣根を超えて総合的に学ぶ時間になると思います。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	レクリエーション理論 ( H I G 1 5 # )			講義	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	
—	70%	—	30%	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「楽しさをとおした心の元気づくり」(公益社団法人日本レクリエーション協会 1800円+税) 参考書 レクリエーション支援の方法1(公益社団法人日本レクリエーション協会 800円+税) 教材 適宜配布					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

レクリエーション活動という言葉の趣旨を理解し、有効に活用するための理論と方法を身に付ける。授業形態は、講義を中心に、演習やグループワーク等を取り入れて行う。

#### 【フィードバックの方法】

授業の中でその都度講評や解説を行いフィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・レクリエーション・インストラクターの役割を理解し、説明できる。
- ・対象者のライフステージに即したレクリエーション支援を立案できる。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション レクリエーション概論	予習) 実技で配られた資料等の内容を再確認		1時間
		復習) 教科書の第1章をまとめる		3時間
2	楽しさを通した心の元気づくり (フロー理論とマズローの欲求)	予習) マズローの欲求五段階説を調べる		1時間
		復習) 授業で学んだことをまとめる		3時間
3	レク活動を心の元気作りに活かす2つの視点	予習) インストラクターの役割についてディスカッション		1時間
		復習) 教科書の第2章をまとめる		3時間
4	ライフステージごとの心の元気作り (子ども・高齢者・障がい者)	予習) ライフステージについて考える		1時間
		復習) ライフステージごとの元気づくりを考える		3時間
5	地域のきずなづくりとレクリエーション	予習) 地域で行われているレクリエーションを調査		1時間
		復習) 地域で行うレクリエーションを考える		3時間
6	信頼関係づくりの理論	予習) 現代の子育ての課題について調べる		1時間
		復習) 信頼関係について思うことをまとめる		3時間
7	良好な集団づくりの理論	予習) 集団を介した環境について考える		1時間
		復習) 良好な集団とは何かまとめる		3時間
8	自主的、主体的に楽しむ力を育む理論	予習) 「自主的」「主体的」について調べる		1時間
		復習) アイスブレイキングを考える		3時間
9	リスクマネジメントの方法	予習) 日常にあるリスクを見つける		1時間
		復習) リスク回避方法を考える		3時間
10	レク支援プログラムの立案1(立案方法)	予習) 事業計画事前準備		1時間
		復習) アイスブレイキング内容を考える		3時間
11	レク支援プログラムの立案2(立案)	予習) 支援の設定を考える		1時間
		復習) 立案内容の見直し		3時間
12	レク支援の実施1(立案したレク支援の試行)	予習) 立案内容の練習		1時間
		復習) 立案内容の改善		3時間
13	レク支援の実施2(立案したレク支援の試行)	予習) 立案内容の練習		1時間
		復習) 実施の振り返り		3時間
14	レク支援の実施3(実施に対する評価と改善)	予習) 他の人の実施をまとめる		1時間
		復習) 実施内容の自己分析		3時間
15	まとめと振り返り	予習) 教科書や資料の整理		1時間
		復習) 学んだ内容の振り返り		3時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

ここでの学びは保育の現場(施設も含む)に必要な要素を取り入れていきます。それに気付けると現場に出たときに大きいですよ。

【オフィスアワー】授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。



開講学年・時期	授業科目名		授業形態	担当者
2年前期	保育実習研究Ⅱ ( H I I H 3 a 1 # )		演習	西 敏郎・林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 実習ガイドライン 参考書 保育所保育指針解説(平成30年3月) 厚生労働省 フレーベル館 352円 教材 実習日誌等その都度指示する
1単位	—	—	#①	
評価方法・基準				
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技・発表	授業態度
—	—	50%	20%	30%
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない				

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**

授業内容は以下のとおりである。

1. 保育実習による総合的な学び (1) 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解 (2) 子どもの保育と保護者支援
2. 保育の実践力の育成 (1) 子ども(利用者)の状態に応じた適切な関わり (2) 保育の知識・技術を活かした保育実践
3. 計画と観察、記録、自己評価 (1) 保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践 (2) 保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善
4. 保育士の専門性と職業倫理
5. 事後指導における実習の総括と評価 (1) 実習の総括と自己評価 (2) 課題の明確化

**【フィードバックの方法】**

指導案・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

**【授業の到達目標】**

1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。
2. 実習や既習の教科目内容やその関連性を踏まえ、保育の実力を習得する。
3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。
4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準備学習時間
1	授業概要(日程 授業内容 到達目標 評価 等) 保育実習Ⅰ(保育所・施設)の振り返り	林西	予習) 保育実習Ⅰをふりかえる	0.5時間
			復習) 保育実習の反省点をまとめる	0.5時間
2	実習先の再確認 今後の実習スケジュールの確認	林西	予習) 実習園の概要をまとめてくる	0.5時間
			復習) 実習に向けての準備を確認する	0.5時間
3	保育実習Ⅰの実習日誌の振り返り	林西	予習) 実習日誌を振り返る	0.5時間
			復習) 実習日誌の修正箇所を確認する	0.5時間
4	指導案について	林西	予習) 子どもの姿を振り返る	0.5時間
			復習) 指導案を完成させる	1時間
5	模擬保育①	林西	予習) 模擬保育の準備を行う	1時間
			復習) 模擬保育の振り返りを行う	0.5時間
6	模擬保育②	林西	予習) 模擬保育の準備を行う	1時間
			復習) 模擬保育の振り返りを行う	0.5時間
7	模擬保育③	林西	予習) 指導案を見直してくる	1時間
			復習) 指導案の修正を完成させる	1時間
8	保育実習オリエンテーション (実施要点・持参書類の配付)	林西	予習) オリエンテーションの準備を整える	0.5時間
			復習) オリエンテーションの内容を整理する	0.5時間
9	実習日誌の配布 書き方(表紙・概要) 保育実習目標と日々の課題の立て方①	林西	予習) 実習先の概要を確認する	0.5時間
			復習) 実習目標と日々の課題を立てる	1時間
10	保育実習目標と日々の課題の立て方② 指導案の作成①	林西	予習) 指導案の素案を考える	1時間
			復習) 指導案を作成する	1時間
11	指導案の作成②	林西	予習) 指導案を完成させる	1時間
			復習) 指導案の修正をする	1時間
12	直前指導・実習における留意事項① 保育士の倫理	林西	予習) 実習の準備を整える	1時間
			復習) 保育士の倫理をまとめる	1時間
13	直前指導・実習における留意事項② 責任実習に向けた心構え	林西	予習) 実習の準備を整える	1時間
			復習) 実習に必要な事項をまとめる	1時間
14	実習振り返り① お礼状の作成・自己評価	林西	予習) 実習の振り返りをする	1時間
			復習) 自己課題についてまとめる	1時間
15	実習振り返り② 発表・共有	林西	予習) 発表の準備をする	1時間
			復習) 今後の課題をまとめる	1時間

**\*担当者からのメッセージ\***

保育実習Ⅱでは、責任実習に向けた準備を行います。保育者となるための最後の実習ですから準備万端で実習に臨めるように主体的・積極的に取り組んでください。

【オフィスアワー】オフィスアワーは水曜日5コマ目(林)。火曜日5コマ目(西)。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	保育実習Ⅱ ( H I I H 3 a 2 # )			実習	西 敏郎・林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 『保育所保育指針解説』 (平成30年3月告知 厚生労働省) 教 材
2単位	—	—	#①		
評価方法・基準					
実習園の評価	勤務状況	日誌	事後指導	定期試験	
70%	10%	10%	10%	—	

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

「保育実習Ⅱ」は「保育実習Ⅰ（保育所）」において11日間の実習を終えていることから、保育所実習の第2段階と位置づけられる。本実習は、①「保育実習Ⅰ（保育所）」の経験を踏まえ、また各教科で学んだ知識や技能を活かして実習をし、保育士として必要な資質や能力・技術等の習得を目指す②保育士の職務倫理について理解し、それに則った適切な判断と行動をする③作成した指導案に基づき保育を展開し、自己の保育について見直し改善していく④子育て支援の実践について理解し、子育て支援者として必要な能力を養うことを目的として実施する。実習の目的・内容・方法及び内容は下記の通りである。

#### (目標)

1. 保育所・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。
2. 子どもの観察や関わり方の視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。
3. 既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育士及び保護者支援について総合的に理解する。
4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。
6. 実習における自己の課題を明確化する。

#### (内容)

1. 保育所の役割や機能の具体的展開
  - (1) 養護と教育が一体となって行われる保育
  - (2) 保育所の社会的役割と責任
2. 観察に基づく保育の理解
  - (1) 子どもの心身の状態や活動の観察
  - (2) 保育士等の援助や関わり
  - (3) 保育所の生活の流れや展開の把握
3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携
  - (1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
  - (2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
  - (3) 関係機関や地域社会との連携・協働
4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価
  - (1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
  - (2) 作成した指導計画に基づく保育実践と評価
5. 保育士の業務と職業倫理
  - (1) 多様な保育の展開と保育士の業務
  - (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理
6. 自己の課題の明確化

#### (方法)

保育実習Ⅱでは参加観察に加え、指導案を作成して責任実習を行う。ただし実施施設より実習の方法について指摘された場合は園の方針を尊重する。

#### 【授業の到達目標】

- ・保育所・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解することができる。
- ・観察や子どもの関わりを通じて子どもへの理解を深めることができる。
- ・既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解することができる。
- ・保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解することができる。
- ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解することができる。
- ・実習における自己の課題を明確化することができる。

#### \*担当者からのメッセージ\*

保育所と施設、計2回の実習は、保育に関する専門科目の授業で学んだ知識や技術を「発揮する場」であり、保育理解を深める「学びの場」です。実習を「夢の第1歩」と捉え、積極的に望んでください。

【オフィスアワー】オフィスアワーは水曜日5コマ目(林)。火曜日5コマ目(西)。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		保育実習研究Ⅲ 〈 H I I H 3 b 1 # 〉		演習	池田法子・中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 『保育所保育指針解説書』 (平成30年3月告知 厚生労働省) 教材 適宜資料を配布
1単位	—	—	#②		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技・発表	授業態度	
—	—	50%	20%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**

この授業では、2回目の保育実習を施設で行うための準備学習及び事後指導を行う。事前指導では、施設実習の意義や目的を理解し、保育の実践力を育成するとともに、施設実習における計画と観察、記録、自己評価の方法を学ぶ。実習後は、実習の総括を行い、今後に向けて自身の課題を明確化する。

**【フィードバックの方法】**

学生相互の発表やディスカッションを中心に行い、随時教員がフィードバックする。

**【授業の到達目標】**

- ・保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解できる。
- ・実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得できる。
- ・保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解できる。
- ・保育士の専門性と職業倫理を理解できる。
- ・実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にできる。

**授 業 計 画**

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 保育実習Ⅲの意義・目的 保育実習Ⅰの振り返り 希望施設(種別)の確認	中野 池田	予習) 保育実習Ⅰを振り返る	0.5時間
			復習) 保育実習の反省点をまとめる	0.5時間
2	実習施設の理解① 情報収集	中野 池田	予習) 実習施設について調べる	0.5時間
			復習) 調べた内容をまとめる	0.5時間
3	実習施設の理解② スライド及び書類の作成	中野 池田	予習) 実習施設について調べる	0.5時間
			復習) スライドを作成する	0.5時間
4	実習施設の理解③ 発表	中野 池田	予習) 発表の準備をする	0.5時間
			復習) 発表した内容を振り返る	0.5時間
5	観察・記録・自己評価① 日誌の振り返り	中野 池田	予習) 保育実習Ⅰの日誌を振り返る	0.5時間
			復習) 日誌の反省点をまとめる	0.5時間
6	観察・記録・自己評価② 日誌の書き方	中野 池田	予習) 日誌の書き方を見直す	0.5時間
			復習) 観察・記録のポイントをまとめる	0.5時間
7	観察・記録・自己評価③ ディスカッション	中野 池田	予習) 実習日誌を記入してくる	0.5時間
			復習) 授業の内容をまとめる	0.5時間
8	オリエンテーションについて	中野 池田	予習) オリエンテーションの準備をする	0.5時間
			復習) オリエンテーションの依頼をする	0.5時間
9	実習計画の作成① 実習目標の設定	中野 池田	予習) 目標に関する事前学習を行う	0.5時間
			復習) 実習目標を立てる	0.5時間
10	実習計画の作成② 具体的課題の設定	中野 池田	予習) 具体的課題に関する事前学習を行う	0.5時間
			復習) 具体的課題を作成する	0.5時間
11	実習計画の作成③ 発表	中野 池田	予習) 発表の準備をする	0.5時間
			復習) 実習計画を仕上げる	0.5時間
12	部分実習の準備(指導案の検討、教材研究)	中野 池田	予習) 部分実習に関する事前学習を行う	0.5時間
			復習) 指導案を作成する	0.5時間
13	実習直前指導 保育士の専門性と職業倫理	中野 池田	予習) 事前準備を行う	0.5時間
			復習) 必要な準備が整っているか確認する	0.5時間
14	実習の振り返り① グループディスカッション	中野 池田	予習) 実習を振り返る	0.5時間
			復習) 自己の課題を整理する	0.5時間
15	実習の振り返り② 自己の課題の抽出と明確化	中野 池田	予習) 実習を振り返る	0.5時間
			復習) 自己の課題を整理する	0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

施設保育士の専門性を理解し、実践する力を身につけるための準備学習を行います。各自の課題に主体的に取り組みましょう。

**【オフィスアワー】** オフィスアワーは月曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	保育実習Ⅲ ( H I I H 3 b 2 # )			実習	池田法子・中野真樹
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 『保育所保育指針』 (平成30年3月 厚生労働省) 教材
2単位	—	—	#②		
評価方法・基準					
実習園の評価	勤務状況	日誌	事後指導	定期試験	
70%	10%	10%	10%	—	

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育実習Ⅲは、2年次の保育実習を保育所以外の児童福祉施設等で行うものである。本実習では、既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育所以外の児童福祉施設等において、家庭や地域の生活実態、障害児への支援、保護者支援、社会的養護の在り方、保育士としての職業倫理等についての知識、技術、判断力を習得する。

#### (目的)

- ・施設の目的、役割を深く考察する。
- ・養護、支援、保育の全般に参加し、その効果的な実践技術を学ぶ。
- ・子ども、利用者の個別的ニーズに対応した実践方法を学ぶ。
- ・個別支援計画を立案し、実践を試みる。
- ・子ども、利用者の権利と最善の利益を守ることを施設内の生活の中で具体的に学ぶ。
- ・地域との連携や保護者支援、家庭支援のための知識・技術を学ぶ。

#### (方法)

参加観察実習、部分責任実習を行う。ただし、実習施設より実習の方法を指定された場合は、施設の方針に従う。

#### 【フィードバックの方法】

実習期間中に指導訪問を実施し、各訪問指導担当からアドバイスをを行う。  
実習終了後、園からの評価をもとに評価伝達とアドバイスをを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解する。
- ・家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。
- ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。
- ・実習における自己の課題を理解する。

#### 【履修方法】

- ・2年次の夏季期間（8月下旬から9月初頭の実質11日間）に、保育所以外の児童福祉施設またはその他の施設で実習を行う。「保育実習Ⅲ」の履修については、「保育実習Ⅰ（施設）」の評価が「可」以上であること及び「保育実習研究Ⅲ」を履修していることが履修の条件となる。

#### 【準備学習等】

実習計画の作成、部分実習計画（指導案）の作成、実習関係文書の作成、提出物の作成、お礼状の作成 等

#### 【提出物】

実習計画、実習訪問指導シート、実習日誌、振り返り 等

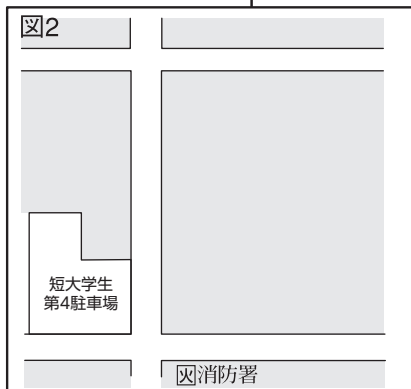
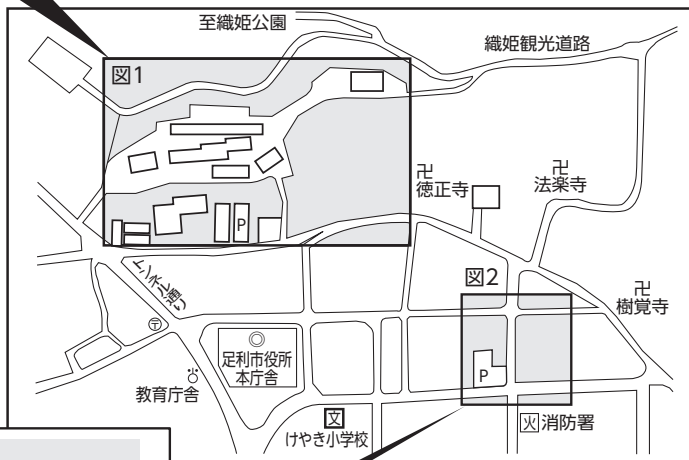
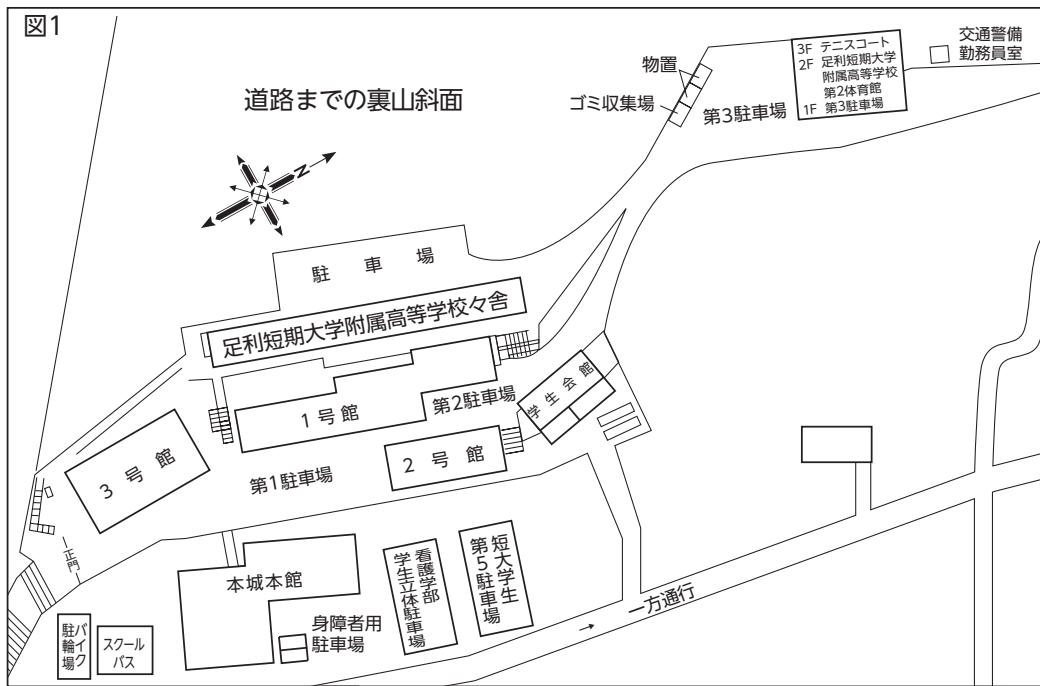
#### \*担当者からのメッセージ\*

社会福祉施設における保育士の役割と仕事について学びを深め、卒業後の進路について検討していきましょう。  
【オフィスアワー】 オフィスアワーは月曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

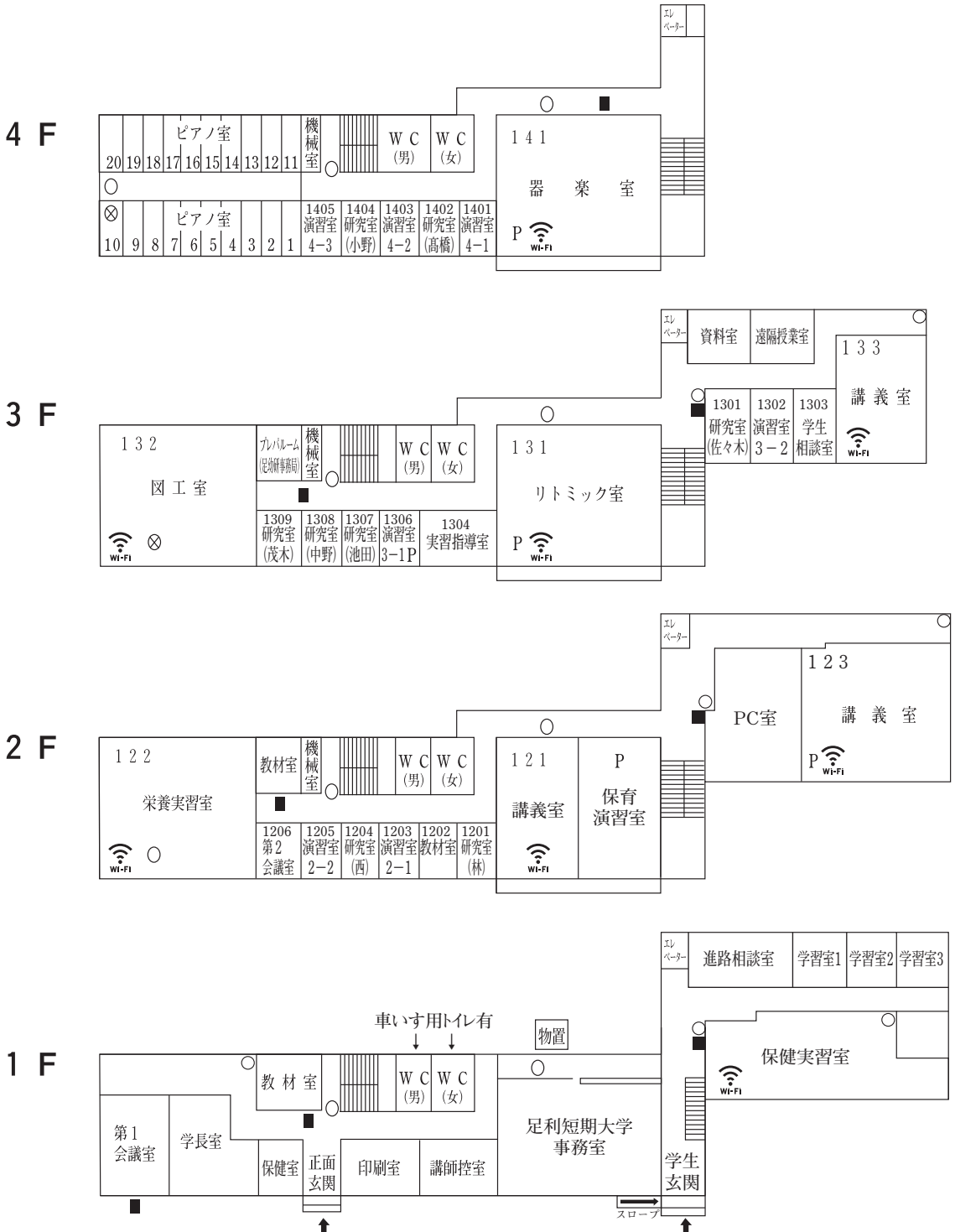
# 校舎配置図



# 本城キャンパスマップ

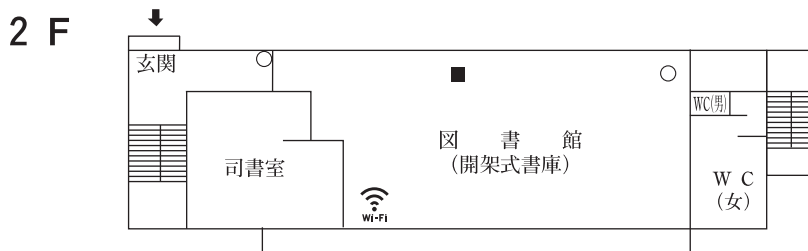
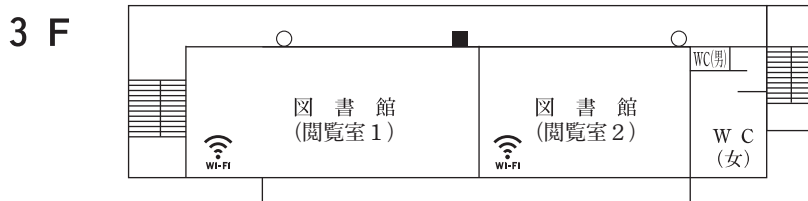
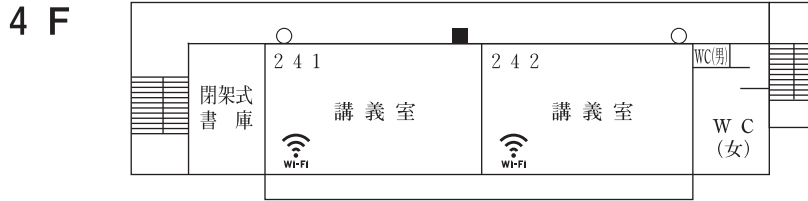


# 1号館



校舎配置図

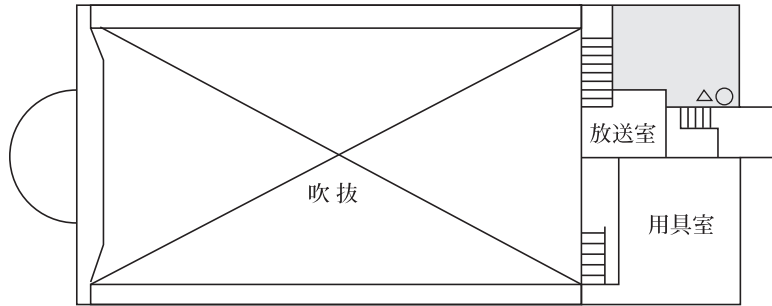
# 2号館



記号	■	消火栓
	⊗	避難器具
	▲	泡消火器
	○	粉末消火器
	△	火災報知器

# 3号館

R F

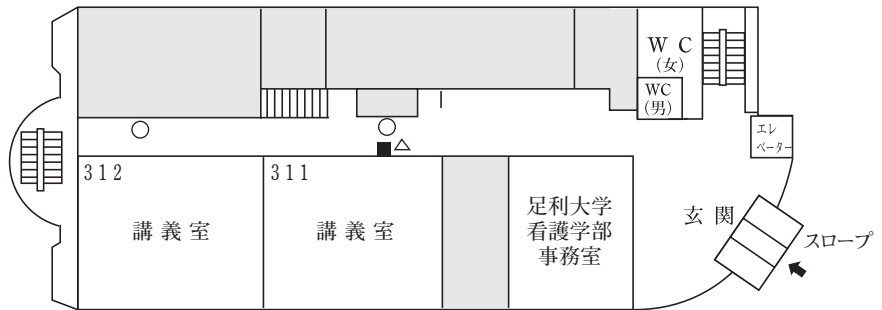


4 F

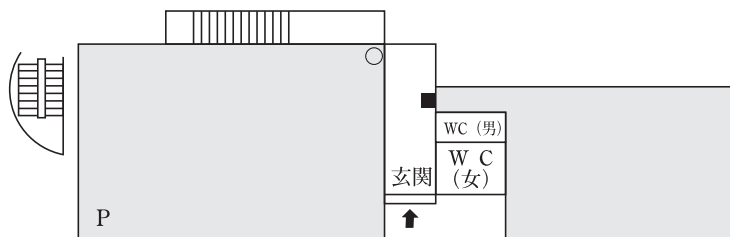


※2F男子トイレ (車イス用トイレ)

1 F

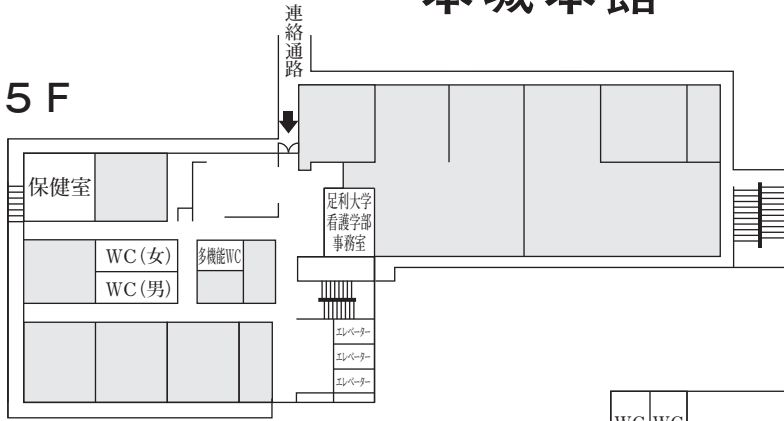


B F

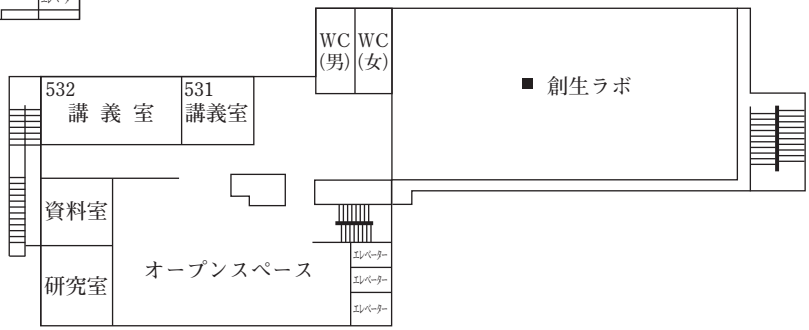


# 本城本館

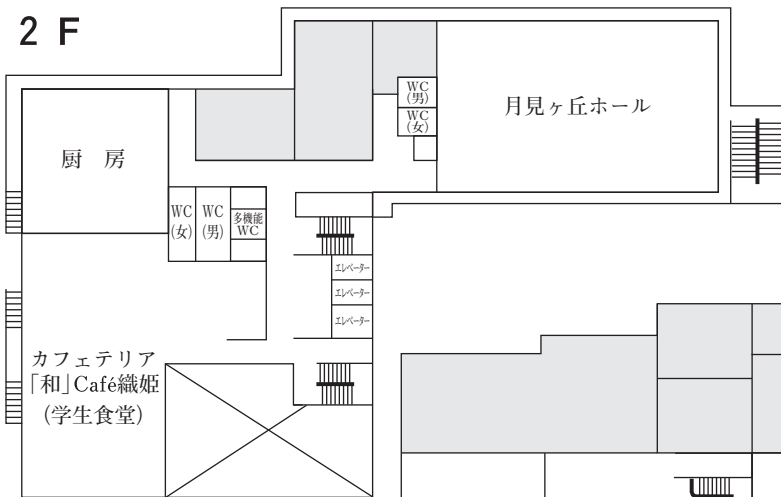
5 F



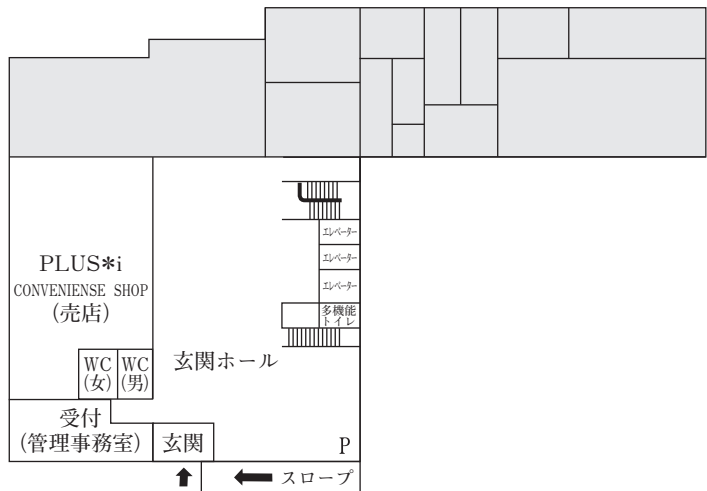
3 F



2 F



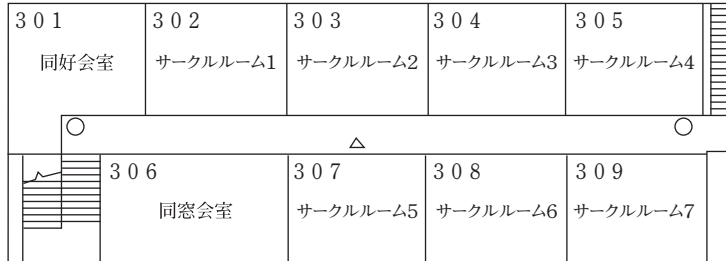
1 F



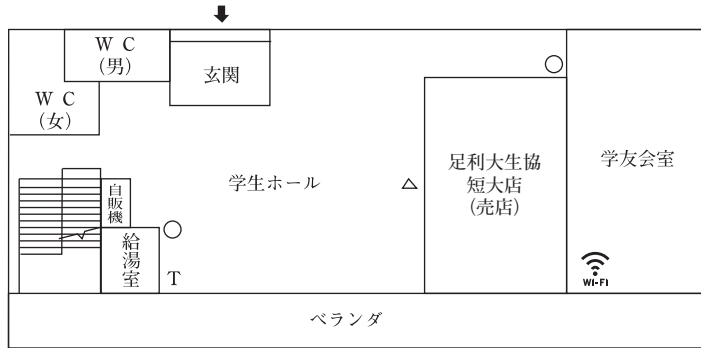


# 学生会館

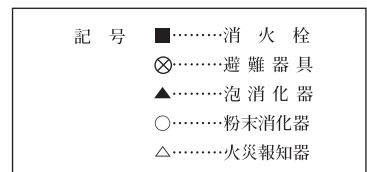
3 F



2 F



1 F



校舎配置図



## シラバス

2024. 4. 1

- 編集 ● 足利短期大学教務委員会  
発行人 ● 末 武 義 崇  
発行所 ● 栃木県足利市本城 3-2120

TEL 0284 (21) 8242

FAX 0284 (21) 1270

URL <http://www.ashikaga.ac.jp>

A SHIKAGA JUNIOR COLLEGE

